

西区地域カルテ

- 小針中学校区 . . . 1
- 小新中学校区 . . . 1 1
- 黒崎中学校区 . . . 2 1
- 坂井輪中学校区 . . . 3 3
- 五十嵐中学校区 . . . 4 3
- 内野中学校区 . . . 5 3
- 中野小屋中学校区 . . . 6 5
- 赤塚中学校区 . . . 7 5
- 関屋中学校区 . . . 8 5

地域カルテ（人口データ）留意事項

H30年8月更新

1. 推計に使用するデータ

○2011年、2016年9月末の住民基本台帳人口を中学校区単位に加工

2. 推計方法

○2016年と5年前の2011年の男女5歳刻み人口を用い、コーホート変化率を求め、その変化率が将来も継続すると仮定し、人口を推計するコーホート変化率法を用いている

○出生率については、20～39歳女性人口に対する0～4歳人口比を用い、その比率が将来も継続すると仮定し、推計

3. コーホート変化率について

○コーホートとは、同期間に出生した集団のこと（このカルテにおいては男女別の5歳刻みの年代）

○2011年に15～19歳だった人は、2016年には20～24歳になっている。15～19歳が20～24歳に移行する際の増減率（コーホート変化率）が将来に渡り継続すると仮定し、男女別で計算し、推計している

	15～19歳	20～24歳
2011	100人	
2016	80人	90人
2021	75人	72人
2026		68人

2011年から2016年のコーホート変化率
 $90/100=0.9$ （10%減少）

2011年から2016年のコーホート変化率を適用し、2021年の20～24歳人口を算出
 $80 \times 0.9 = 72$

【留意点】

- 実際の人口推移と人口推計は、人口規模が小さくなるほどかい離が大きくなる
- 2011年から2016年に人口が大幅に増えた中学校区では、将来もその増加率がそのまま適用され、実際にはこの傾向が継続しないことが想定されるため、実際の人口推移とのかい離が特に大きくなる。（例：大規模な住宅開発など）
- 外国人登録法廃止・住民基本台帳法改正の施行により2012年7月以降の住民基本台帳人口には外国人が含まれている
- 複数区にまたがっている中学校区は原則、人口が多い区に分類する
- 校区情報が設定されていない住基データ（校区不明者）があり、中学校区の合計と区の合計が一致しない
- 推計した男女年齢階層別の人口は小数点を四捨五入していることから、総数と一致しない場合がある

小針中学校区 地域カルテ

西区

H30年8月更新

I.地域の基礎データ

1.中学校区の概要

小針中学校区は、西区の最東部に位置しています。区域内には、JR小針駅・青山駅があるほか、西大通り、旧国道402号（通称：産業道路）、大堀幹線が横断しています。また、多くの新潟交通バス路線や住民バスの坂井輪コミュニティバスが、区役所、スポーツセンターなどの公共施設、病院、商業施設、鉄道駅などの施設を結んで運行しており、良好な交通アクセスが確保されています。

小針地区は、医療機関や大規模な商業施設が立地し、西川の南側では、宅地化が進み若年層の人口が増えています。西新潟市民会館（小針青山公民館併設）が、文化・学習活動の拠点となっており、同館にて、小針小学校区コミュニティ協議会が中心となり「こぼりっ子新春かくし芸大会」を開催しています。

青山地区は、日本海と関屋分水と西大通りに囲まれた閑静な住宅地です。浦山地区や西大通りに面して商店等が建ち並び、青山コミュニティハウスや有明福祉会館・有明センターが、地域活動の拠点として活用されています。青山小学校区コミュニティ協議会が、関屋分水路左岸等で継続的に取り組む花文字花壇づくりや清掃活動は、国土交通大臣より表彰されています。

東青山地区は、信濃川関屋分水の分岐点にある、閑静な住宅地です。公園が大小13箇所あり、憩の場・子育ての場として活用されているほか、東青山小学校区コミュニティ協議会が、イオン新潟青山店のコミュニティ広場を活用し、親子を対象に「東青山すくすく広場」、シニア世代を対象に「いこいの広場」を開催しています。

コミュニティ協議会※

小針小学校区コミュニティ協議会

青山小学校区コミュニティ協議会

東青山小学校区コミュニティ協議会

小学校

小針小学校

青山小学校

東青山小学校

※中学校区の区域とコミュニティ協議会の区域は必ずしも一致しない。

位置図



小針中学校区

Ⅱ.人口データ

1.人口・世帯数(住民基本台帳)

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	(人)	(世帯)	(人)
							うち75歳以上	世帯数	1世帯当たり 世帯人員
2011年	24,797	11,724	13,073	3,604	15,839	5,354	2,823	10,529	2.36
		47.3%	52.7%	14.5%	63.9%	21.6%	11.4%		
2016年	25,218	11,893	13,325	3,435	15,503	6,280	3,138	10,989	2.29
		47.2%	52.8%	13.6%	61.5%	24.9%	12.4%		
増減	421	169	252	-169	-336	926	315	460	-0.06
	1.7%	1.4%	1.9%	-4.7%	-2.1%	17.3%	11.2%		

2.人口推計

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上
2021年	25,369	11,931	13,438	3,378	15,283	6,708	3,397
		47.0%	53.0%	13.3%	60.2%	26.4%	13.4%
2026年	25,364	11,907	13,457	3,389	15,101	6,875	3,980
		46.9%	53.1%	13.4%	59.5%	27.1%	15.7%
2031年	25,261	11,848	13,413	3,352	14,795	7,114	4,145
		46.9%	53.1%	13.3%	58.6%	28.2%	16.4%
2036年	25,055	11,735	13,320	3,342	14,168	7,545	4,122
		46.8%	53.2%	13.3%	56.5%	30.1%	16.5%
2016-2036	-163	-158	-5	-93	-1,335	1,265	984
増減	-0.6%	-1.3%	-0.0%	-2.7%	-8.6%	20.1%	31.3%

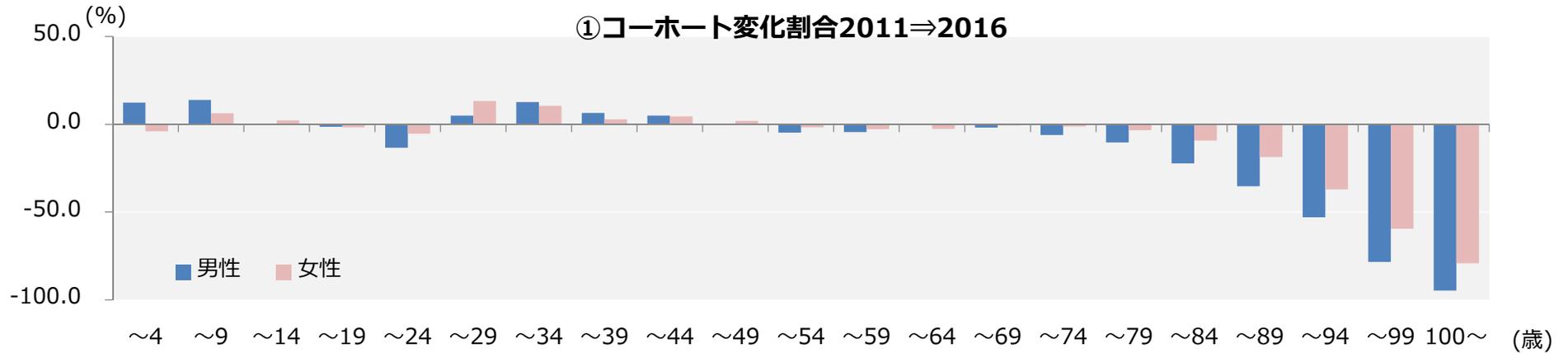
○人口は、2016年の25,218人から概ね横ばいで推移し、2036年は25,055人となり0.6%減少する。

○老年人口は、2016年の6,280人から徐々に増加を続け、2036年には7,545人となり20.1%の増加が見込まれており、老年人口割合も2016年の24.9%から30.1%に拡大する。一方、年少人口は、2016年の3,435人から2036年には3,342人と2.7%減少するものの、年少人口割合は概ね横ばいで推移し、13.3%となる。

○生産年齢人口は、2016年の15,503人から徐々に減少を続け、2036年には14,168人となり8.6%減少し、生産年齢人口割合も縮小していく。

小針中学校区

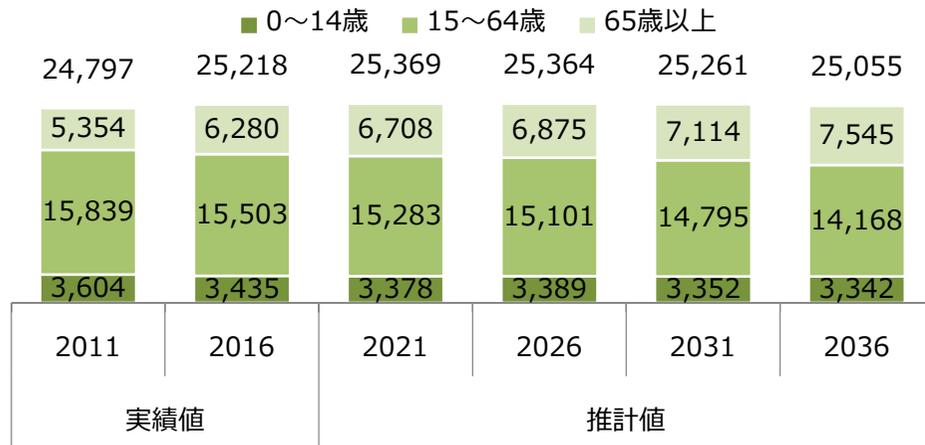
3.人口推計グラフ



- 大学への就学や就職に至る15~19歳、20~24歳において男女ともに変化割合はマイナスとなっている。
- 30~34歳において男女ともに1割以上のプラスとなっており、5歳~9歳人口のプラスの要因の1つと考えられる。

(人)

② 年齢3区分別人口推移



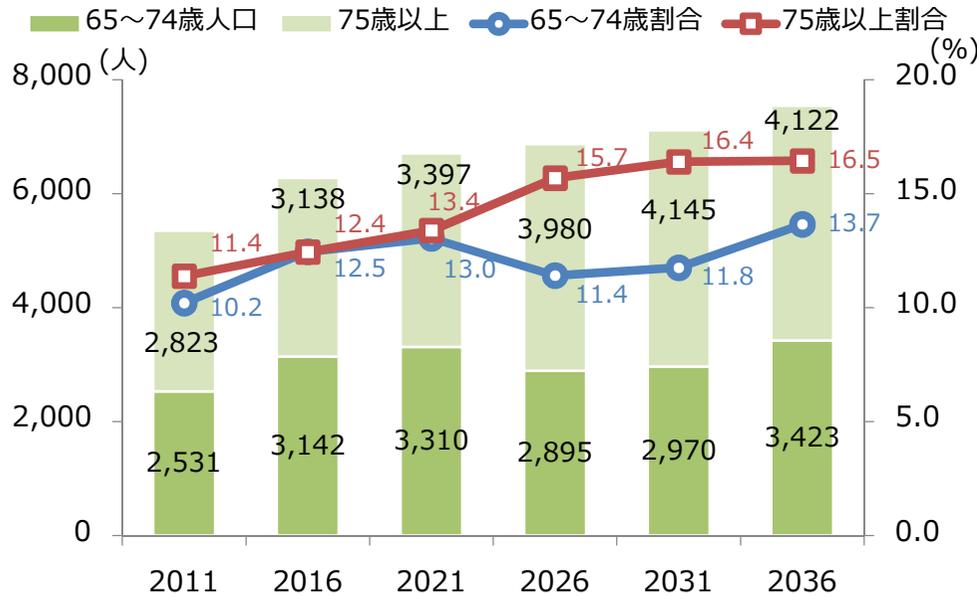
(%)

③ 年齢3区分別人口割合の推移

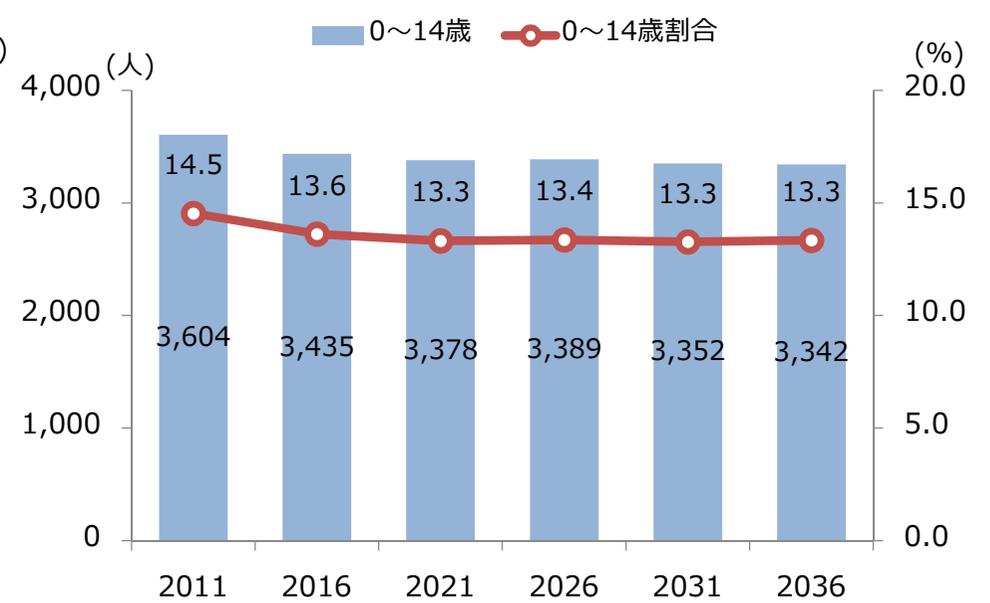


小針中学校区

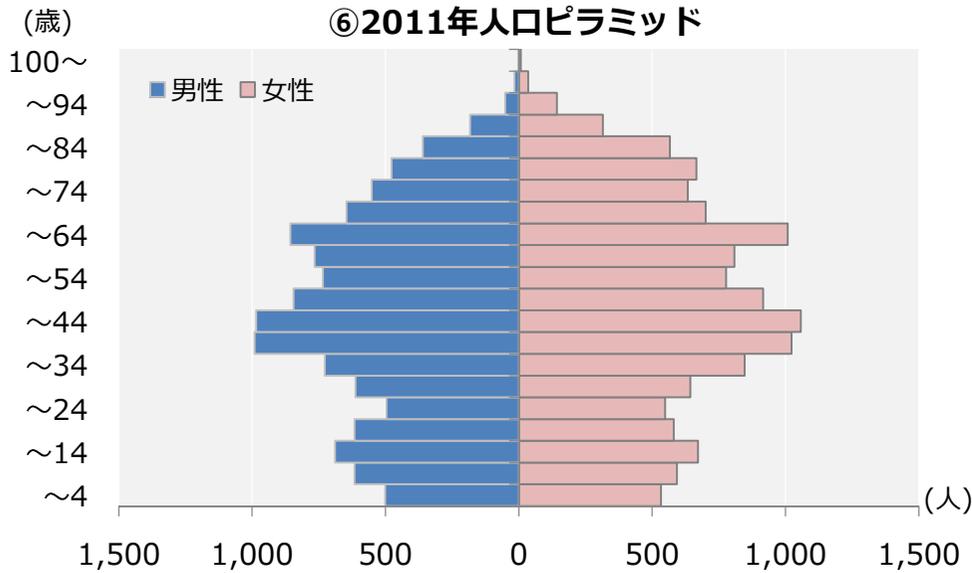
④ 高齢者人口の推移



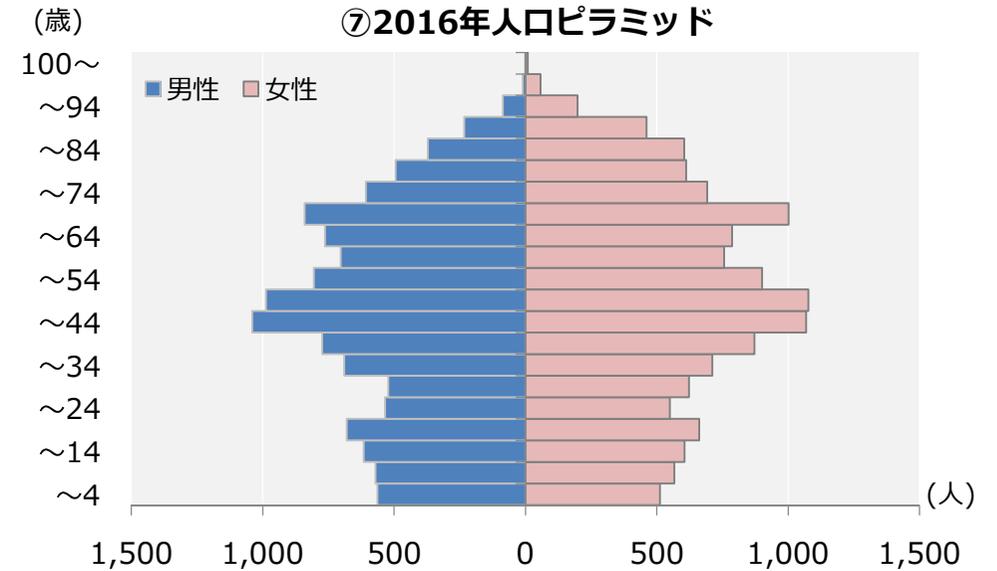
⑤ 年少人口の推移



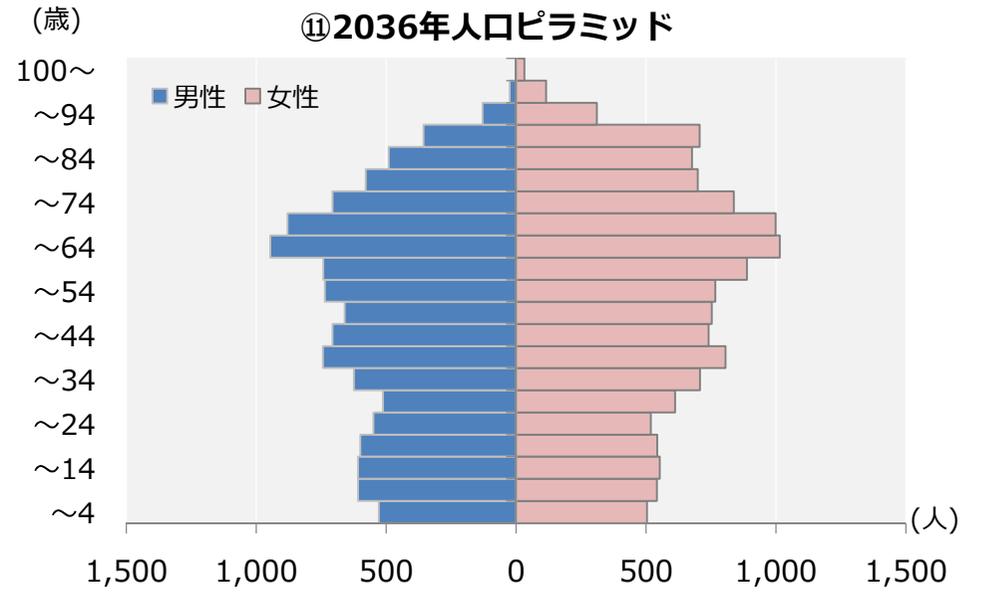
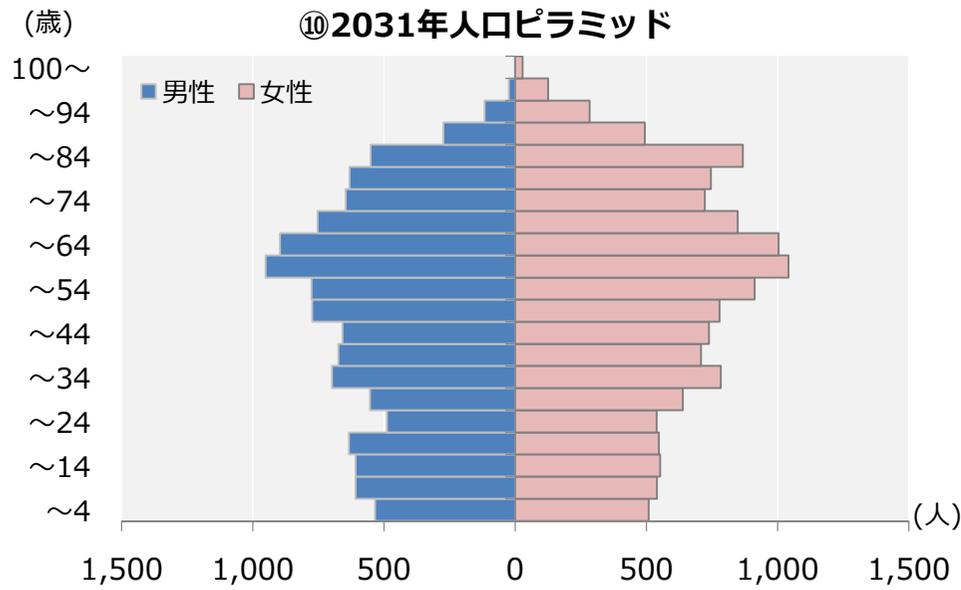
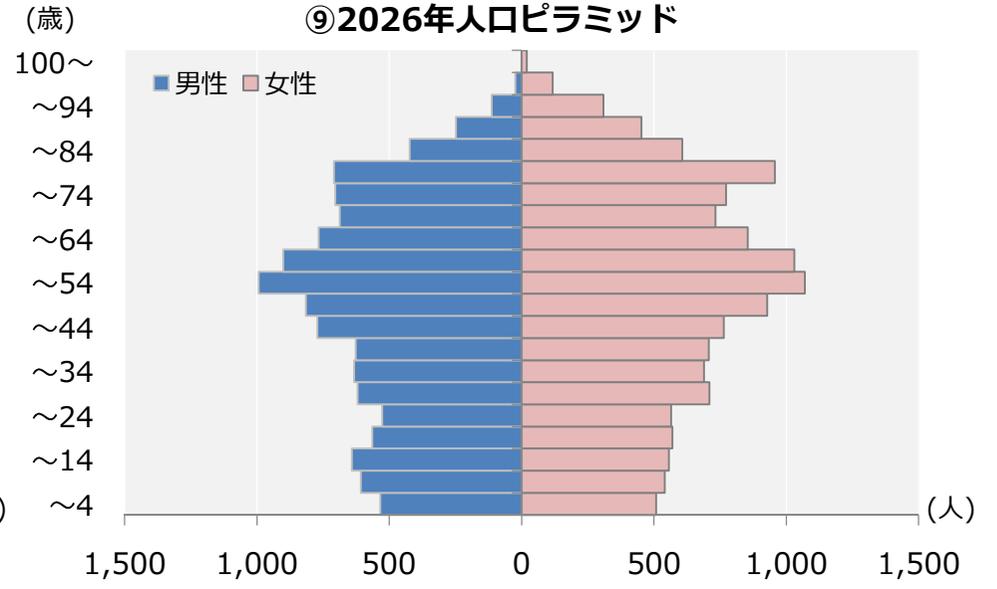
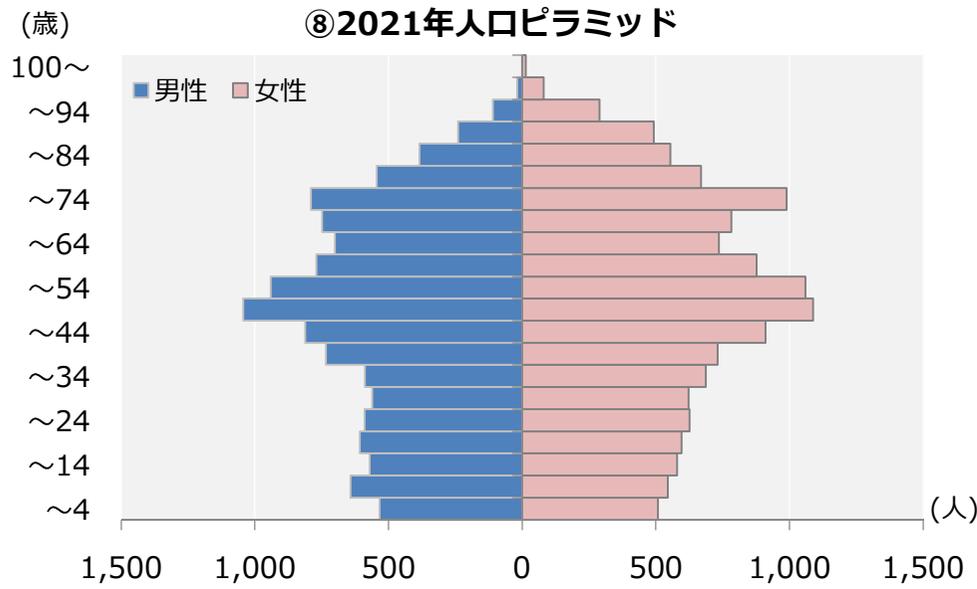
⑥ 2011年人口ピラミッド



⑦ 2016年人口ピラミッド



小針中学校区

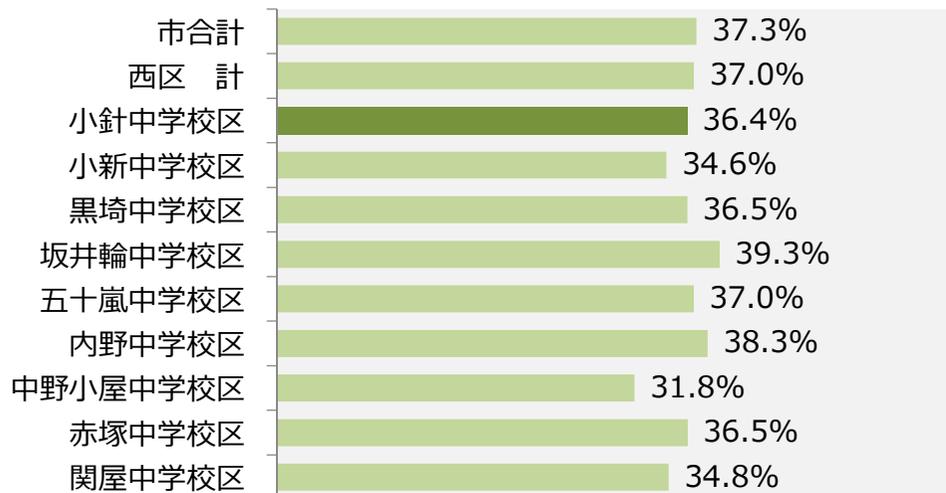


小針中学校区

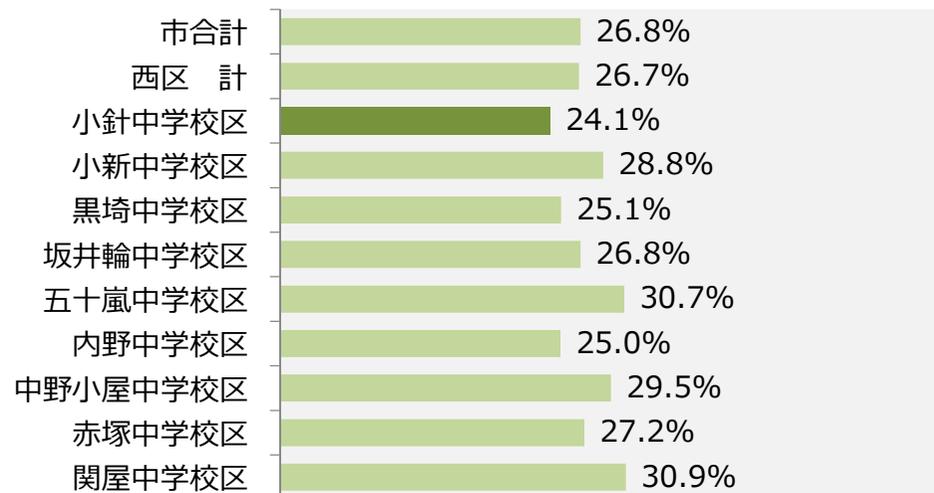
Ⅲ.健康データ（平成27年度新潟市国民健康保険・新潟県後期高齢者医療保険・協会けんぽ健診データ）

※「西区計」には、集計の都合上、関屋中学校区データは含まない。（「中央区計」に含む）

①健診受診率

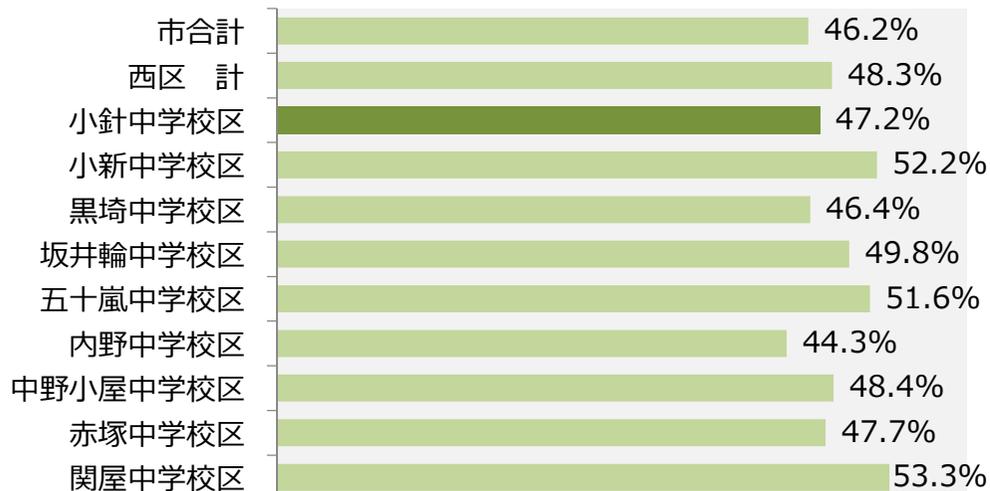


②高齢化率

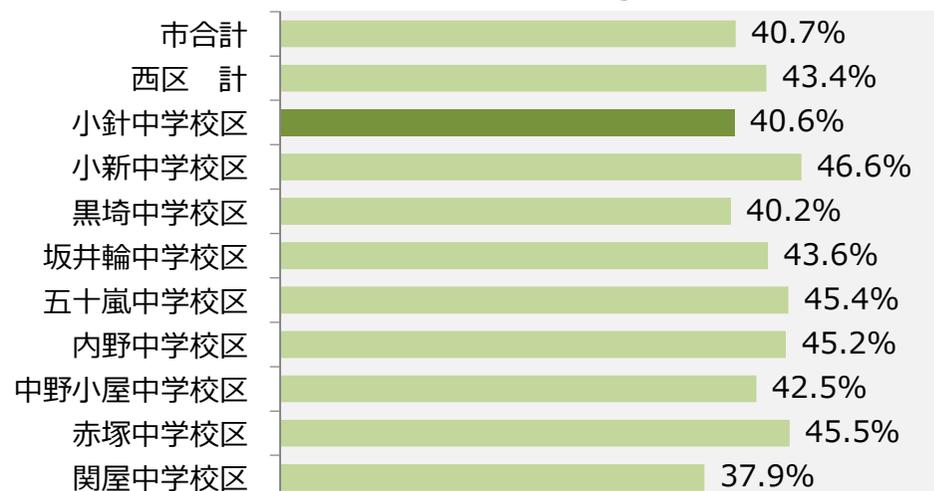


※平成27年9月末時点の住民基本台帳人口を基に算出

③血糖



④血圧（収縮期130mmHg以上）



※国民健康保険・後期高齢者医療保険：HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)5.6%以上

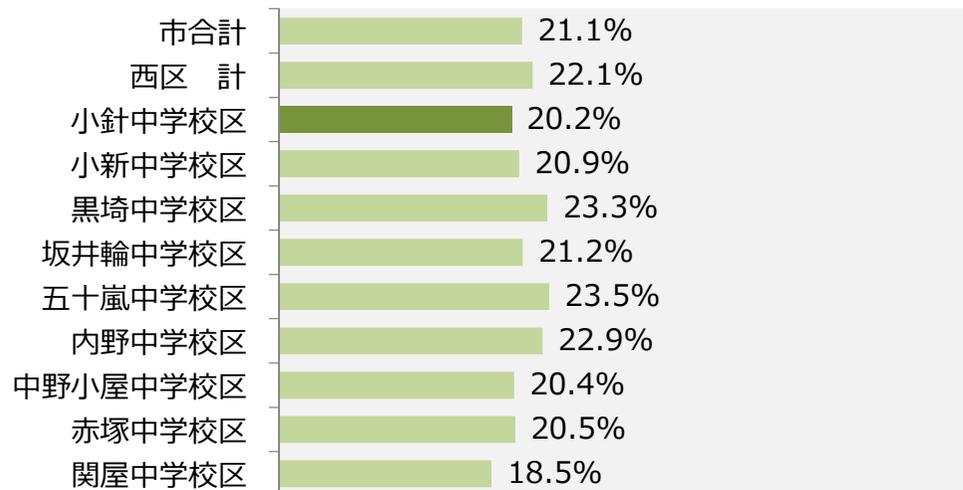
協会けんぽ：空腹時血糖100mg/dl以上

■HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）

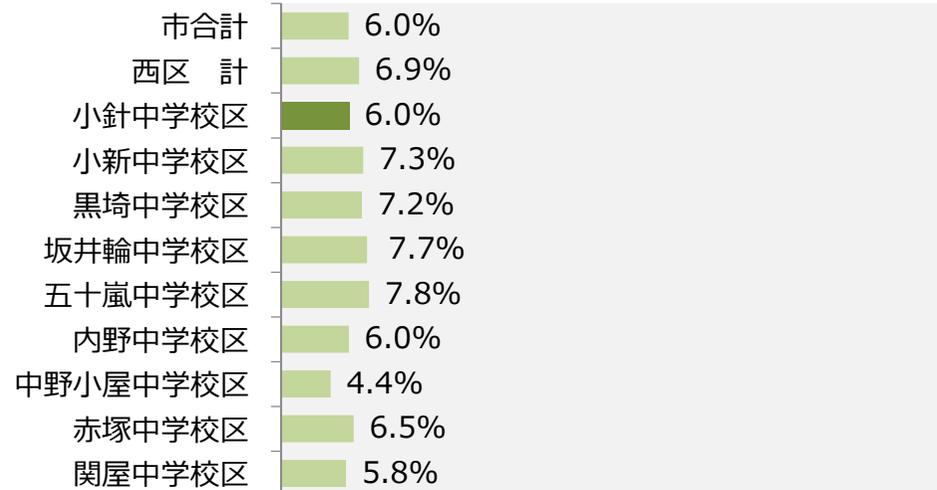
過去1~2か月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われている。

小針中学校区

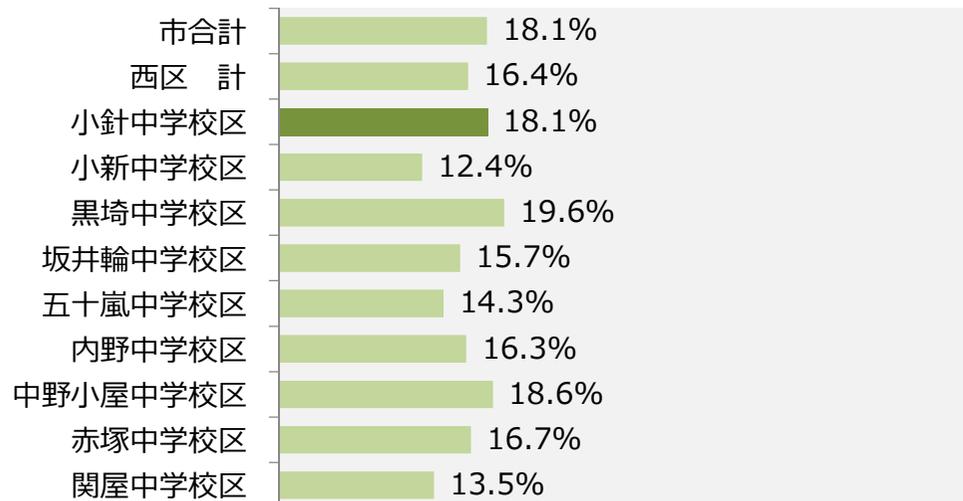
⑤脂質（中性脂肪150mg/dl以上）



⑥3項目(血糖・血圧・脂質)重複該当

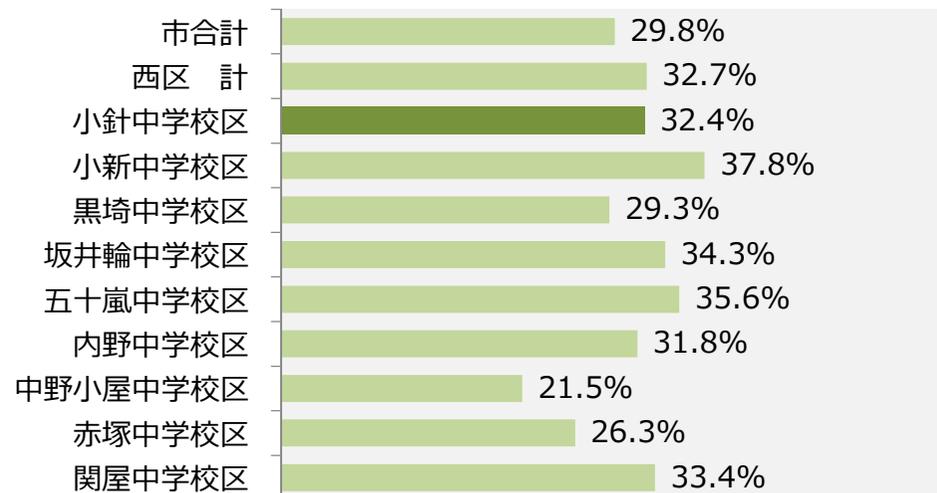


⑦喫煙



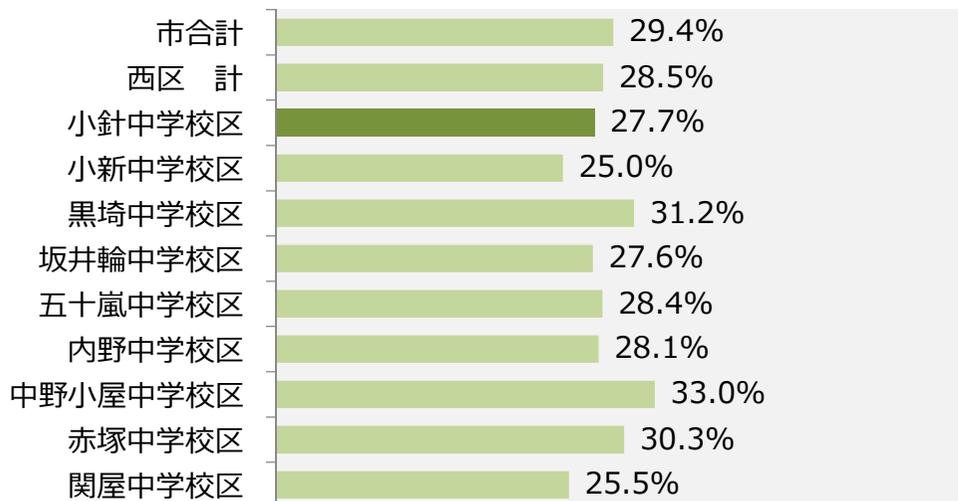
※現在、たばこを習慣的に吸っていると回答した人の割合

⑧運動習慣



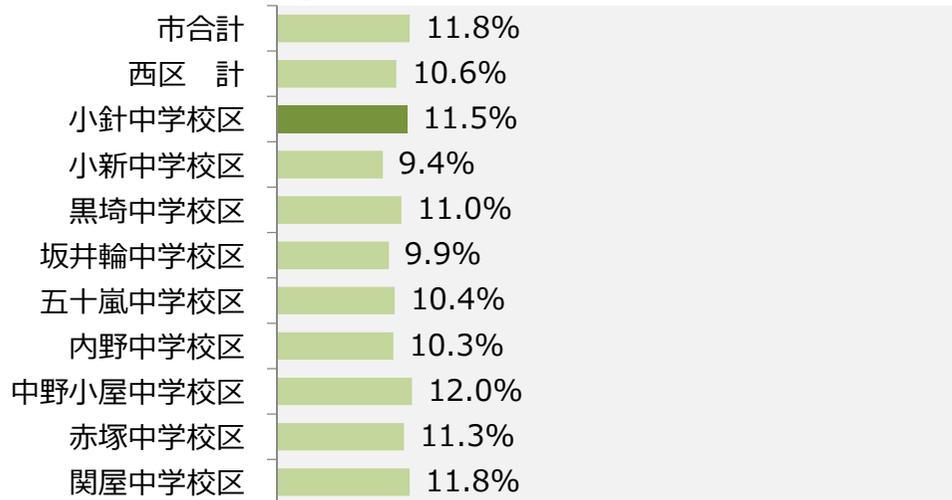
※1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していると回答した人の割合

⑨ 飲酒頻度（毎日）



※お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度は【毎日】と回答した人の割合

⑩ 食習慣（夕食後の間食）



※夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上あると回答した人の割合

⑪ 患者予備群、治療放置群等（国保・後期高齢）

	健診 対象者数 (国保+ 後期) 人数	未把握		未通院 患者予備群 治療放置群	
		人数	構成割合	人数	構成割合
小針中学校区	7,033	2,243	31.9%	269	3.8%
小新中学校区	5,430	1,582	29.1%	212	3.9%
黒崎中学校区	8,471	2,586	30.5%	220	2.6%
坂井輪中学校区	7,894	2,490	31.5%	404	5.1%
五十嵐中学校区	9,144	2,828	30.9%	445	4.9%
内野中学校区	8,153	2,504	30.7%	300	3.7%
中野小屋中学校区	1,239	409	33.0%	44	3.6%
赤塚中学校区	2,096	703	33.5%	49	2.3%
関屋中学校区	8,190	2,623	32.0%	311	3.8%
西区 計	49,460	15,345	31.0%	1,943	3.9%

※平成27年度の国保+後期高齢の健診対象者（40歳以上）の状況

未把握・・・健診未受診及び生活習慣病の受診がない

未通院・・・健診において下記項目のいずれかに該当し、医療機関で

診察又は治療の必要があるが、同年中に生活習慣病の受診がない

・血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上

・血圧：140又は90mmHg以上 ・中性脂肪：300mg/dl以上

・LDLコレステロール：140mg/dl以上 ・HDLコレステロール：35mg/dl未満

■ LDLコレステロール

全身の組織へコレステロールを運ぶ働きをしているが、多すぎると動脈硬化をすすめるため、悪玉コレステロールとも言われる。

■ HDLコレステロール

善玉コレステロールともいわれ、血管壁に沈着したコレステロールを取り除き肝臓に戻す働きがあり、少ないと動脈硬化をすすめるが、多すぎても問題があるといわれている。

小針中学校区

IV.施設データ

1.施設一覧

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3	
		複合施設 ※2	建築年			使用面積 (㎡)	コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)			
コミュニティ施設	西新潟市民会館	A	H9		2,816.70	○	1,891.0	円/人/回	(1,002.7)	26.5	%	(43.6)	4
コミュニティ施設	小針青山公民館	A	H9		1,032.04	○	436.0	円/人/回	(928.0)	49.0	%	(26.3)	1
スポーツ施設	小針野球場		S45		1,590.36		2,906.0	円/人/回	(831.8)	23.2	人/日	(117.3)	4
学校教育系施設	小針小学校		S40	～ H24	8,664.73	○	52.7	万円/人/年	(81.3)	13.1	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	青山小学校		S46	～ H3	6,140.68	○	64.6	万円/人/年	(81.3)	16.5	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	東青山小学校		S55	～ H9	6,961.02	○	52.5	万円/人/年	(81.3)	12.4	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	小針中学校		S46	～ H13	8,420.93	○	58.9	万円/人/年	(88.5)	9.6	㎡/人	(28.5)	1
子育て支援施設	小針保育園		S53	～ S53	713.77		89.4	万円/人/年	(106.4)	5.7	㎡/園児数	(8.6)	1
子育て支援施設	小針ひまわりクラブ		H7	～ H18	164.78		8.1	万円/人/年	(13.9)	1.4	㎡/児童数	(2.7)	1
子育て支援施設	東青山ひまわりクラブ		H19		198.74		8.7	万円/人/年	(13.9)	1.8	㎡/児童数	(2.7)	1
高齢者福祉施設	老人憩の家小針荘		S54	～ H7	295.38		379.0	円/人/回	(806.6)	16.5	人/100㎡/日	(12.7)	1

※1 平成28年度財産白書（平成27年度決算ベース）から引用

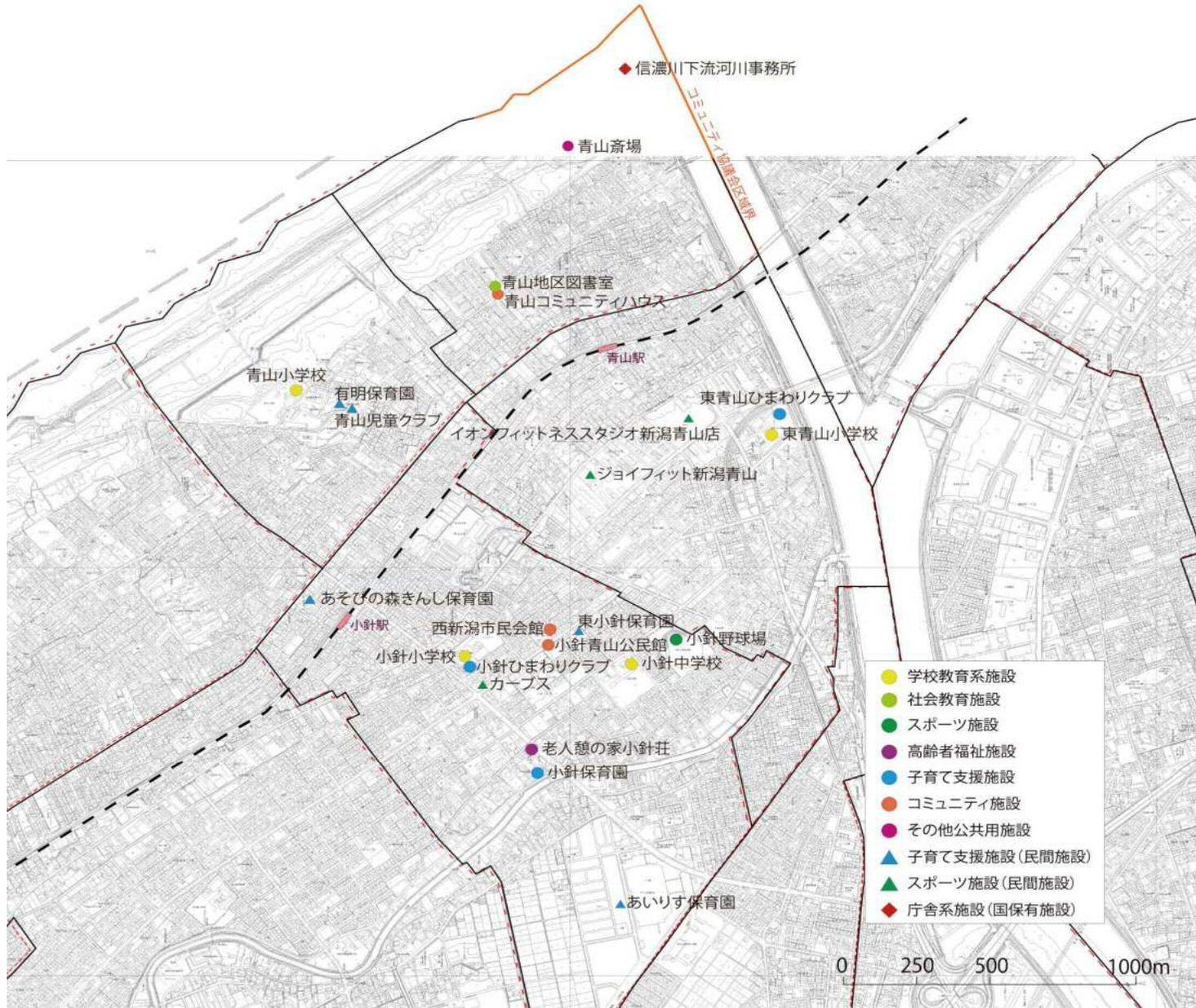
※2 アルファベットが同じものは複合施設

※3 分析領域の番号は下記項目のとおり

- 1.コスト状況、利用状況ともに相対的に良好な施設
- 3.相対的にコストが高いものの、利用が多い施設

- 2.相対的にコストは安いものの、利用が少ない施設
- 4.相対的に高コストかつ、利用が少ない施設

2.施設位置図



※校区の線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

小針中学校区

小新中学校区 地域カルテ

西区

H30年8月更新

I.地域の基礎データ

1.中学校区の概要

小新中学校区は、JR寺尾駅南東側に位置し、新潟市郊外の住宅地として発展し、区域を横断する大堀幹線沿いには商店等が建ち並び、基幹的な医療機関も近いなど良好な居住環境となっています。

西川の南側は新しい住宅地が形成され、大規模な商業店舗が数多く立地しており、新潟西バイパスの南側には、流通センターがあり、物流の拠点となっています。

大堀幹線、県道新潟亀田内野線が東西方向に横断し、市道寺尾小新線が、新潟西バイパスまでを結んでいるほか、多くの新潟交通バス路線が運行しており、良好な交通アクセスが確保されています。

坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会が中心となり「自主防災訓練の実施」「避難マップの作成」といった防災活動のほか、春には西川沿いの桜並木を楽しむ「てくてくウォーキング」を開催しています。

コミュニティ協議会※

坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会

小学校

坂井輪小学校

※中学校区の区域とコミュニティ協議会の区域は必ずしも一致しない。

位置図



小新中学校区

Ⅱ.人口データ

1.人口・世帯数(住民基本台帳)

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上	世帯数	1世帯当たり 世帯人員
								(人)	(世帯)
2011年	14,842	7,133	7,709	1,844	9,465	3,533	1,628	6,243	2.38
		48.1%	51.9%	12.4%	63.8%	23.8%	11.0%		
2016年	14,990	7,128	7,862	1,773	8,798	4,419	2,077	6,545	2.29
		47.6%	52.4%	11.8%	58.7%	29.5%	13.9%		
増減	148	-5	153	-71	-667	886	449	302	-0.09
	1.0%	-0.1%	2.0%	-3.9%	-7.0%	25.1%	27.6%		

2.人口推計

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上
2021年	14,990	7,050	7,940	1,723	8,486	4,781	2,520
		47.0%	53.0%	11.5%	56.6%	31.9%	16.8%
2026年	14,842	6,891	7,951	1,670	8,272	4,900	3,113
		46.4%	53.6%	11.3%	55.7%	33.0%	21.0%
2031年	14,585	6,686	7,900	1,634	8,094	4,857	3,228
		45.8%	54.2%	11.2%	55.5%	33.3%	22.1%
2036年	14,219	6,444	7,775	1,626	7,733	4,860	3,120
		45.3%	54.7%	11.4%	54.4%	34.2%	21.9%
2016-2036 増減	-771	-684	-87	-147	-1,065	441	1,043
	-5.1%	-9.6%	-1.1%	-8.3%	-12.1%	10.0%	50.2%

○人口は、2016年の14,990人から緩やかに減少し、2036年は14,219人で5.1%減少する。

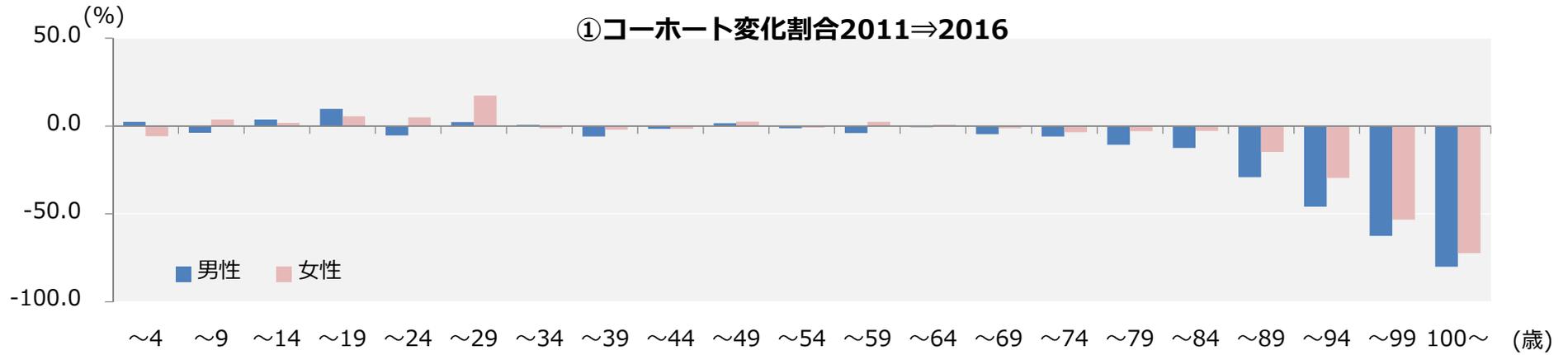
○老年人口は、2026年の4,900人をピークとして、2036年には4,860人（10.0%増）となり、老年人口割合も34.2%となる。特に、75歳以上高齢者は2016年の2,077人から3,120人へと50.2%増加する。

○年少人口は、2016年の1,773人から2036年には1,626人と8.3%減少するものの、年少人口割合は概ね横ばいで推移する。

○生産年齢人口は、2016年の8,798人から徐々に減少し2036年には7,733人（12.1%減）となり、生産年齢人口割合も縮小していく。

小新中学校区

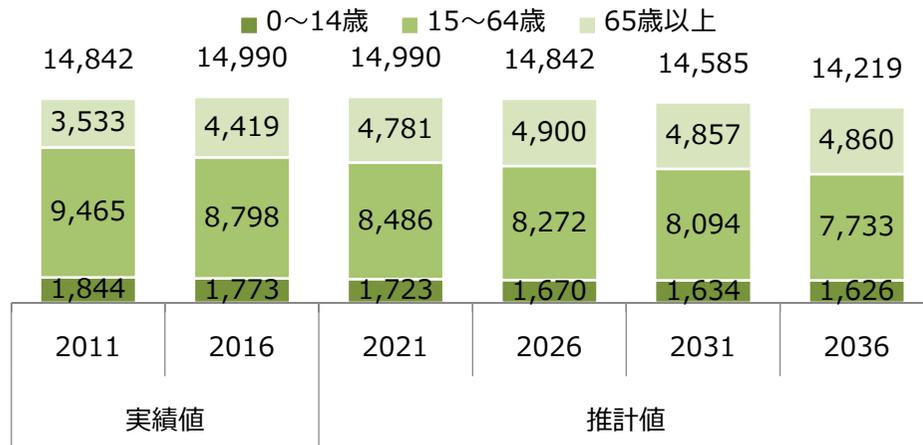
3.人口推計グラフ



○女性の变化割合は、5~29歳においてプラスで、特に25~29歳では2割弱のプラスとなっている。

(人)

② 年齢3区分別人口推移

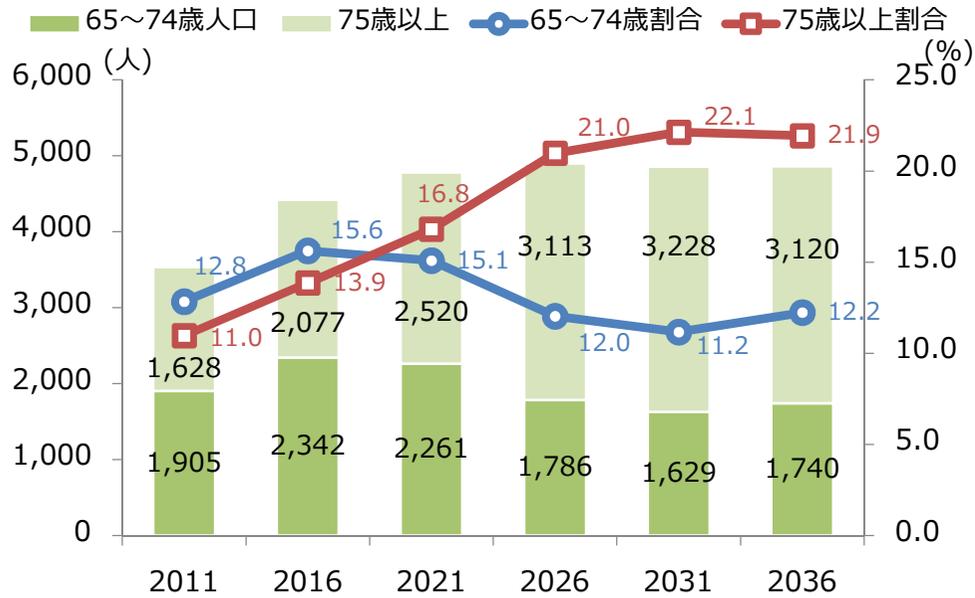


(%)

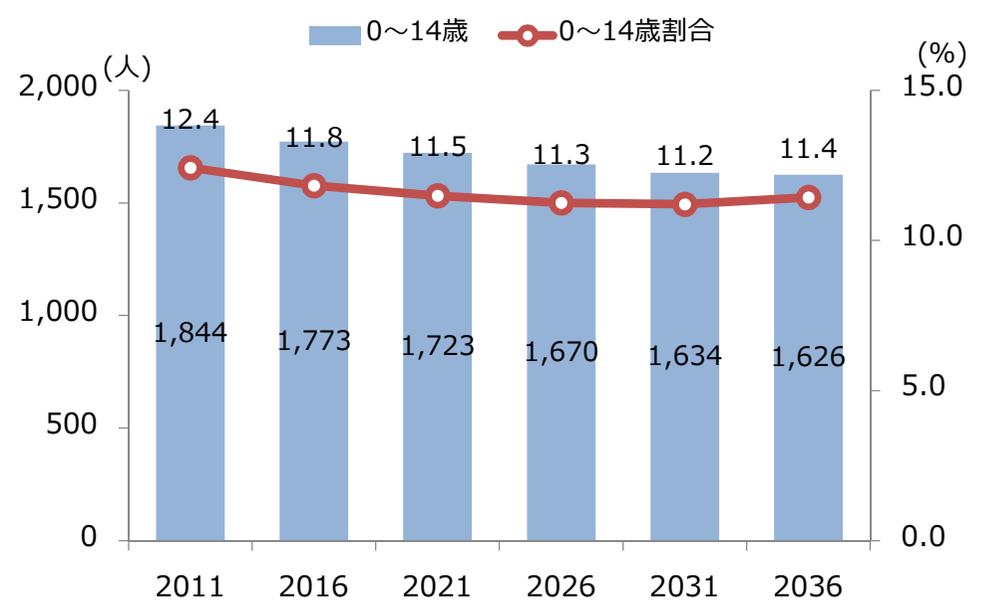
③ 年齢3区分別人口割合の推移



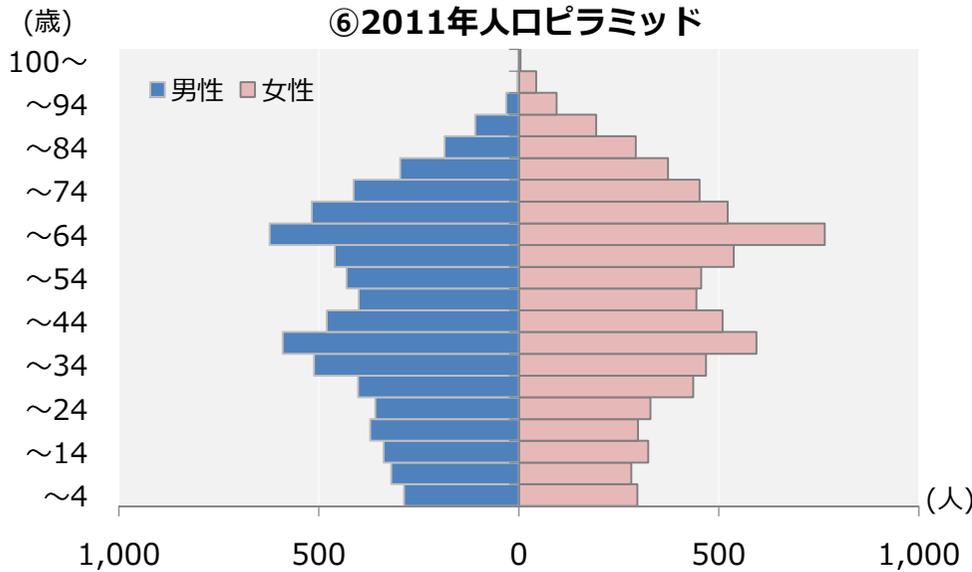
④ 高齢者人口の推移



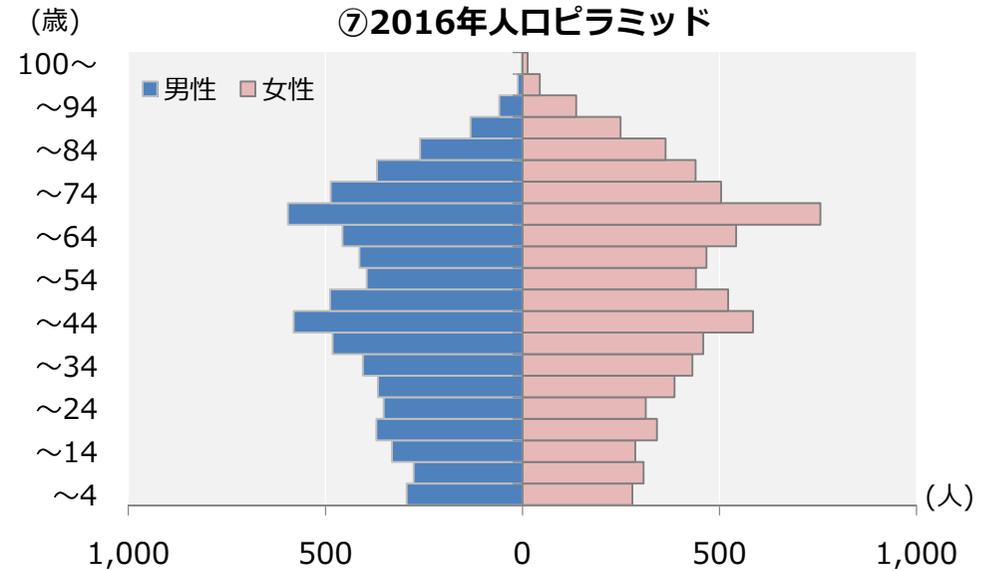
⑤ 年少人口の推移



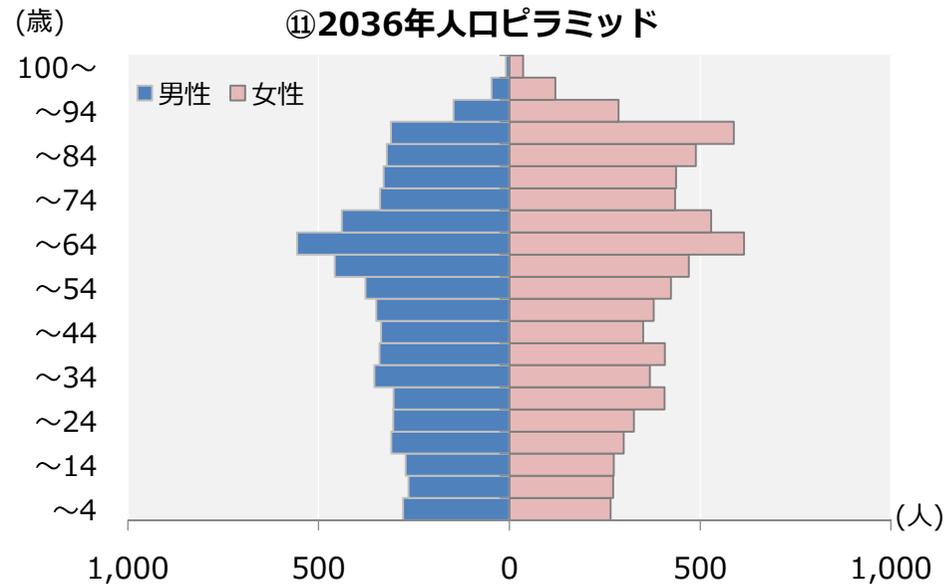
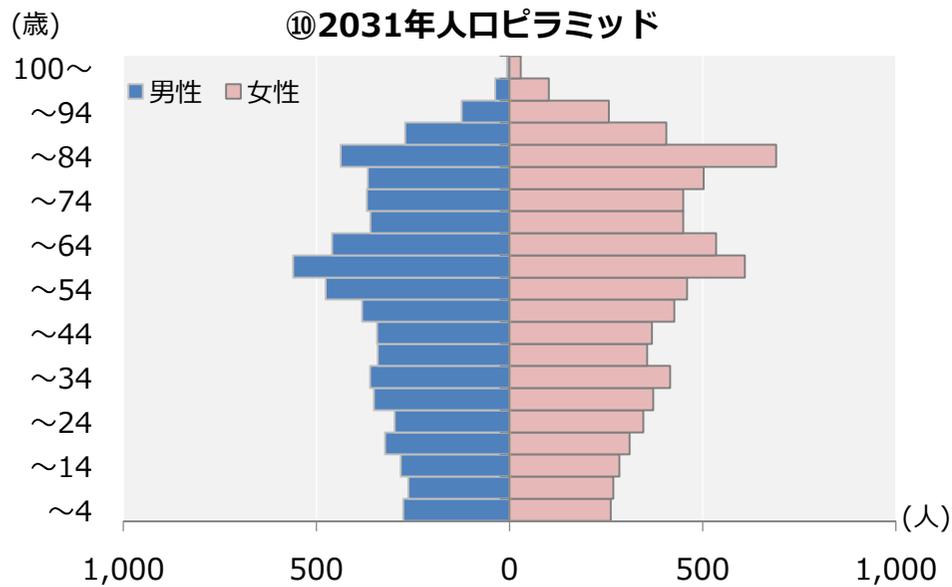
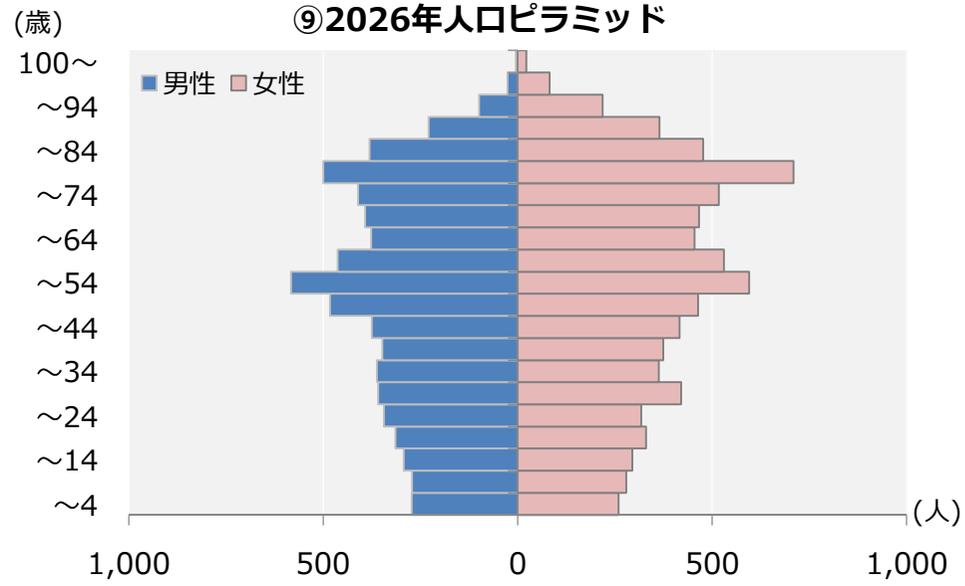
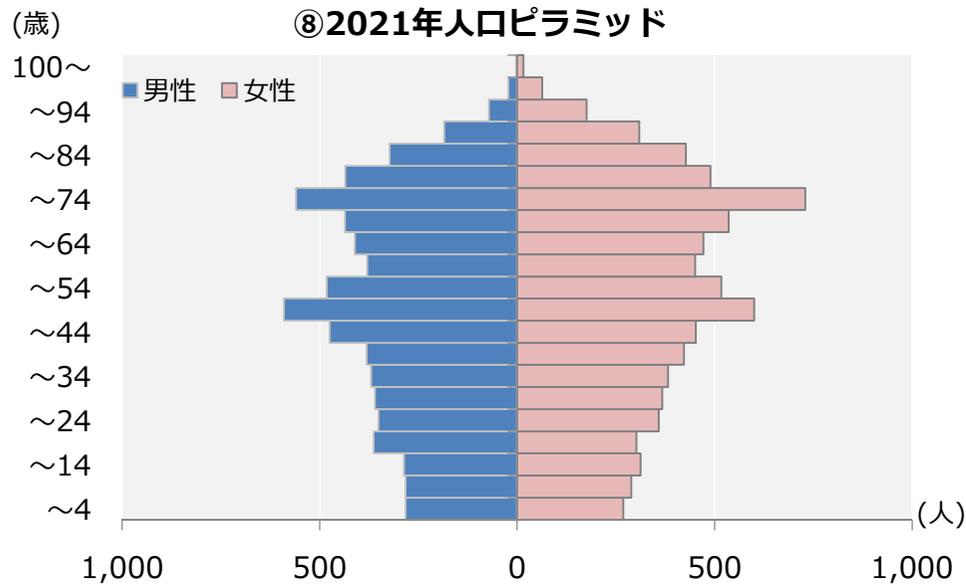
⑥ 2011年人口ピラミッド



⑦ 2016年人口ピラミッド



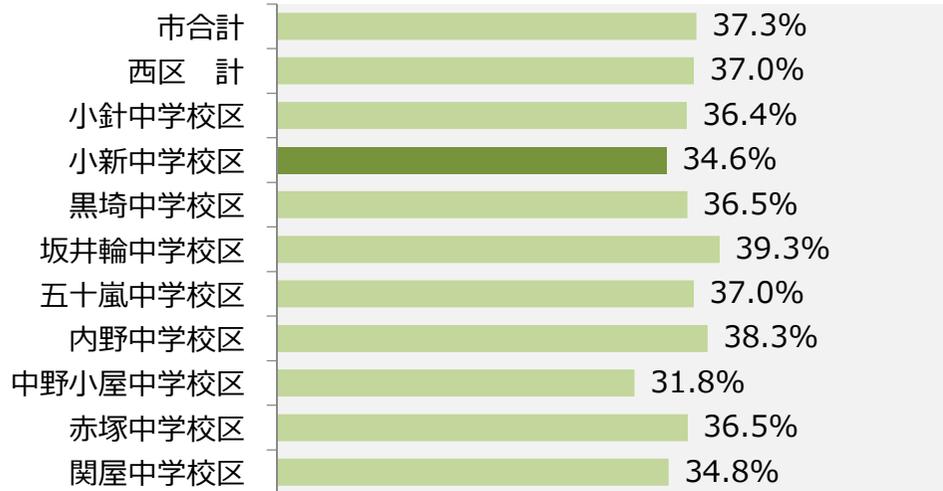
小新中学校区



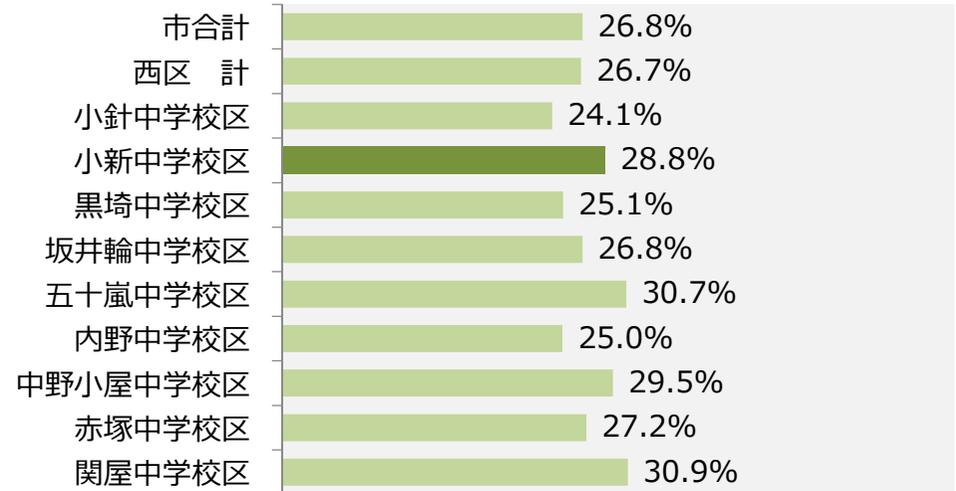
Ⅲ.健康データ（平成27年度新潟市国民健康保険・新潟県後期高齢者医療保険・協会けんぽ健診データ）

※「西区計」には、集計の都合上、関屋中学校区データは含まない。（「中央区計」に含む）

①健診受診率

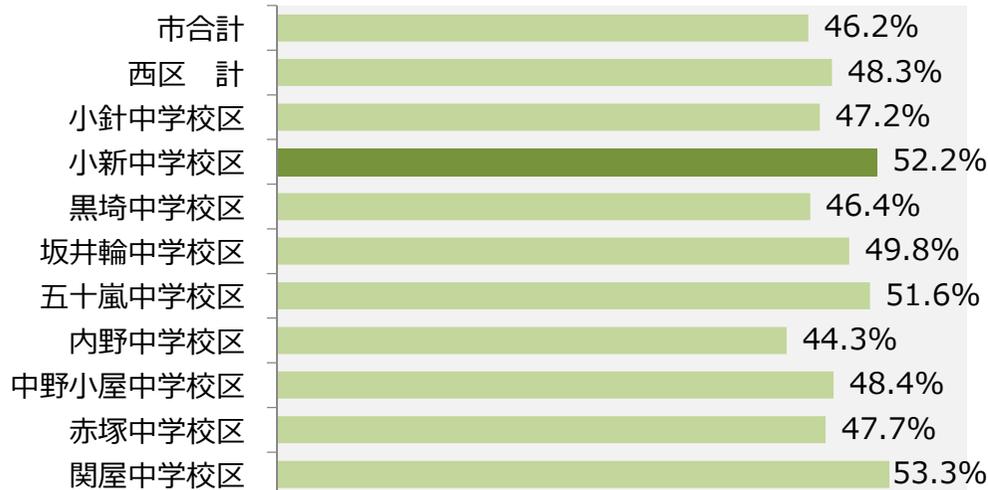


②高齢化率

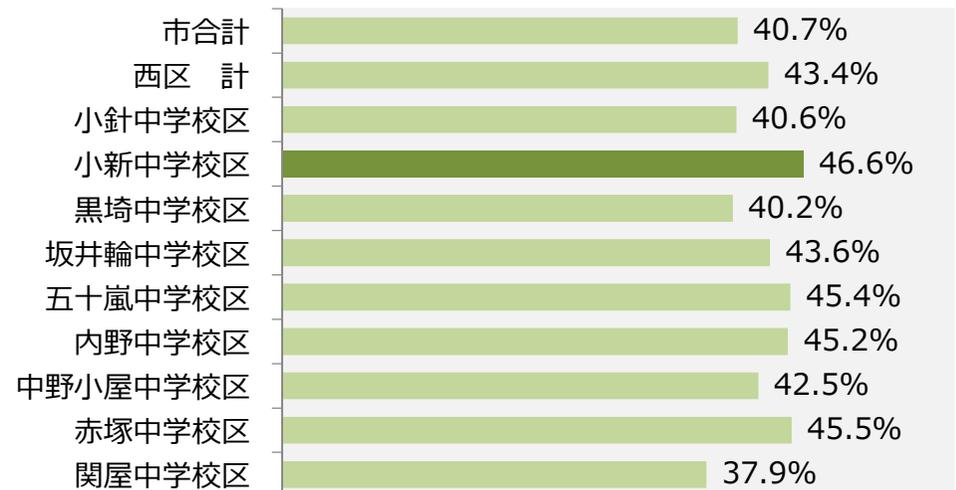


※平成27年9月末時点の住民基本台帳人口を基に算出

③血糖



④血圧（収縮期130mmHg以上）



※国民健康保険・後期高齢者医療保険：HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)5.6%以上

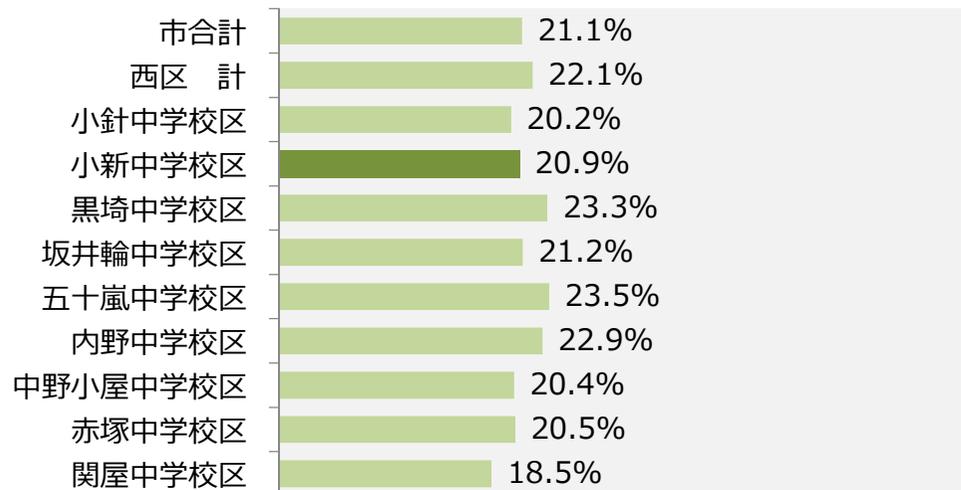
協会けんぽ：空腹時血糖100mg/dl以上

■HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）

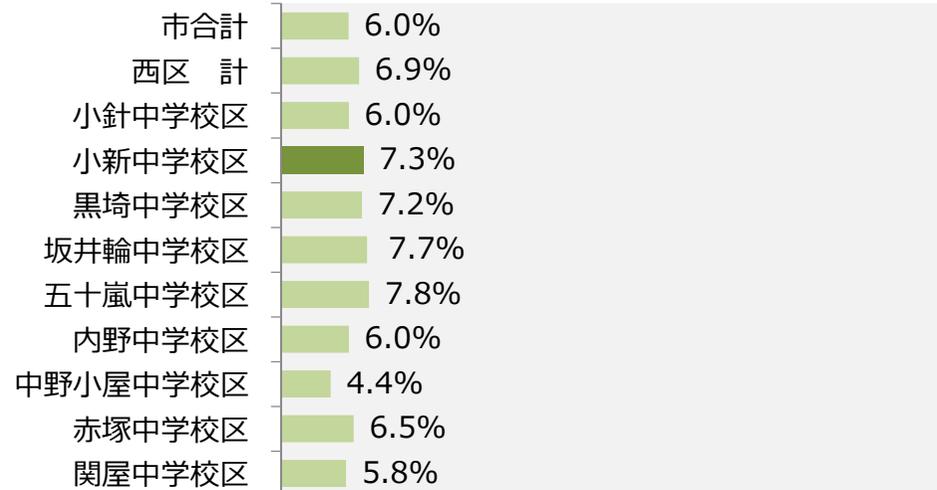
過去1~2か月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われている。

小新中学校区

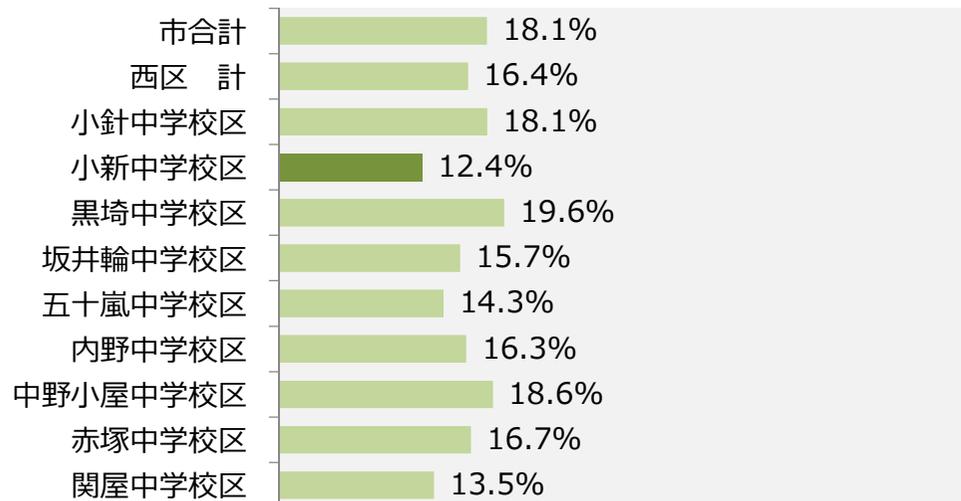
⑤脂質（中性脂肪150mg/dl以上）



⑥3項目(血糖・血圧・脂質)重複該当

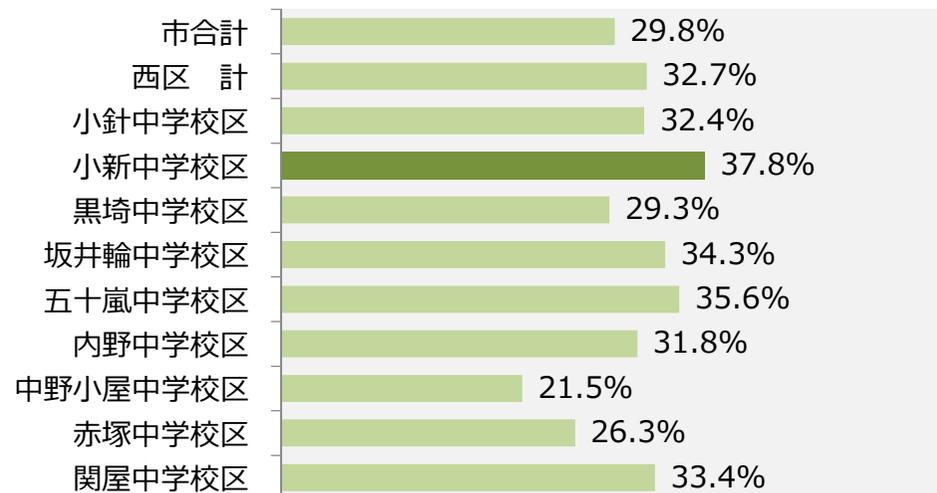


⑦喫煙



※現在、たばこを習慣的に吸っていると回答した人の割合

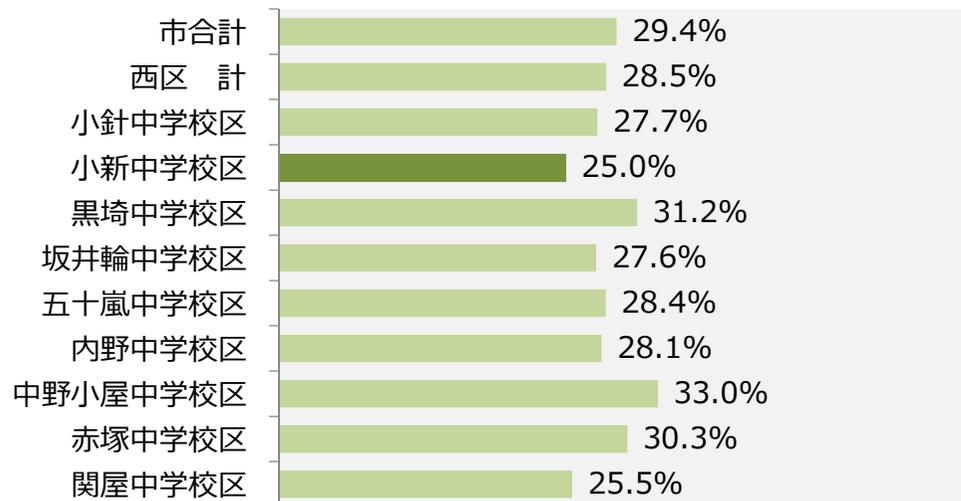
⑧運動習慣



※1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していると回答した人の割合

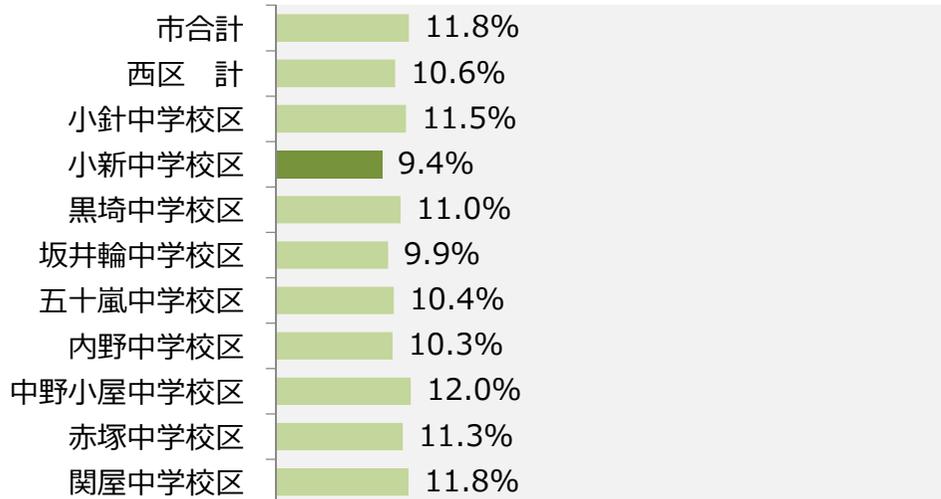
小新中学校区

⑨ 飲酒頻度（毎日）



※お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度は【毎日】と回答した人の割合

⑩ 食習慣（夕食後の間食）



※夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上あると回答した人の割合

⑪ 患者予備群、治療放置群等（国保・後期高齢）

	健診 対象者数 (国保+ 後期) 人数	未把握		未通院 患者予備群 治療放置群	
		人数	構成割合	人数	構成割合
小針中学校区	7,033	2,243	31.9%	269	3.8%
小新中学校区	5,430	1,582	29.1%	212	3.9%
黒崎中学校区	8,471	2,586	30.5%	220	2.6%
坂井輪中学校区	7,894	2,490	31.5%	404	5.1%
五十嵐中学校区	9,144	2,828	30.9%	445	4.9%
内野中学校区	8,153	2,504	30.7%	300	3.7%
中野小屋中学校区	1,239	409	33.0%	44	3.6%
赤塚中学校区	2,096	703	33.5%	49	2.3%
関屋中学校区	8,190	2,623	32.0%	311	3.8%
西区 計	49,460	15,345	31.0%	1,943	3.9%

※平成27年度の国保+後期高齢の健診対象者（40歳以上）の状況

未把握・・・健診未受診及び生活習慣病の受診がない

未通院・・・健診において下記項目のいずれかに該当し、医療機関で

診察又は治療の必要があるが、同年中に生活習慣病の受診がない

・血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上

・血圧：140又は90mmHg以上 ・中性脂肪：300mg/dl以上

・LDLコレステロール：140mg/dl以上 ・HDLコレステロール：35mg/dl未満

■ LDLコレステロール

全身の組織へコレステロールを運ぶ働きをしているが、多すぎると動脈硬化をすすめるため、悪玉コレステロールとも言われる。

■ HDLコレステロール

善玉コレステロールともいわれ、血管壁に沈着したコレステロールを取り除き肝臓に戻す働きがあり、少ないと動脈硬化をすすめるが、多すぎても問題があるといわれている。

小新中学校区

IV.施設データ

1.施設一覧

施設分類	施設名	施設基本情報				避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3
		複合施設 ※2	建築年		使用面積 (㎡)		コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)			
コミュニティ施設	坂井輪コミュニティセンター	A	S61		745.10	○	235.0	円/人/回	(928.0)	47.5	%	(26.3)	1
社会教育施設	小針地区図書室	A	S61		30.00	○	297.0	円/冊	(508.0)	1.6	倍	(1.9)	2
学校教育系施設	坂井輪小学校		S50	～ H1	8,150.68	○	46.5	万円/人/年	(81.3)	11.5	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	小新中学校		S46	～ H1	7,912.79	○	68.0	万円/人/年	(88.5)	22.4	㎡/人	(28.5)	1
子育て支援施設	坂井輪保育園		S53	～ S53	714.58		87.1	万円/人/年	(106.4)	6.2	㎡/園児数	(8.6)	1
子育て支援施設	坂井輪第1ひまわりクラブ		H4	～ H12	195.58		11.4	万円/人/年	(13.9)	2.9	㎡/児童数	(2.7)	2
子育て支援施設	坂井輪第2ひまわりクラブ		H22		190.46		11.4	万円/人/年	(13.9)	2.8	㎡/児童数	(2.7)	2
公営住宅	小針第1住宅		H5	～ H6	4,208.46		-			-			-
公営住宅	小針第2住宅		H8	～ H10	5,015.58		-			-			-
その他行政系施設	衛生環境研究所		H11	～ H17	2,984.51		-			-			-

※1 平成28年度財産白書（平成27年度決算ベース）から引用

※2 アルファベットが同じものは複合施設

※3 分析領域の番号は下記項目のとおり

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1.コスト状況、利用状況ともに相対的に良好な施設 | 2.相対的にコストは安いものの、利用が少ない施設 |
| 3.相対的にコストが高いものの、利用が多い施設 | 4.相対的に高コストかつ、利用が少ない施設 |

2.施設位置図



※校区の線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

※公営住宅は位置図には未掲載。

小新中学校区

黒崎中学校区 地域カルテ

西区

H30年8月更新

I.地域の基礎データ

1.中学校区の概要

黒崎中学校区は、西区の南部に位置し、中ノ口川沿いや国道8号沿いに住宅地が形成され、西側は田園地帯となっています。公共施設は、黒崎出張所や黒崎地区総合体育館のある大野地区に比較的集積しています。区域内で栽培される、県内で初めて国の地理的表示（GI）保護制度に登録された「くろさき茶豆」は、新潟の夏の風物詩として全国で親しまれています。また、各コミュニティ協議会が連携し健康づくり事業を実施しています。

黒崎南地区は、平地で豊かな自然に囲まれ、稲作・枝豆を主とした農村地帯です。道路網が整備されており、西区役所まで約10分で到達することができます。黒崎スマートICから北陸自動車道を利用することができます。

大野地区は、国道8号より東側は大野町の商店街、西側は住宅街や豊かな農村地帯が広がり、稲作・花き・畑作が盛んです。西北側に北陸自動車道があり、鳥原バス停から高速バスで、新潟市中心部や長岡方面へ通勤・通学する人もいます。

立仏地区は、田園に住宅団地が複数あり、古くからの農村地域と混在しています。周囲に大規模な商業店舗が数多く立地しているほか、いわゆる総合病院が立地しています。新潟西バイパスや西新潟ICより北陸自動車道を利用することができます。

山田地区は、近年住宅地化が進んでいます。国道8号沿いに、新潟の味覚や特産品を取り揃える新潟ふるさと村やスーパー、ホームセンター等の商業施設が集積し、人や車の流れが増えています。

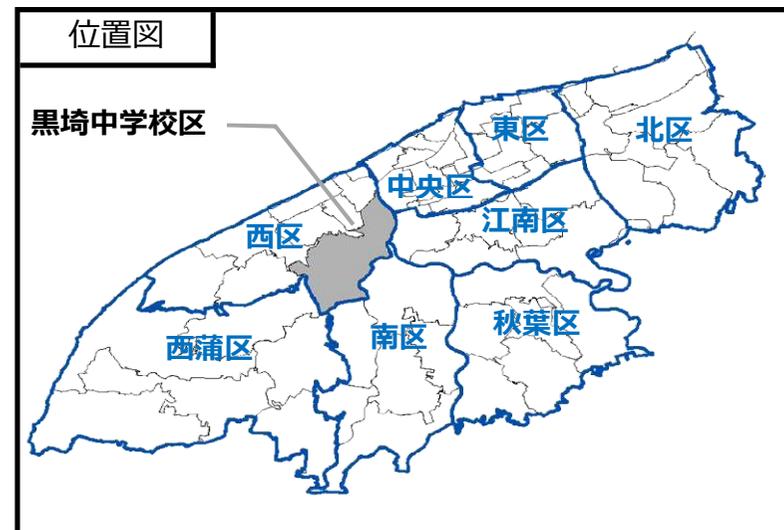
コミュニティ協議会※

黒崎南ふれあい協議会
大野校区ふれあい協議会
立仏校区ふれあい協議会
山田校区ふれあい協議会

小学校

黒崎南小学校	大野小学校
立仏小学校	山田小学校

※中学校区の区域とコミュニティ協議会の区域は必ずしも一致しない。



黒崎中学校区

Ⅱ.人口データ

1.人口・世帯数(住民基本台帳)

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	(人)	(世帯)	(人)
							うち75歳以上	世帯数	1世帯当たり 世帯人員
2011年	27,464	13,471	13,993	3,903	17,820	5,741	2,768	9,959	2.76
		49.0%	51.0%	14.2%	64.9%	20.9%	10.1%		
2016年	26,864	13,099	13,765	3,525	16,381	6,958	3,291	10,424	2.58
		48.8%	51.2%	13.1%	61.0%	25.9%	12.3%		
増減	-600	-372	-228	-378	-1,439	1,217	523	465	-0.18
	-2.2%	-2.8%	-1.6%	-9.7%	-8.1%	21.2%	18.9%		

2.人口推計

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上
2021年	25,959	12,586	13,373	3,162	15,289	7,508	3,606
		48.5%	51.5%	12.2%	58.9%	28.9%	13.9%
2026年	24,855	11,981	12,874	2,816	14,441	7,598	4,362
		48.2%	51.8%	11.3%	58.1%	30.6%	17.6%
2031年	23,622	11,325	12,297	2,594	13,558	7,471	4,552
		47.9%	52.1%	11.0%	57.4%	31.6%	19.3%
2036年	22,287	10,621	11,667	2,456	12,328	7,504	4,402
		47.7%	52.3%	11.0%	55.3%	33.7%	19.8%
2016-2036 増減	-4,577	-2,478	-2,098	-1,069	-4,053	546	1,111
	-17.0%	-18.9%	-15.2%	-30.3%	-24.7%	7.8%	33.8%

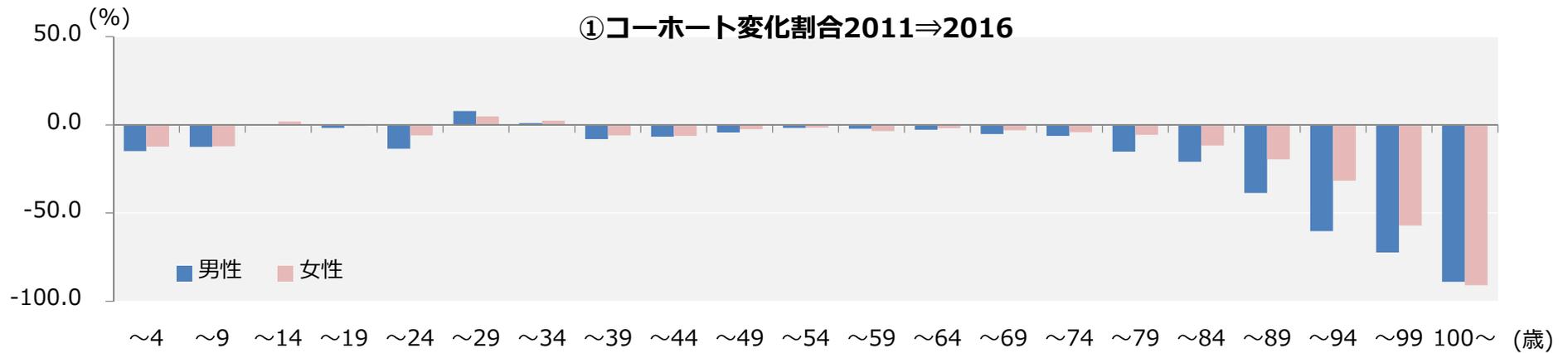
○人口は、2016年の26,864人から減少を続け、2036年には22,287人となり、4,577人、17.0%減少する。

○老年人口は、2026年の7,598人をピークに、2036年には7,504人となり、2016年に比べて7.8%増加する。老年人口割合は2016年の25.9%から拡大を続け2036年には33.7%となる。一方、年少人口は減少を続け、2036年には2,456人となり30.3%減少する。年少人口割合も11.0%に縮小する。

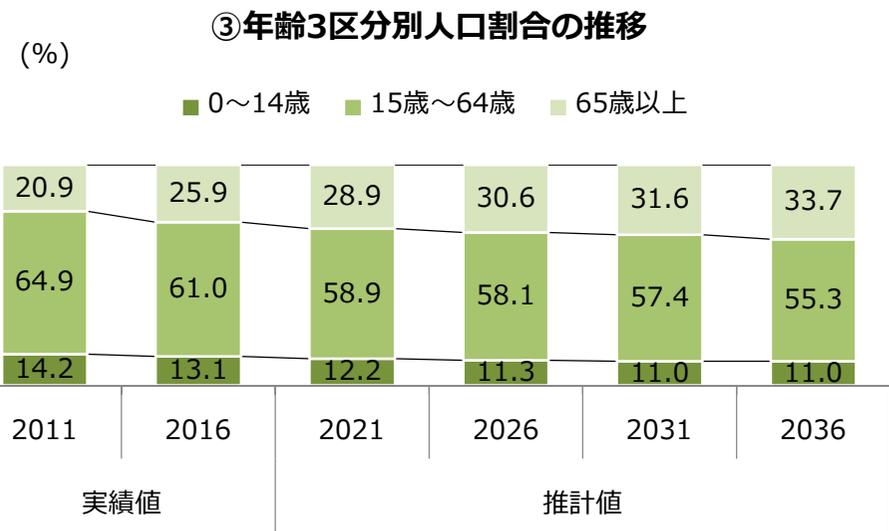
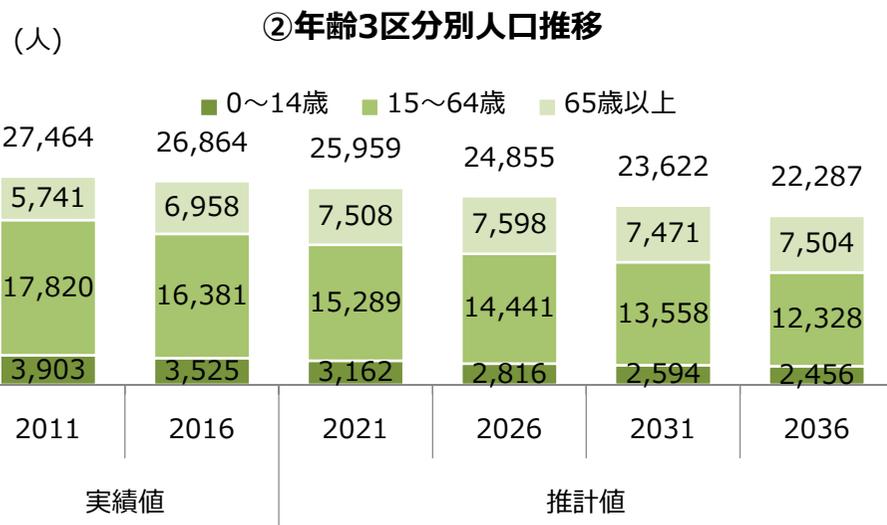
○生産年齢人口は、2016年の16,381人から減少を続け、2036年には12,328人と24.7%減少、生産年齢人口割合も縮小していく。

黒崎中学校区

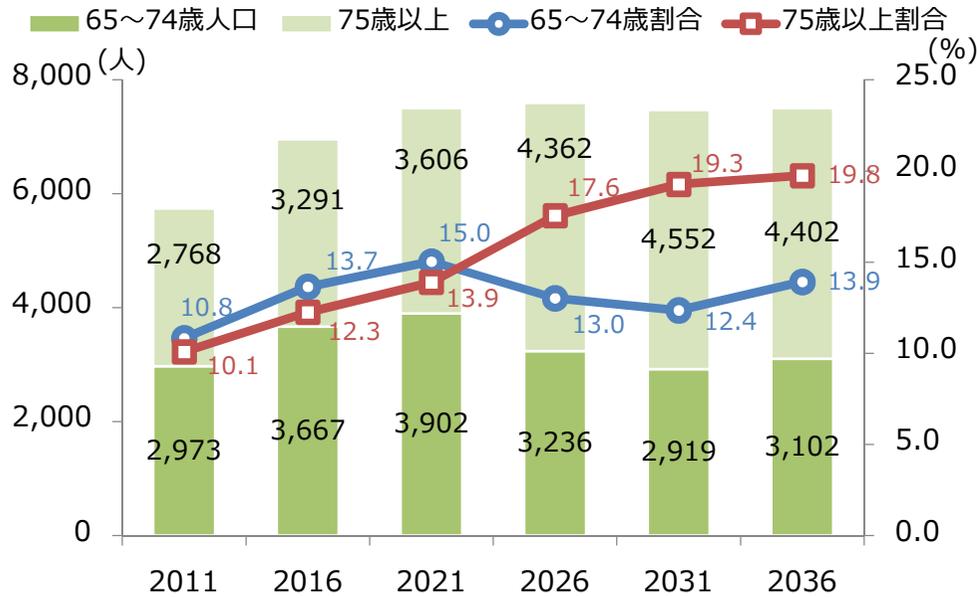
3.人口推計グラフ



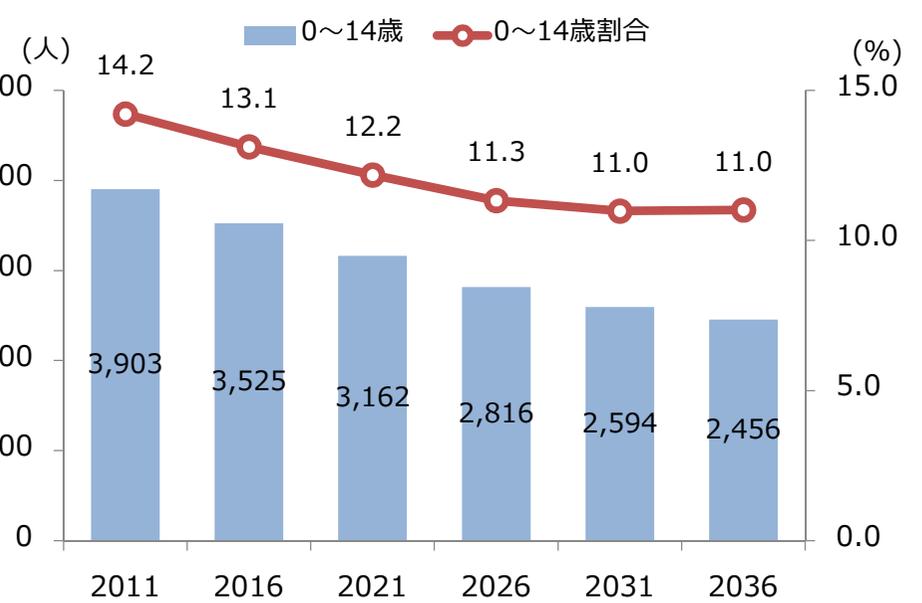
○25~29歳、30~34歳において男女ともに変化割合はプラスとなっているが、これ以降のすべての年代においてマイナスとなっている。
 ○0~4歳、5~9歳の年代において、男女とも1割以上のマイナスとなっている。



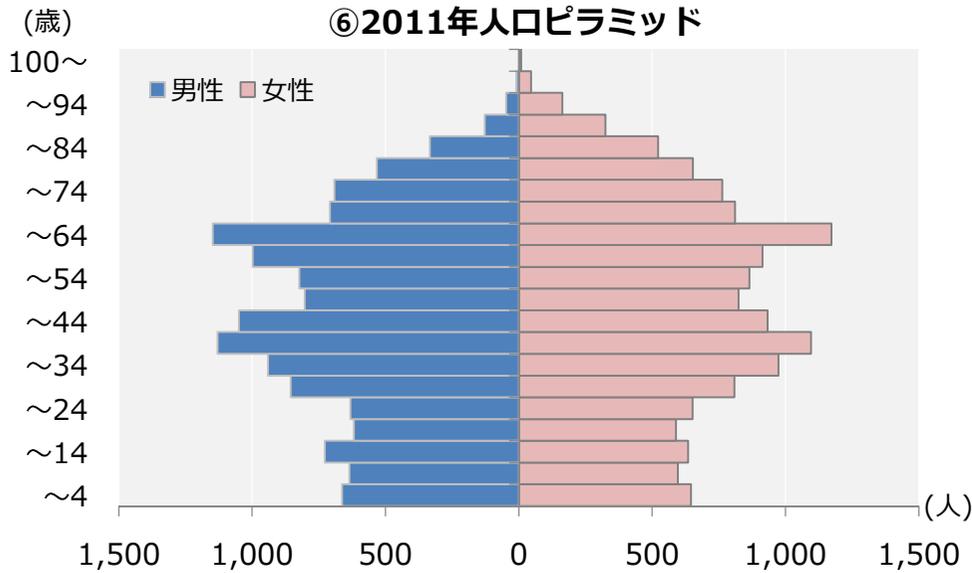
④高齢者人口の推移



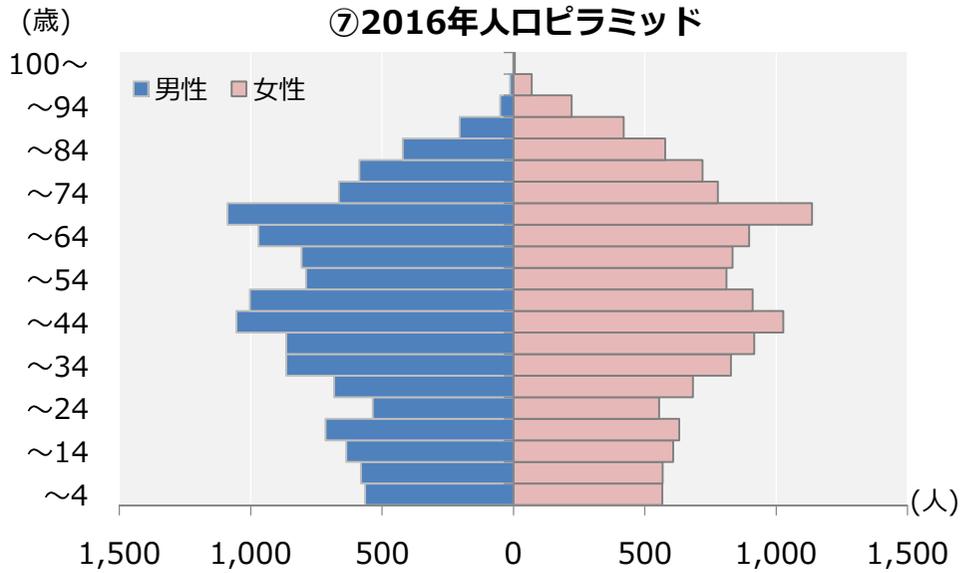
⑤年少人口の推移



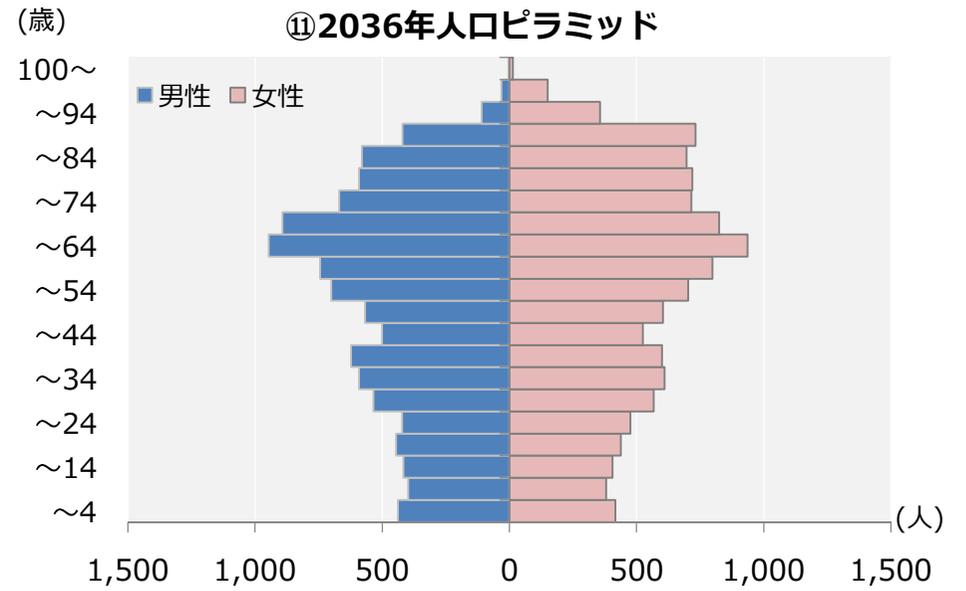
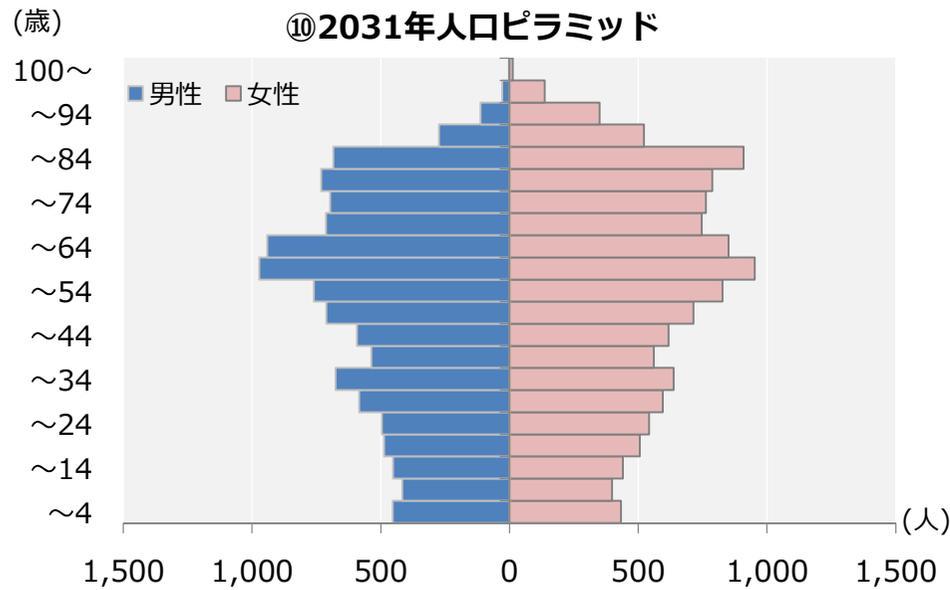
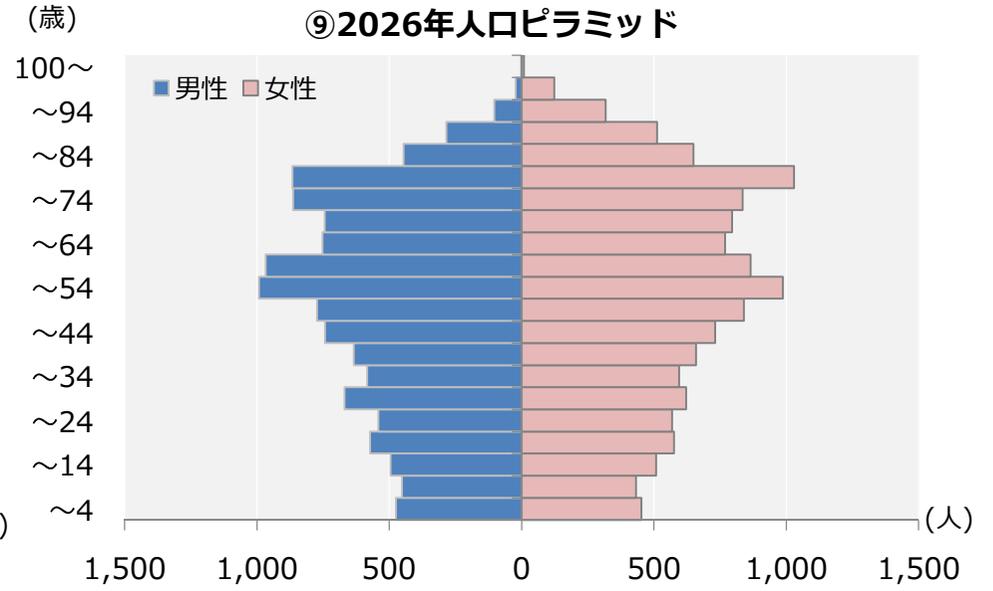
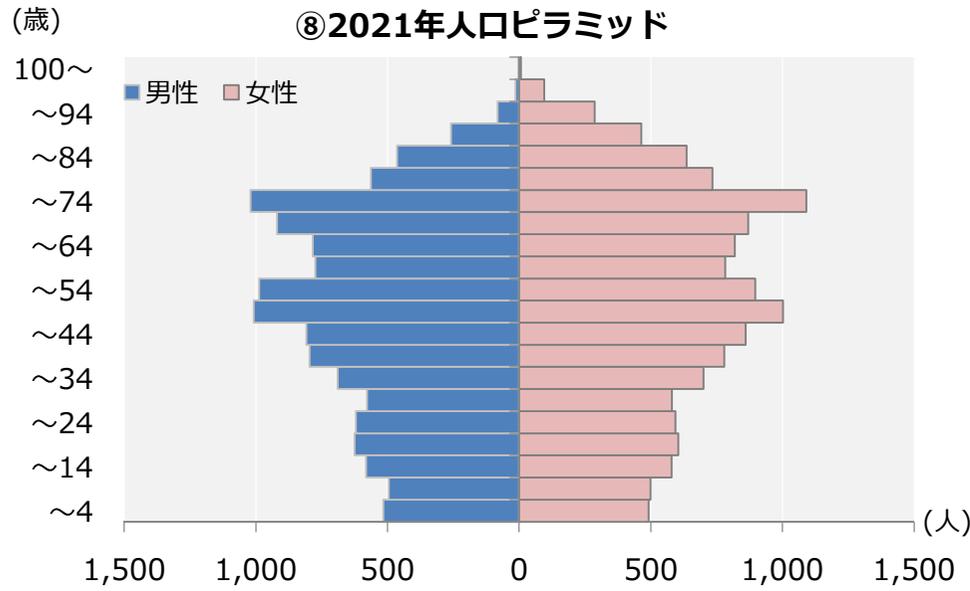
⑥2011年人口ピラミッド



⑦2016年人口ピラミッド



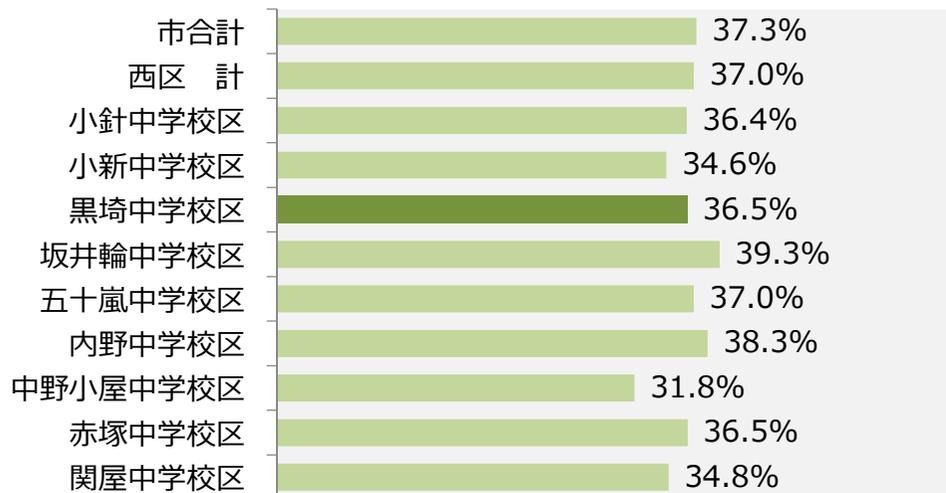
黒崎中学校区



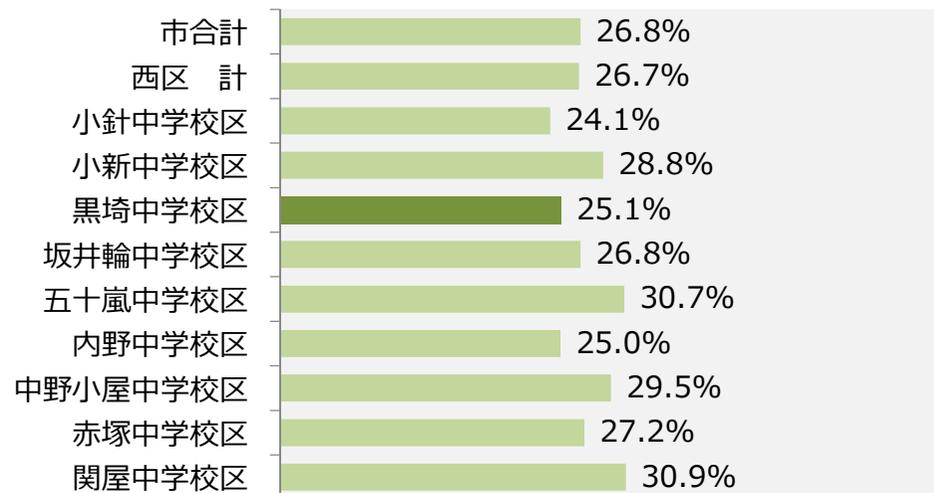
Ⅲ.健康データ（平成27年度新潟市国民健康保険・新潟県後期高齢者医療保険・協会けんぽ健診データ）

※「西区計」には、集計の都合上、関屋中学校区データは含まない。（「中央区計」に含む）

①健診受診率

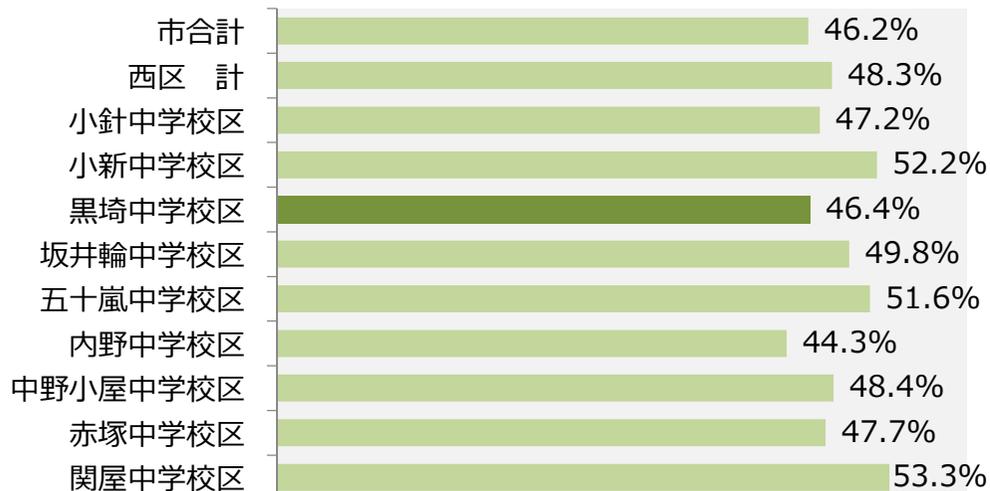


②高齢化率

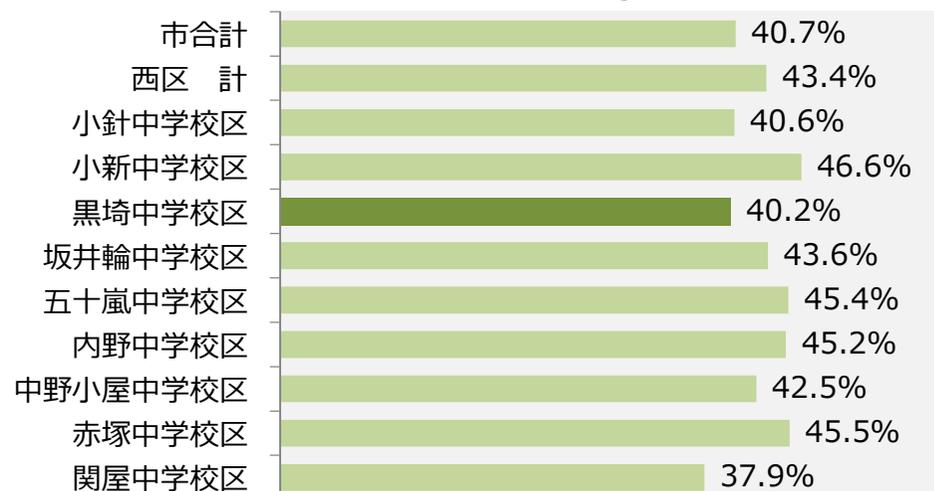


※平成27年9月末時点の住民基本台帳人口を基に算出

③血糖



④血圧（収縮期130mmHg以上）



※国民健康保険・後期高齢者医療保険：HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)5.6%以上

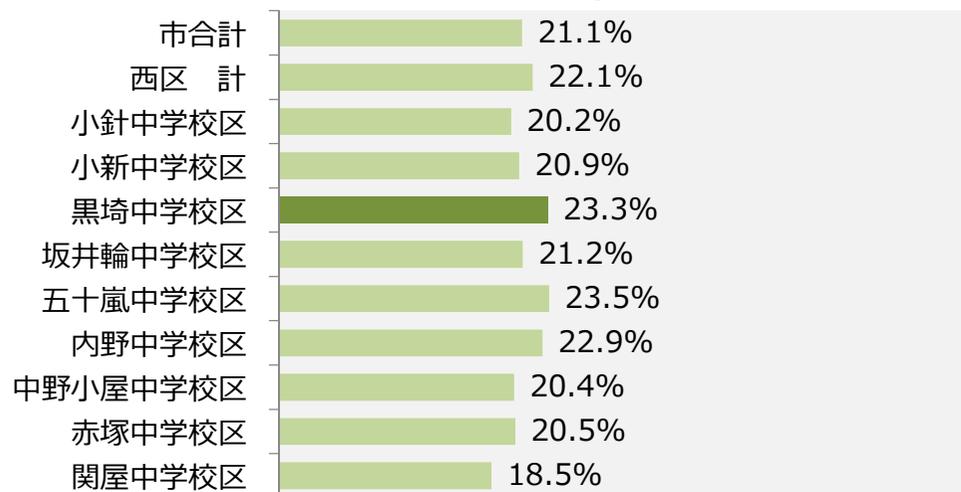
協会けんぽ：空腹時血糖100mg/dl以上

■HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）

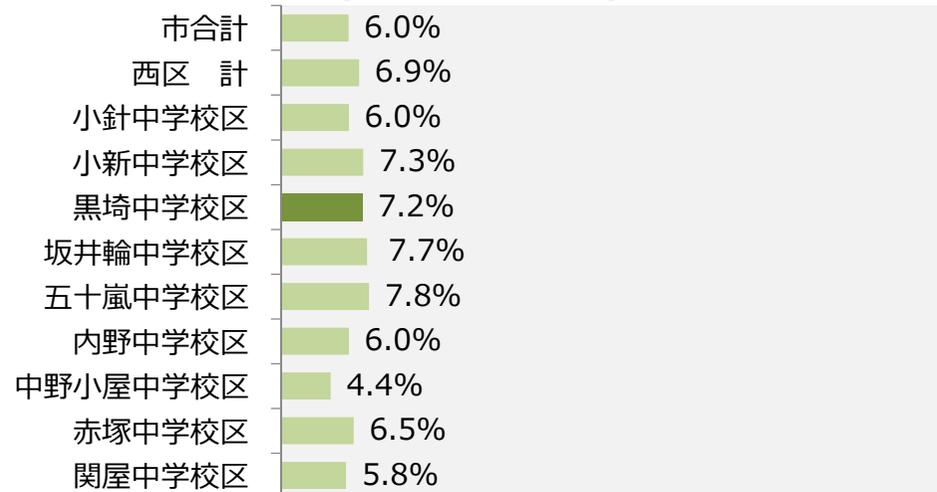
過去1~2か月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われている。

黒崎中学校区

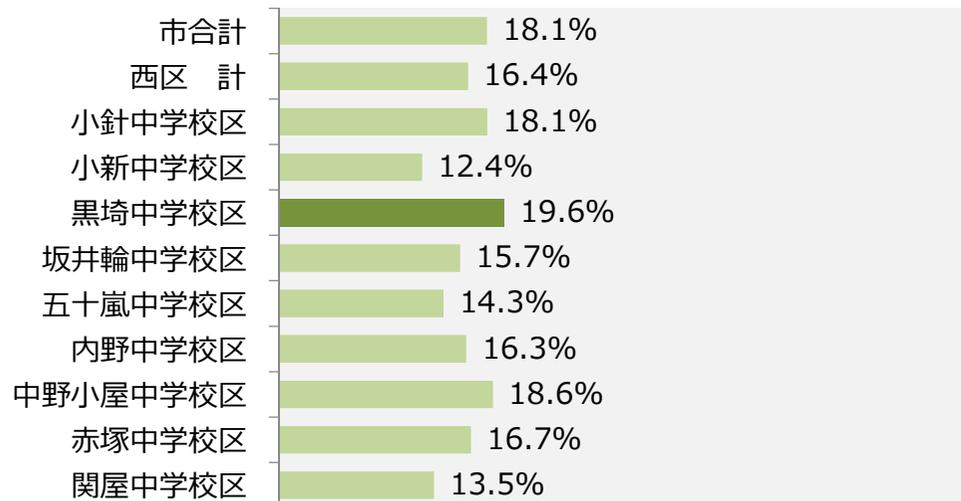
⑤脂質（中性脂肪150mg/dl以上）



⑥3項目(血糖・血圧・脂質)重複該当

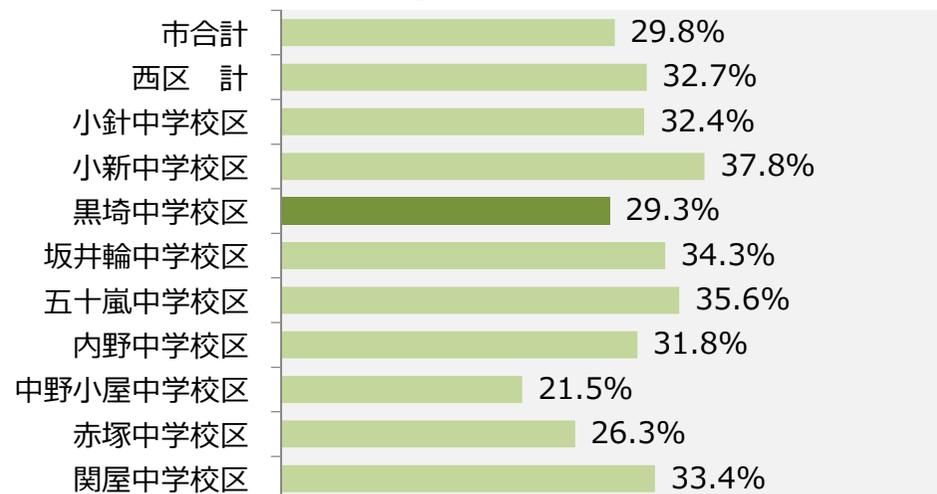


⑦喫煙



※現在、たばこを習慣的に吸っていると回答した人の割合

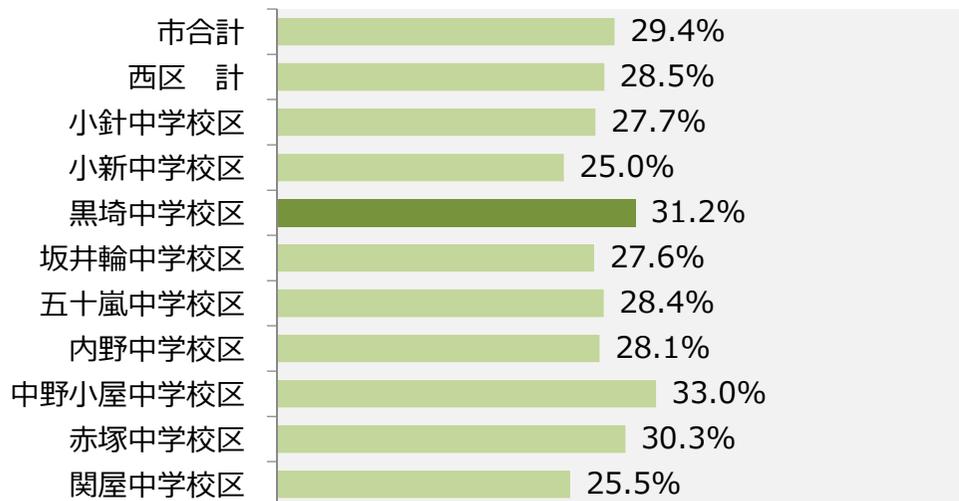
⑧運動習慣



※1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していると回答した人の割合

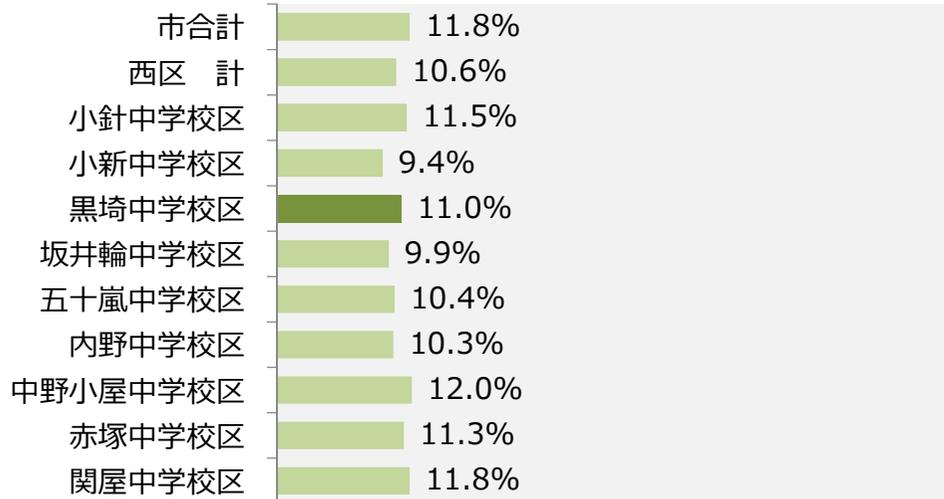
黒崎中学校区

⑨ 飲酒頻度（毎日）



※お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度は【毎日】と回答した人の割合

⑩ 食習慣（夕食後の間食）



※夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上あると回答した人の割合

⑪ 患者予備群、治療放置群等（国保・後期高齢）

	健診 対象者数 (国保+ 後期) 人数	未把握		未通院 患者予備群 治療放置群	
		人数	構成割合	人数	構成割合
小針中学校区	7,033	2,243	31.9%	269	3.8%
小新中学校区	5,430	1,582	29.1%	212	3.9%
黒崎中学校区	8,471	2,586	30.5%	220	2.6%
坂井輪中学校区	7,894	2,490	31.5%	404	5.1%
五十嵐中学校区	9,144	2,828	30.9%	445	4.9%
内野中学校区	8,153	2,504	30.7%	300	3.7%
中野小屋中学校区	1,239	409	33.0%	44	3.6%
赤塚中学校区	2,096	703	33.5%	49	2.3%
関屋中学校区	8,190	2,623	32.0%	311	3.8%
西区 計	49,460	15,345	31.0%	1,943	3.9%

※平成27年度の国保+後期高齢の健診対象者（40歳以上）の状況

未把握・・・健診未受診及び生活習慣病の受診がない

未通院・・・健診において下記項目のいずれかに該当し、医療機関で

診察又は治療の必要があるが、同年中に生活習慣病の受診がない

- ・血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上
- ・血圧：140又は90mmHg以上 ・中性脂肪：300mg/dl以上
- ・LDLコレステロール：140mg/dl以上 ・HDLコレステロール：35mg/dl未満

■ LDLコレステロール

全身の組織へコレステロールを運ぶ働きをしているが、多すぎると動脈硬化をすすめるため、悪玉コレステロールとも言われる。

■ HDLコレステロール

善玉コレステロールともいわれ、血管壁に沈着したコレステロールを取り除き肝臓に戻す働きがあり、少ないと動脈硬化をすすめるが、多すぎても問題があるといわれている。

黒崎中学校区

IV.施設データ

1.施設一覧

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3	
		複合施設 ※2	建築年			使用面積 (㎡)	コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)			
コミュニティ施設	黒崎市民会館		H18		3,757.90	○	431.0	円/人/回	(1,002.7)	58.7	%	(43.6)	1
コミュニティ施設	黒崎北部公民館	A	S59		989.06		488.0	円/人/回	(928.0)	42.3	%	(26.3)	1
コミュニティ施設	黒崎南部公民館		H23		519.40		383.0	円/人/回	(928.0)	38.8	%	(26.3)	1
コミュニティ施設	黒崎農村環境改善センター		S61		1,279.32		547.0	円/人/回	(928.0)	25.7	%	(26.3)	2
コミュニティ施設	木場農村集落多目的共同利用施設		H4		260.27		0.0	円/人/回	(928.0)	41.9	%	(26.3)	1
文化施設	文化財センター		H23		4,757.30		18,293.0	円/人/回	(2,113.6)	39.4	人/日	(45.0)	4
社会教育施設	黒崎図書館		S58	～ H15	779.60		166.0	円/冊	(508.0)	2.7	倍	(1.9)	1
社会教育施設	黒崎北部地区図書室	A	S59		61.46		122.0	円/冊	(508.0)	1.4	倍	(1.9)	2
スポーツ施設	黒崎地区総合体育館		S53		5,111.49		460.0	円/人/回	(794.9)	5.5	人/100㎡/日	(6.0)	2
スポーツ施設	みどりと森の運動公園体育施設		H23	～ H23	4,066.87		463.0	円/人/回	(794.9)	5.3	人/100㎡/日	(6.0)	2
学校教育系施設	立仏小学校		S49	～ H13	5,386.70	○	54.5	万円/人/年	(81.3)	15.0	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	大野小学校	B	S56	～ H20	6,640.29	○	54.3	万円/人/年	(81.3)	16.8	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	山田小学校	C	S53	～ H23	7,782.38	○	46.5	万円/人/年	(81.3)	15.5	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	黒崎南小学校	D	H16	～ H24	4,894.57	○	68.1	万円/人/年	(81.3)	28.1	㎡/人	(24.1)	2
学校教育系施設	黒崎中学校		S40	～ H5	10,769.94	○	62.7	万円/人/年	(88.5)	17.7	㎡/人	(28.5)	1
子育て支援施設	大野保育園		S51		1,609.90		97.4	万円/人/年	(106.4)	9.1	㎡/園児数	(8.6)	2

黒崎中学校区

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3	
		複合施設 ※2	建築年			使用面積 (㎡)	コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)			
子育て支援施設	木場保育園		S61		784.00		109.5	万円/人/年	(106.4)	10.3	㎡/園児数	(8.6)	4
子育て支援施設	寺地保育園		S50		706.34		93.5	万円/人/年	(106.4)	6.9	㎡/園児数	(8.6)	1
子育て支援施設	山田保育園		S54	～ H5	896.89		93.9	万円/人/年	(106.4)	7.2	㎡/園児数	(8.6)	1
子育て支援施設	黒崎なかよし保育園		H17		863.67		77.3	万円/人/年	(106.4)	6.9	㎡/園児数	(8.6)	1
子育て支援施設	興野保育園		H20		833.84		85.8	万円/人/年	(106.4)	7.5	㎡/園児数	(8.6)	1
子育て支援施設	立仏ひまわりクラブ		H15		157.75		11.4	万円/人/年	(13.9)	2.3	㎡/児童数	(2.7)	1
子育て支援施設	大野ひまわりクラブ	B	S56	～ H20	124.00	○	10.5	万円/人/年	(13.9)	1.5	㎡/児童数	(2.7)	1
子育て支援施設	山田第1ひまわりクラブ	C	S53	～ H23	112.47	○	12.8	万円/人/年	(13.9)	1.8	㎡/児童数	(2.7)	1
子育て支援施設	山田第2ひまわりクラブ		H19		115.93		14.8	万円/人/年	(13.9)	2.4	㎡/児童数	(2.7)	3
子育て支援施設	黒崎南ひまわりクラブ	D	H16	～ H24	97.50	○	21.5	万円/人/年	(13.9)	3.3	㎡/児童数	(2.7)	4
子育て支援施設	黒崎子育て支援センター		H17		109.30		1,527.0	円/人/回	(1,319.4)	38.5	人/100㎡/日	(22.6)	3
高齢者福祉施設	老人デイサービスセンター黒崎の里		H12		600.75		-			-			-
高齢者福祉施設	老人デイサービスセンター黒崎荘		H3	～ H12	407.65		-			-			-
高齢者福祉施設	老人憩の家やなぎ荘		H17		274.99		360.0	円/人/回	(806.6)	22.2	人/100㎡/日	(12.7)	1
高齢者福祉施設	老人憩の家成巻荘		H17		280.67		314.0	円/人/回	(806.6)	19.9	人/100㎡/日	(12.7)	1
高齢者福祉施設	老人福祉センター黒崎荘		H3	～ H12	1,622.44		249.0	円/人/回	(806.6)	30.6	人/100㎡/日	(12.7)	1
保健施設	黒崎地域保健福祉センター	E	S35	～ H4	59.62		27,498.0	円/人/回	(3,762.6)		-		-

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3		
		複合施設 ※2	建築年			使用面積 (㎡)	コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)				
保健施設	黒埼健康センター		H7		2,556.12		623.0	円/人/回	(3,762.6)	18.6	%	(24.7)	2	
庁舎系施設	黒埼出張所	E	S35	～	H4	2,936.19		3,187.0	円/人	(7,358.9)	244.7	㎡/人	(151.9)	2
教育系施設	黒埼学校給食センター		H4	～	H16	1,409.63		248.0	円/食	(317.8)	1.2	食数/㎡/日	(1.0)	1

※1 平成28年度財産白書（平成27年度決算ベース）から引用

※2 アルファベットが同じものは複合施設

※3 分析領域の番号は下記項目のとおり

1. コスト状況、利用状況ともに相対的に良好な施設
3. 相対的にコストが高いものの、利用が多い施設

2. 相対的にコストは安いものの、利用が少ない施設
4. 相対的に高コストかつ、利用が少ない施設

坂井輪中学校区 地域カルテ

西区

H30年8月更新

I.地域の基礎データ

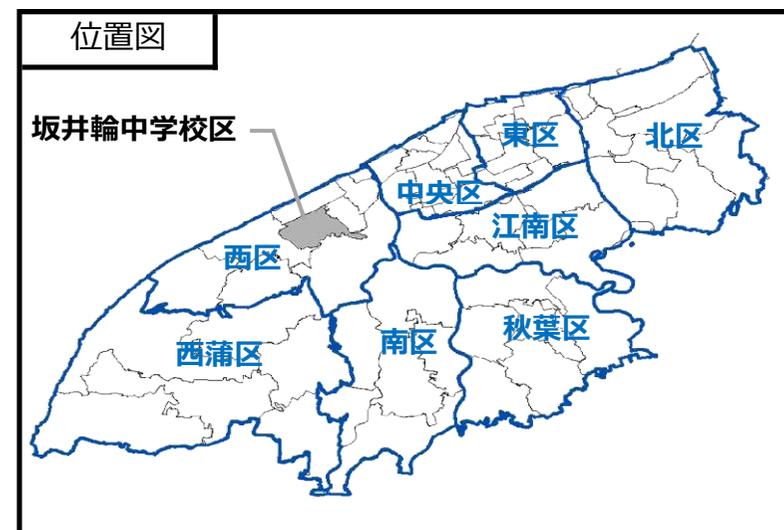
1.中学校区の概要

坂井輪中学校区は、JR寺尾駅南西側に位置し、駅周辺に住宅地が形成され、西区役所や基幹公民館である坂井輪地区公民館などの行政施設が立地し、西川の南側には田園が広がっています。東西には幹線道路が延び、多くの新潟交通バス路線や住民バスの坂井輪コミュニティバスが、区役所、西総合スポーツセンターなどの公共施設、病院、商業施設、鉄道駅などの施設を結んで運行しており、良好な交通アクセスが確保されています。新通南地域の宅地化の進行とともに、新通小学校の児童数が急増するため、新通小学校分離独立校の設置が、平成32年開校を目指して進められています。

坂井輪中学校区まちづくり協議会が中心となり、地域を助ける即戦力となる中学生を育成する「レスキュージュニア養成講座」や高齢者、障がい者のゴミ出しを支援する「さかい輪ふれあい収集事業」などを実施しています。

コミュニティ協議会※	
坂井輪中学校区まちづくり協議会	
小学校	
新通小学校	坂井東小学校

※中学校区の区域とコミュニティ協議会の区域は必ずしも一致しない。



坂井輪中学校区

Ⅱ.人口データ

1.人口・世帯数(住民基本台帳)

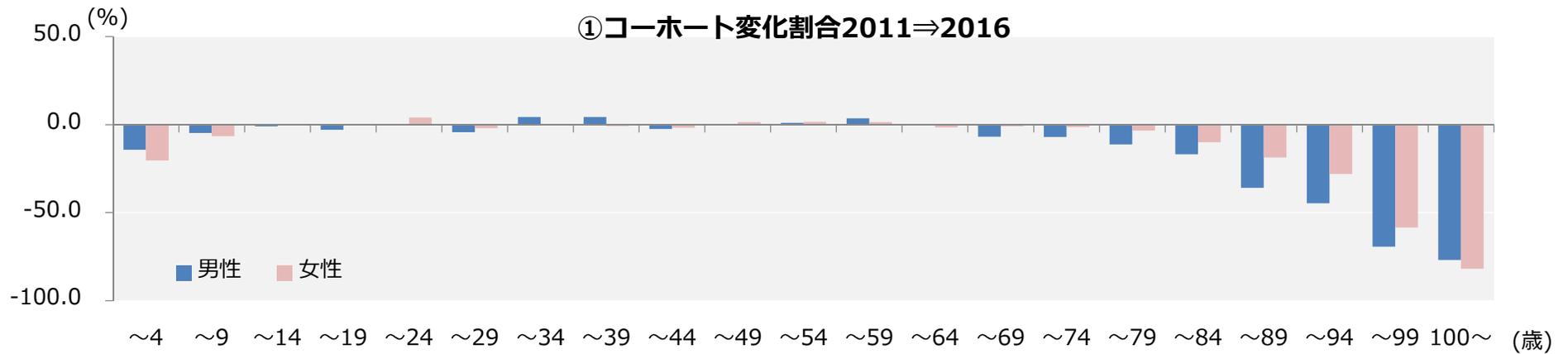
	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	(人)	(世帯)	(人)
							うち75歳以上	世帯数	1世帯当たり 世帯人員
2011年	24,975	11,945	13,030	3,676	15,442	5,857	2,931	10,096	2.47
		47.8%	52.2%	14.7%	61.8%	23.5%	11.7%		
2016年	25,014	11,952	13,062	3,537	14,567	6,910	3,426	10,535	2.37
		47.8%	52.2%	14.1%	58.2%	27.6%	13.7%		
増減	39	7	32	-139	-875	1,053	495	439	-0.10
	0.2%	0.1%	0.2%	-3.8%	-5.7%	18.0%	16.9%		

2.人口推計

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上
2021年	24,757	11,795	12,962	3,175	14,309	7,272	3,888
		47.6%	52.4%	12.8%	57.8%	29.4%	15.7%
2026年	24,333	11,569	12,764	2,834	14,292	7,207	4,520
		47.5%	52.5%	11.6%	58.7%	29.6%	18.6%
2031年	23,802	11,322	12,480	2,738	13,912	7,153	4,558
		47.6%	52.4%	11.5%	58.4%	30.1%	19.2%
2036年	23,132	11,021	12,111	2,742	12,928	7,462	4,277
		47.6%	52.4%	11.9%	55.9%	32.3%	18.5%
2016-2036 増減	-1,882	-931	-951	-795	-1,639	552	851
	-7.5%	-7.8%	-7.3%	-22.5%	-11.3%	8.0%	24.8%

- 人口は、2016年の25,014人から徐々に減少を続け、2036年は23,132人となり7.5%減少する。
- 老年人口は、2036年には7,462人で8.0%の増加が見込まれており、老年人口割合は2016年の27.6%から32.3%に拡大する。
- 年少人口は、2016年の3,537人から減少を続け、2036年には22.5%減の2,742人となる。
- 生産年齢人口は、2016年の14,567人から徐々に減少を続け、2036年には12,928人と11.3%減少し、生産年齢人口割合も縮小する。

3.人口推計グラフ

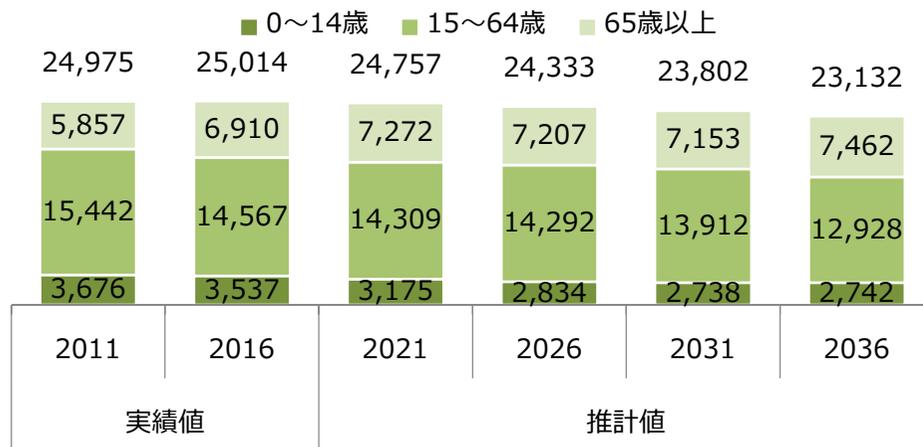


○0~4歳、5~9歳において、男女ともに変化割合はマイナスとなっている。

○20~24歳において男女ともに変化割合はプラスであるが、25~29歳でマイナス、30~34歳では再びプラスに転じている。

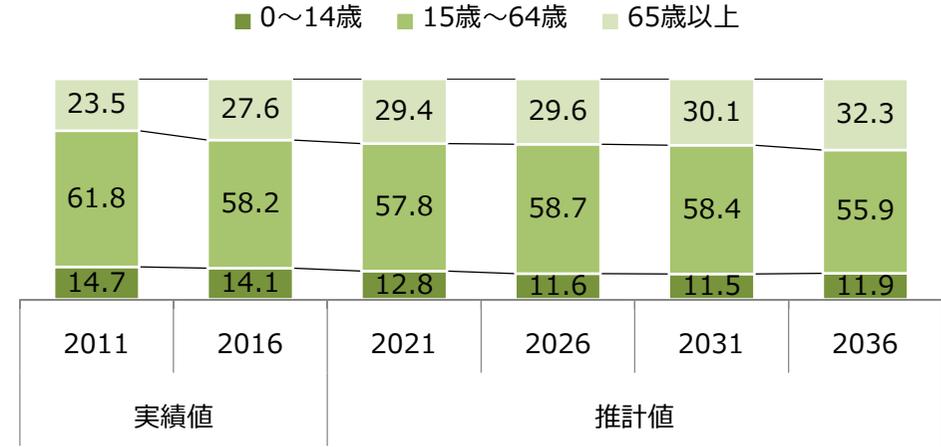
(人)

② 年齢3区分別人口推移

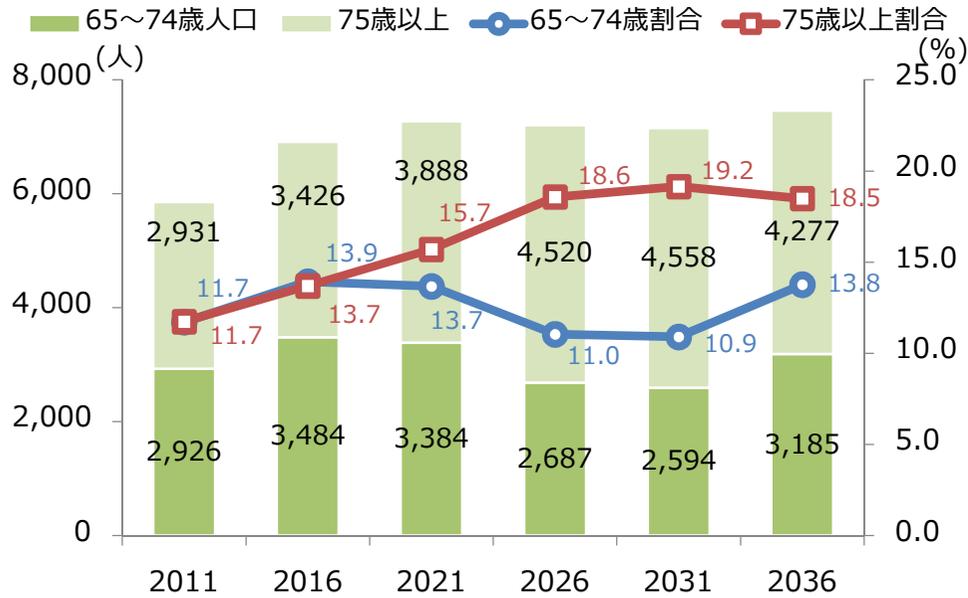


(%)

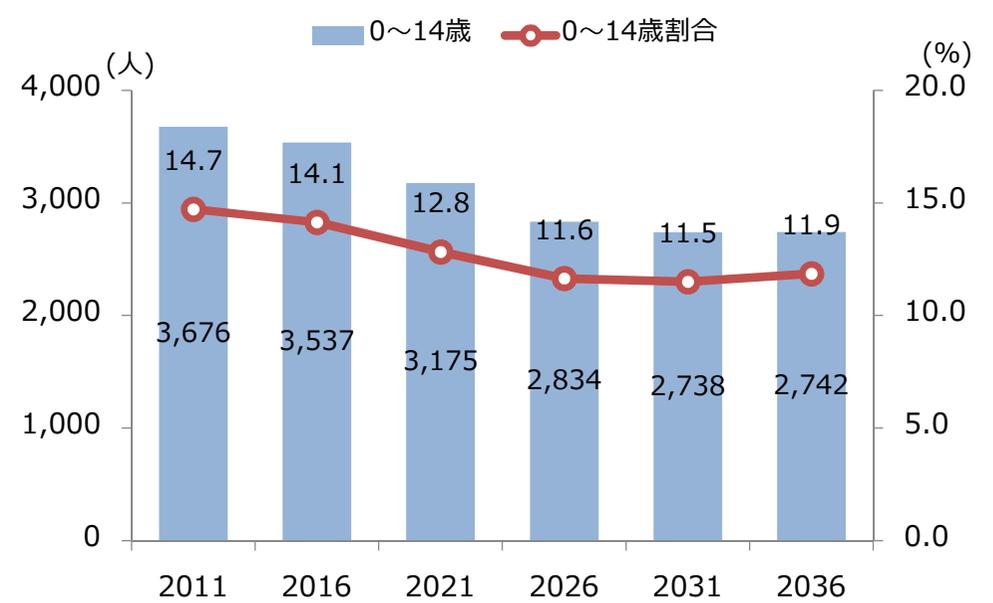
③ 年齢3区分別人口割合の推移



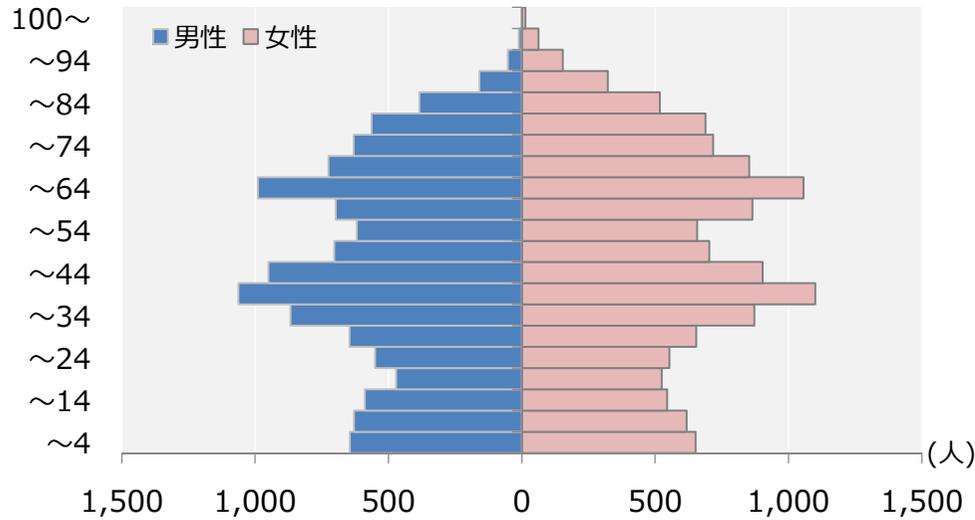
④高齢者人口の推移



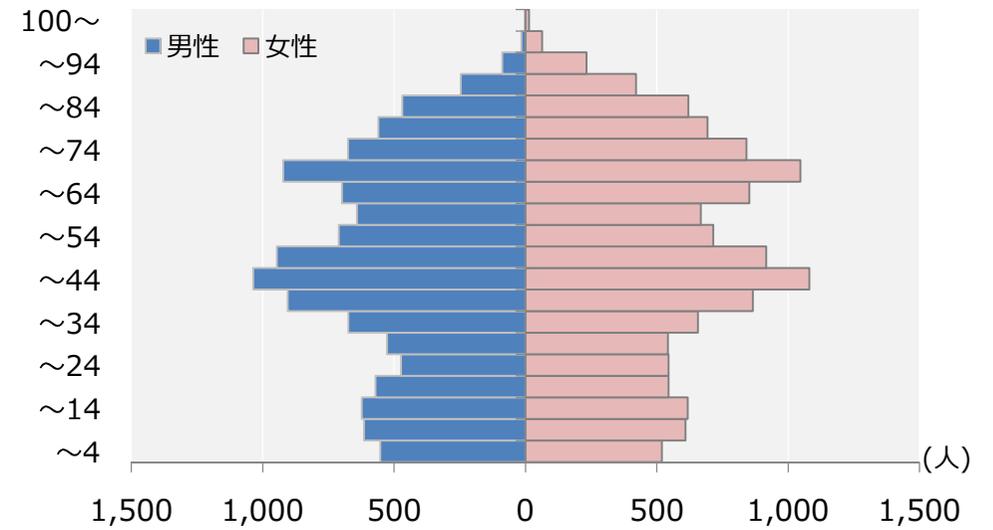
⑤年少人口の推移



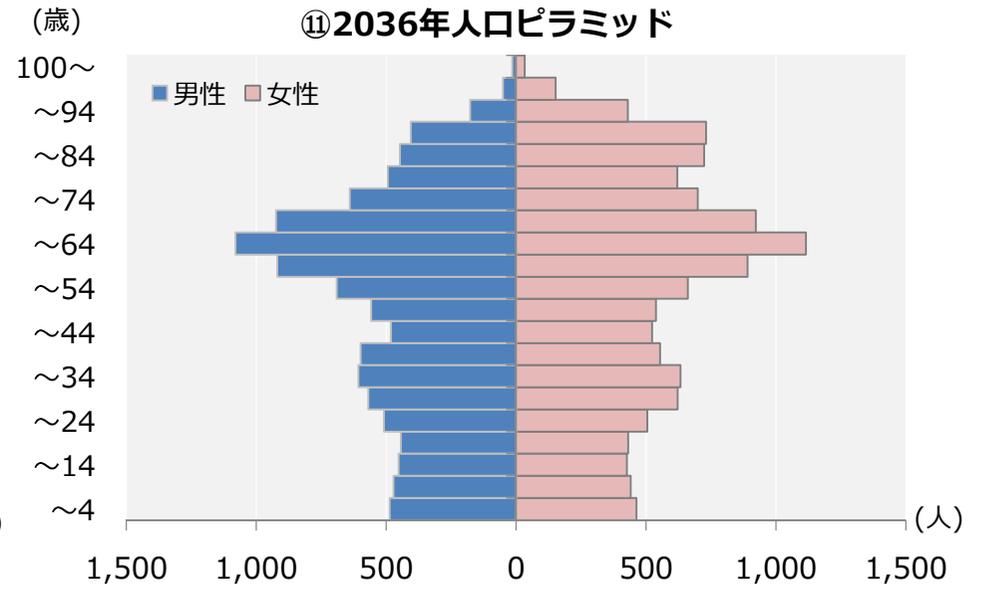
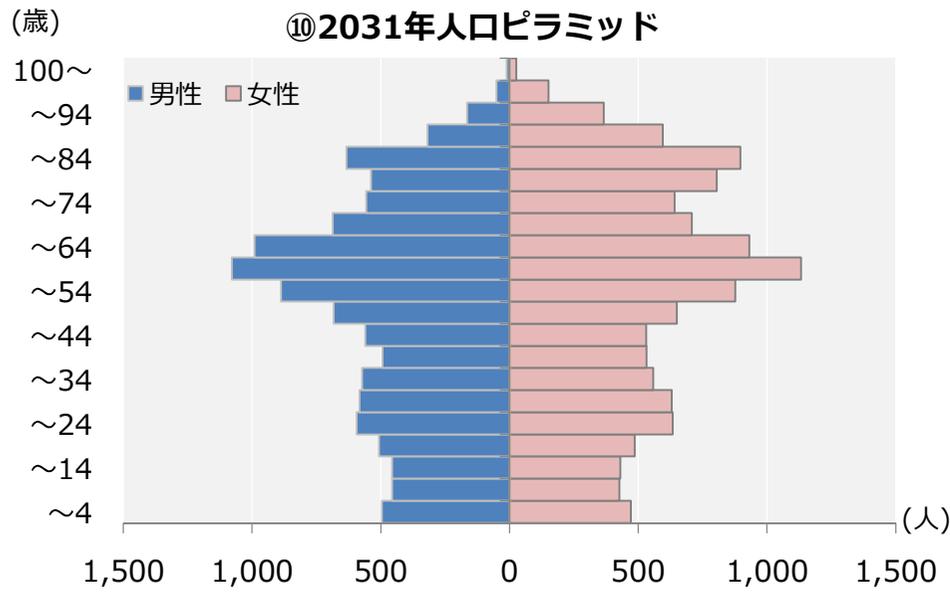
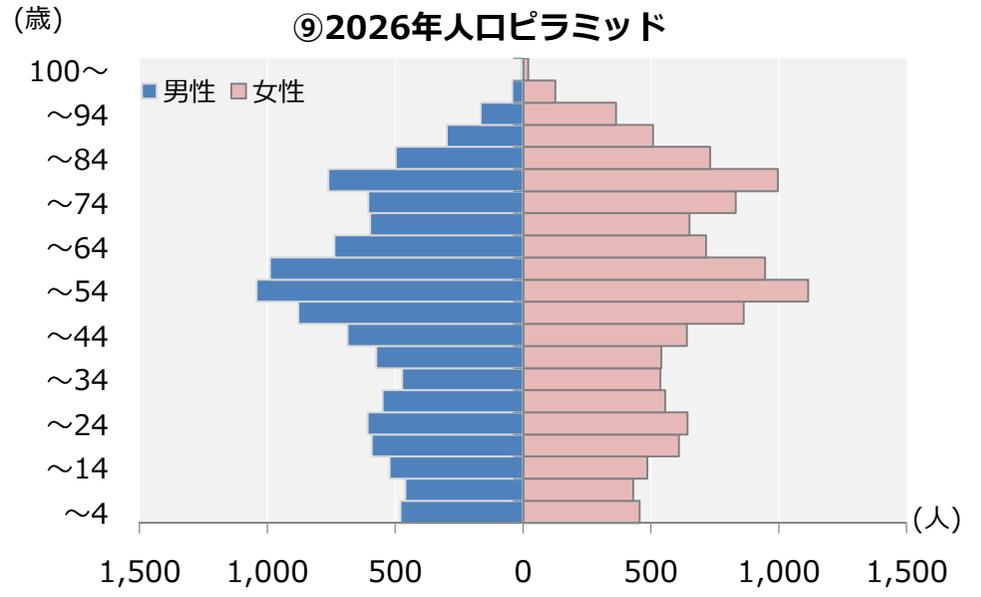
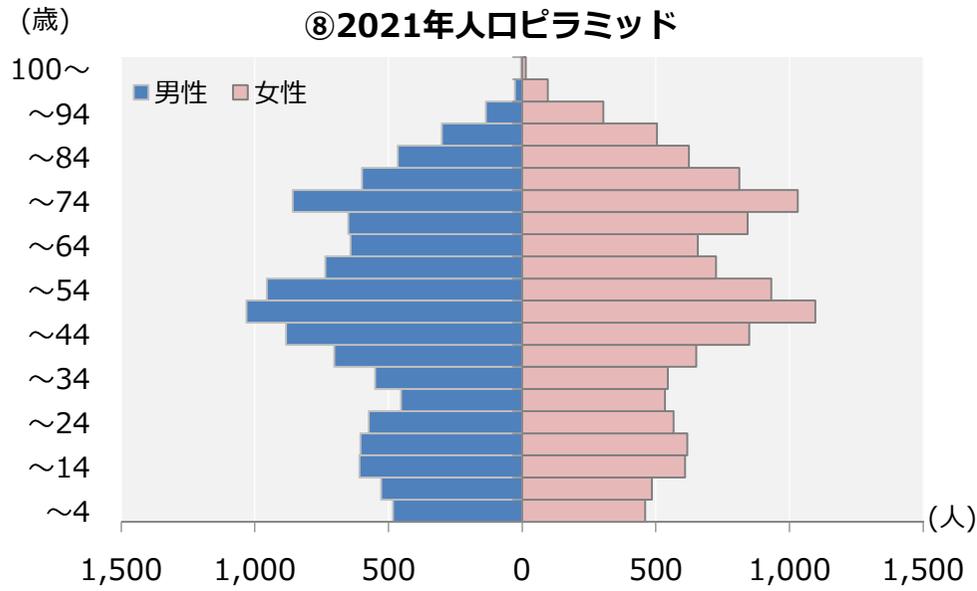
⑥2011年人口ピラミッド



⑦2016年人口ピラミッド



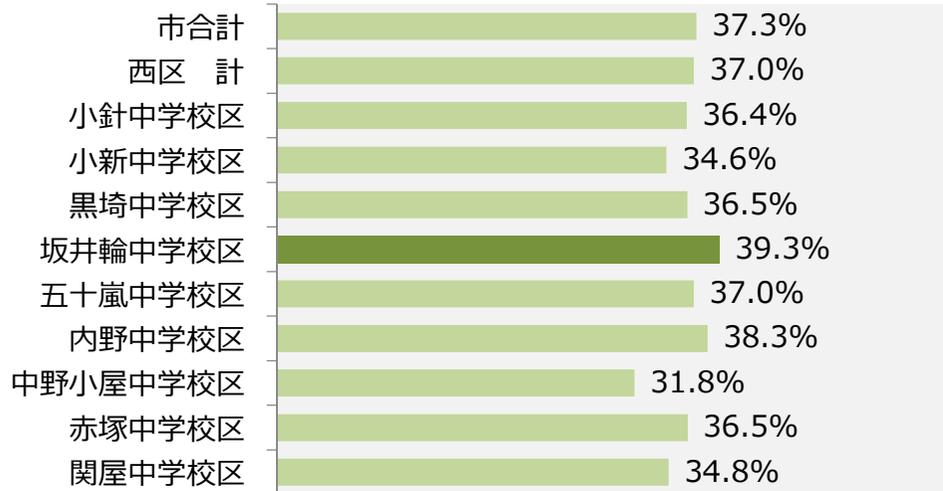
坂井輪中学校区



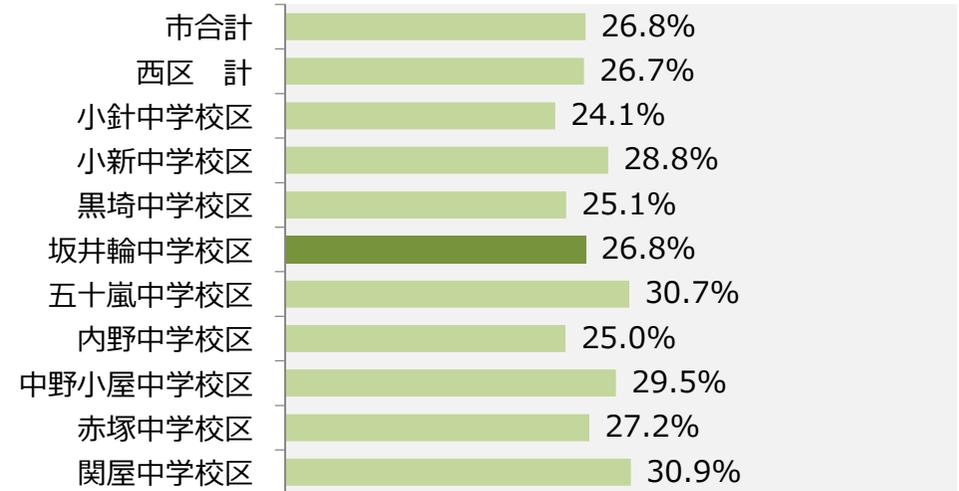
Ⅲ.健康データ（平成27年度新潟市国民健康保険・新潟県後期高齢者医療保険・協会けんぽ健診データ）

※「西区計」には、集計の都合上、関屋中学校区データは含まない。（「中央区計」に含む）

①健診受診率

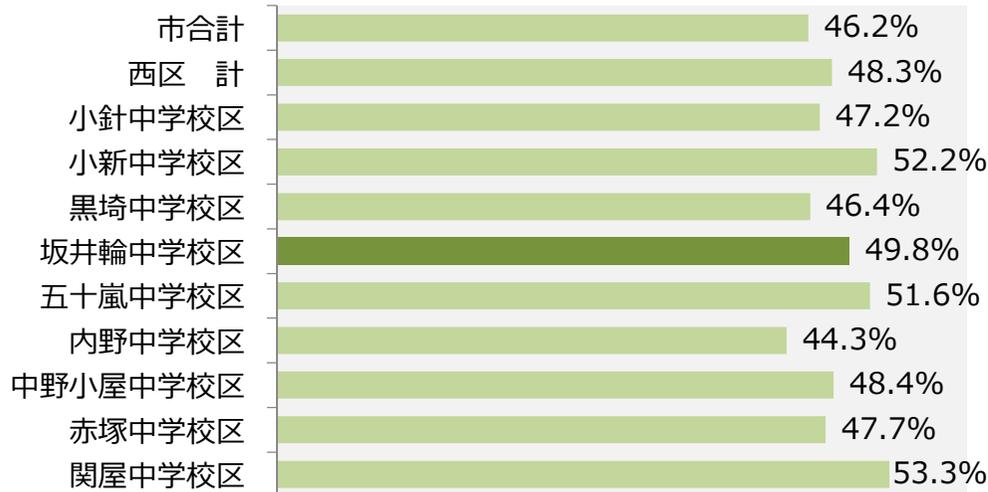


②高齢化率

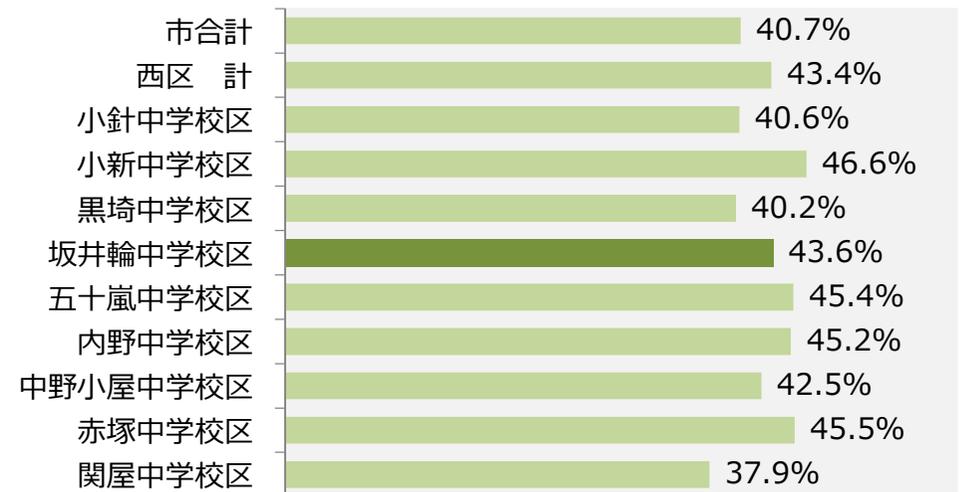


※平成27年9月末時点の住民基本台帳人口を基に算出

③血糖



④血圧（収縮期130mmHg以上）



※国民健康保険・後期高齢者医療保険：HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)5.6%以上

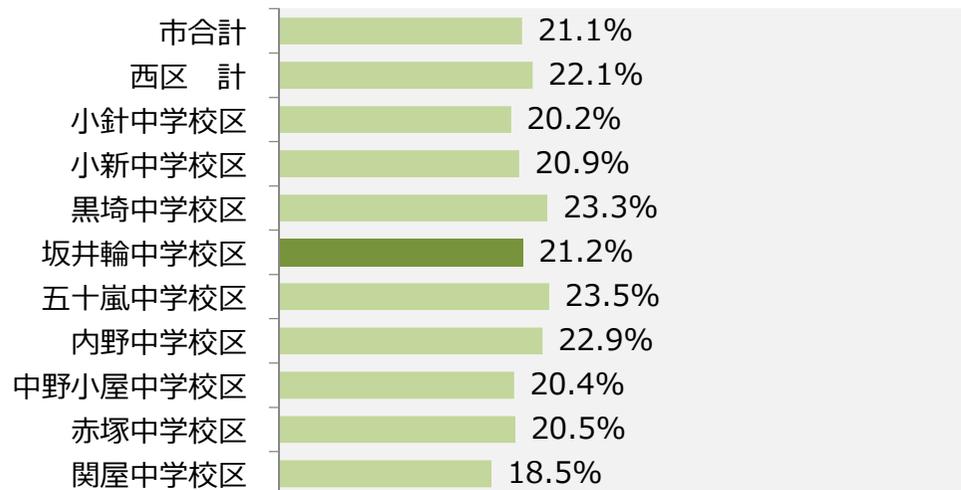
協会けんぽ：空腹時血糖100mg/dl以上

■HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）

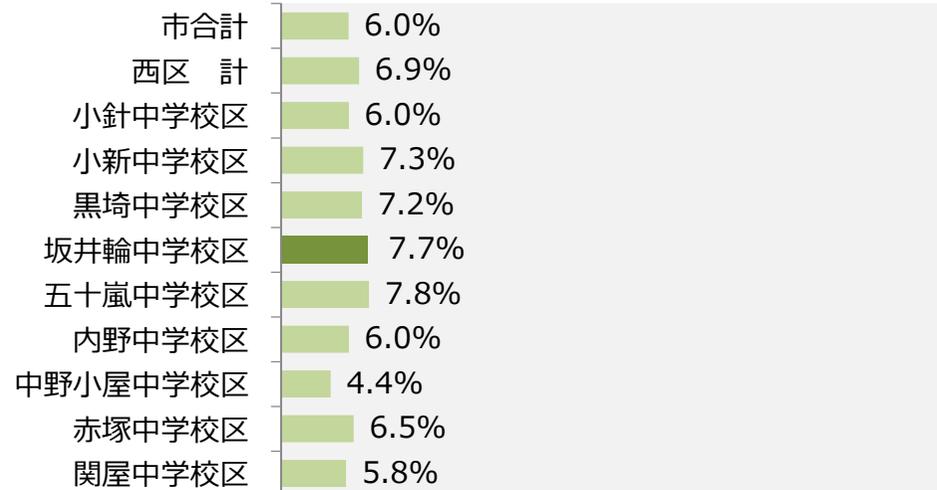
過去1~2か月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われている。

坂井輪中学校区

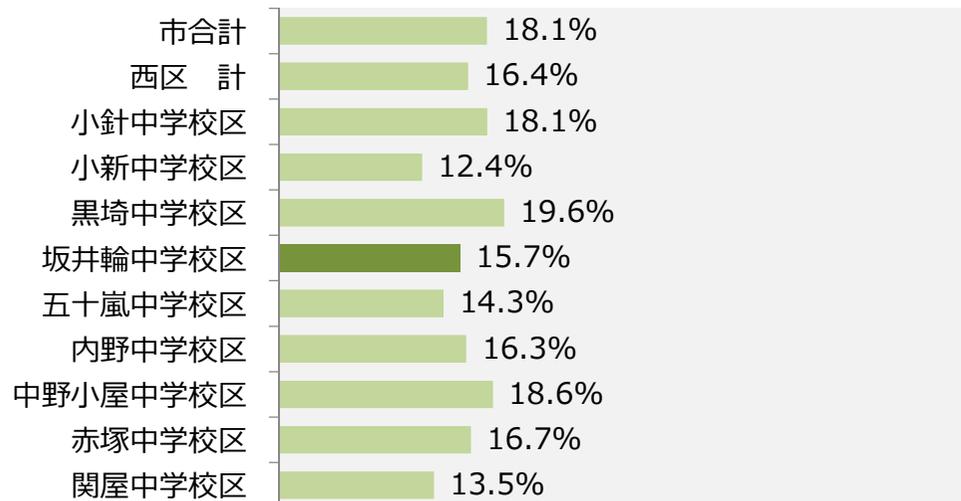
⑤脂質（中性脂肪150mg/dl以上）



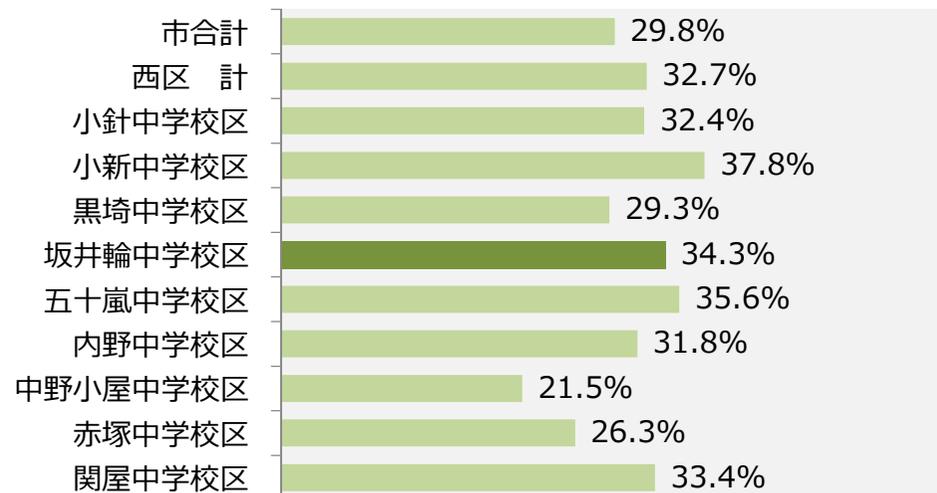
⑥3項目(血糖・血圧・脂質)重複該当



⑦喫煙



⑧運動習慣

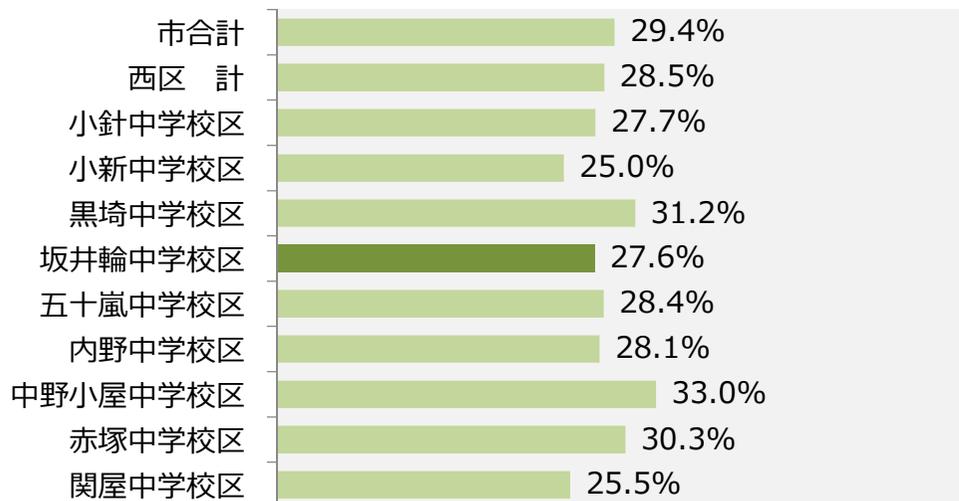


※現在、たばこを習慣的に吸っていると回答した人の割合

※1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していると回答した人の割合

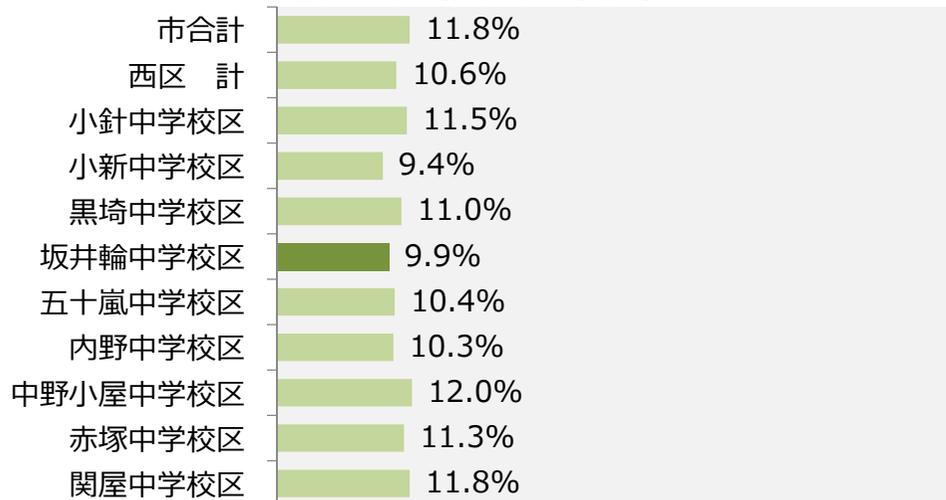
坂井輪中学校区

⑨ 飲酒頻度（毎日）



※お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度は【毎日】と回答した人の割合

⑩ 食習慣（夕食後の間食）



※夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上あると回答した人の割合

⑪ 患者予備群、治療放置群等（国保・後期高齢）

	健診 対象者数 (国保+ 後期) 人数	未把握		未通院 患者予備群 治療放置群	
		人数	構成割合	人数	構成割合
小針中学校区	7,033	2,243	31.9%	269	3.8%
小新中学校区	5,430	1,582	29.1%	212	3.9%
黒崎中学校区	8,471	2,586	30.5%	220	2.6%
坂井輪中学校区	7,894	2,490	31.5%	404	5.1%
五十嵐中学校区	9,144	2,828	30.9%	445	4.9%
内野中学校区	8,153	2,504	30.7%	300	3.7%
中野小屋中学校区	1,239	409	33.0%	44	3.6%
赤塚中学校区	2,096	703	33.5%	49	2.3%
関屋中学校区	8,190	2,623	32.0%	311	3.8%
西区計	49,460	15,345	31.0%	1,943	3.9%

※平成27年度の国保+後期高齢の健診対象者（40歳以上）の状況

未把握・・・健診未受診及び生活習慣病の受診がない

未通院・・・健診において下記項目のいずれかに該当し、医療機関で

診察又は治療の必要があるが、同年中に生活習慣病の受診がない

- ・血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上
- ・血圧：140又は90mmHg以上 ・中性脂肪：300mg/dl以上
- ・LDLコレステロール：140mg/dl以上 ・HDLコレステロール：35mg/dl未満

■ LDLコレステロール

全身の組織へコレステロールを運ぶ働きをしているが、多すぎると動脈硬化をすすめるため、悪玉コレステロールとも言われる。

■ HDLコレステロール

善玉コレステロールともいわれ、血管壁に沈着したコレステロールを取り除き肝臓に戻す働きがあり、少ないと動脈硬化をすすめるが、多すぎても問題があるといわれている。

坂井輪中学校区

IV.施設データ

1.施設一覧

施設分類	施設名	施設基本情報				避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3
		複合施設 ※2	建築年		使用面積 (㎡)		コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)			
コミュニティ施設	坂井輪地区公民館	A	S54		2,715.58		740.0	円/人/回	(928.0)	43.7	%	(26.3)	1
社会教育施設	坂井輪図書館	A	S54		919.20		220.0	円/冊	(508.0)	6.8	倍	(1.9)	1
学校教育系施設	新通小学校		S44	～ H22	8,579.93	○	44.0	万円/人/年	(81.3)	8.4	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	坂井東小学校	B	S53	～ H4	6,399.88	○	55.1	万円/人/年	(81.3)	15.9	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	坂井輪中学校		S40	～ H16	8,809.19	○	57.8	万円/人/年	(88.5)	13.2	㎡/人	(28.5)	1
子育て支援施設	坂井保育園		S51	～ S51	718.78		86.0	万円/人/年	(106.4)	6.5	㎡/園児数	(8.6)	1
子育て支援施設	新通第1ひまわりクラブ		H18		196.67		10.8	万円/人/年	(13.9)	2.7	㎡/児童数	(2.7)	1
子育て支援施設	新通第2ひまわりクラブ		H20		183.84		12.8	万円/人/年	(13.9)	2.5	㎡/児童数	(2.7)	1
子育て支援施設	坂井東ひまわりクラブ	B	S53	～ H4	120.96	○	10.6	万円/人/年	(13.9)	1.5	㎡/児童数	(2.7)	1
子育て支援施設	坂井輪児童館		S40	～ S48	182.11		1,208.0	円/人/回	(863.5)	20.6	人/100㎡/日	(14.6)	3
高齢者福祉施設	老人憩の家西川荘		S56		228.55		455.0	円/人/回	(806.6)	19.4	人/100㎡/日	(12.7)	1
保健施設	坂井輪健康センター	C	H9		1,173.24		204.0	円/人/回	(3,762.6)	55.7	%	(24.7)	1
公営住宅	大野藤山住宅		S55		3,501.95		-			-		-	-
庁舎系施設	西区役所	C	H9	～ H25	5,061.43	○	10,233.0	円/人	(18,689.4)	20.6	㎡/人	(36.8)	1

※1 平成28年度財産白書（平成27年度決算ベース）から引用

※2 アルファベットが同じものは複合施設

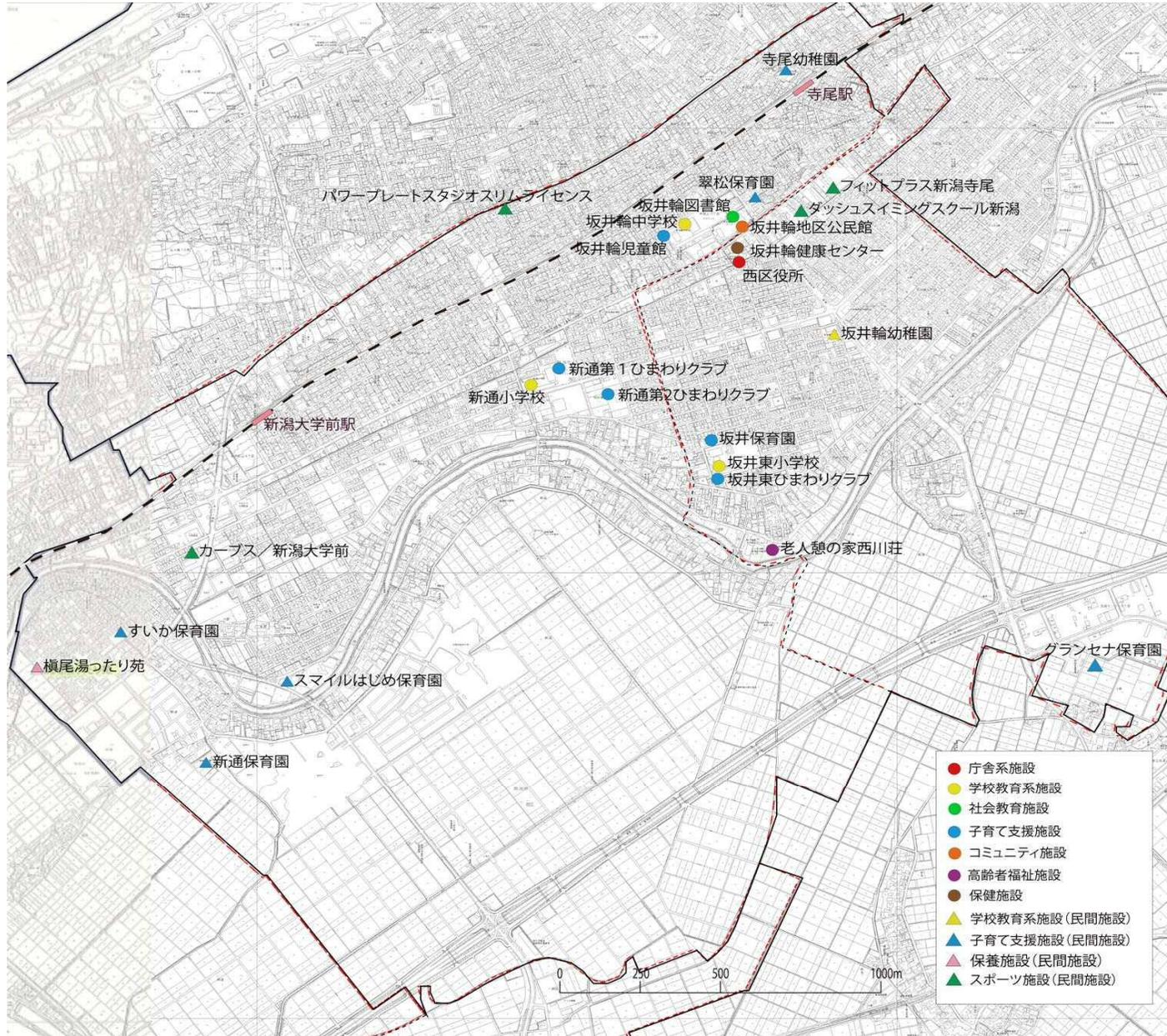
※3 分析領域の番号は下記項目のとおり

- 1.コスト状況、利用状況ともに相対的に良好な施設
- 3.相対的にコストが高いものの、利用が多い施設

- 2.相対的にコストは安いものの、利用が少ない施設
- 4.相対的に高コストかつ、利用が少ない施設

坂井輪中学校区

2.施設位置図



※校区の線は概図であり、細部については実際の通学区と異なる場合があります。

※公営住宅は位置図には未掲載。

坂井輪中学校区

五十嵐中学校区 地域カルテ

西区

H30年8月更新

I.地域の基礎データ

1.中学校区の概要

五十嵐中学校区は、西区の北部に位置し、西大通り、旧国道402号（通称：産業道路）、国道402号が横断し、沿線沿いに住宅地が形成されています。新潟交通のバスが2路線運行しているほか、住民バスの坂井輪コミュニティバスが、区役所、スポーツセンターなどの公共施設、病院、商業施設、鉄道駅などの施設を結んで運行しており、良好な交通アクセスが確保されています。

五十嵐地区は、海岸線、砂丘の松林などの自然環境に恵まれており、昭和40年代以降、新潟地震の影響と高度経済成長に伴い、住宅地が形成されました。新潟工業短期大学や新潟医療技術専門学校といった教育機関のほか、西総合スポーツセンターが立地しています。海岸飛砂、塩害防止のため、五十嵐小学校区コミュニティ協議会がボランティア等と海岸保安林の保全整備を実施しています。

真砂地区は、昭和30年代に、海側に面している畑や砂丘地が住宅地に造成されました。西新潟中央病院、信愛病院、明倫短期大学等、多くの医療、教育機関があるほか、青山海岸海水浴場があり、夏には多くの海水浴客で賑わい、毎年数万人の観客が集まる日本海夕日コンサートが開催されています。海岸飛砂防止対策として、真砂小学校区コミュニティ協議会が中心となり海浜植物の植栽活動を実施しています。

コミュニティ協議会※

五十嵐小学校区コミュニティ協議会

真砂小学校区コミュニティ協議会

小学校

五十嵐小学校

真砂小学校

※中学校区の区域とコミュニティ協議会の区域は必ずしも一致しない。

位置図



五十嵐中学校区

Ⅱ.人口データ

1.人口・世帯数(住民基本台帳)

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	(人)	(世帯)	(人)
							うち75歳以上	世帯数	1世帯当たり 世帯人員
2011年	25,741	12,325	13,416	2,823	15,987	6,931	3,548	11,228	2.29
		47.9%	52.1%	11.0%	62.1%	26.9%	13.8%		
2016年	25,537	12,215	13,322	2,793	14,755	7,989	4,167	11,574	2.21
		47.8%	52.2%	10.9%	57.8%	31.3%	16.3%		
増減	-204	-110	-94	-30	-1,232	1,058	619	346	-0.09
	-0.8%	-0.9%	-0.7%	-1.1%	-7.7%	15.3%	17.4%		

2.人口推計

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上
2021年	24,984	11,936	13,048	2,776	13,903	8,305	4,519
		47.8%	52.2%	11.1%	55.6%	33.2%	18.1%
2026年	24,169	11,537	12,632	2,617	13,308	8,244	5,063
		47.7%	52.3%	10.8%	55.1%	34.1%	20.9%
2031年	23,169	11,070	12,099	2,401	12,694	8,074	5,015
		47.8%	52.2%	10.4%	54.8%	34.8%	21.6%
2036年	22,037	10,529	11,508	2,255	11,819	7,963	4,785
		47.8%	52.2%	10.2%	53.6%	36.1%	21.7%
2016-2036 増減	-3,500	-1,686	-1,814	-538	-2,936	-26	618
	-13.7%	-13.8%	-13.6%	-19.2%	-19.9%	-0.3%	14.8%

○人口は、2016年の25,537人から減少を続け、2036年には22,037人で13.7%減少する。

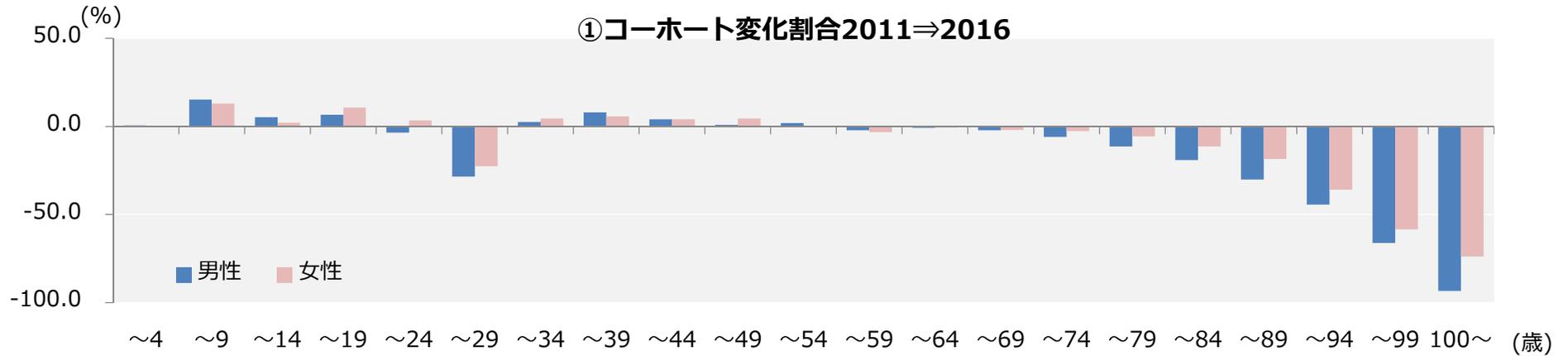
○老年人口は、2021年をピークに減少に転じ、2036年は7,963人で0.3%の減少にとどまるものの、老年人口割合は2016年の31.3%から拡大を続け2036年には36.1%となる。

○年少人口は、減少を続け、2036年には2,255人となり19.2%減少する。年少人口割合も10.2%に縮小する。

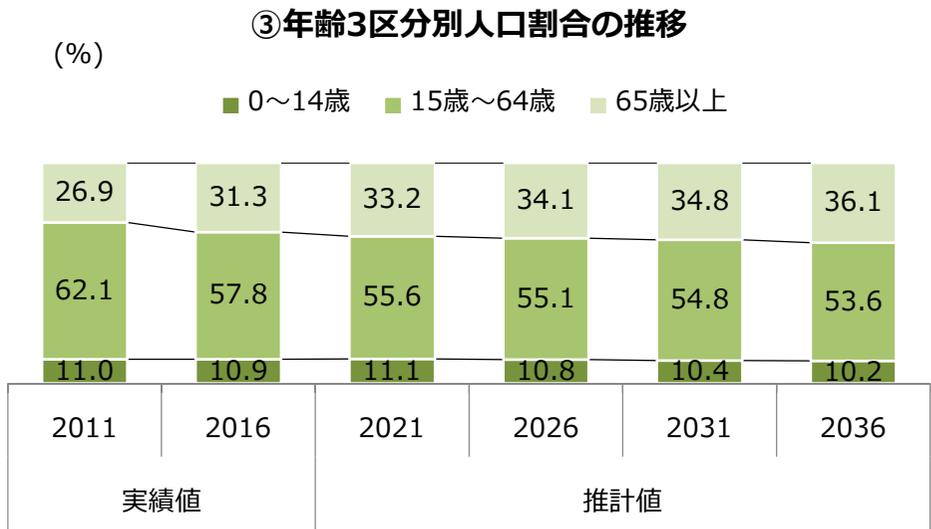
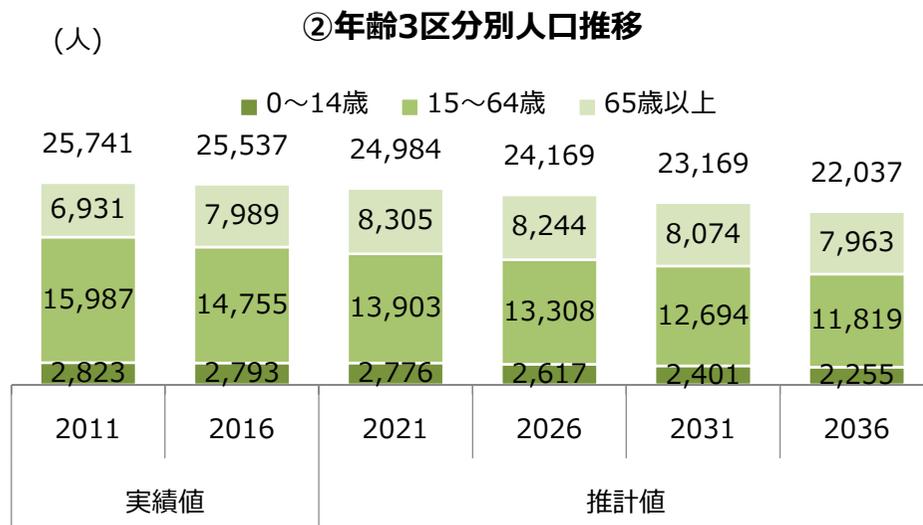
○生産年齢人口は、2016年の14,755人から減少を続け、2036年には11,819人と19.9%減少、生産年齢人口割合も縮小していく。

五十嵐中学校区

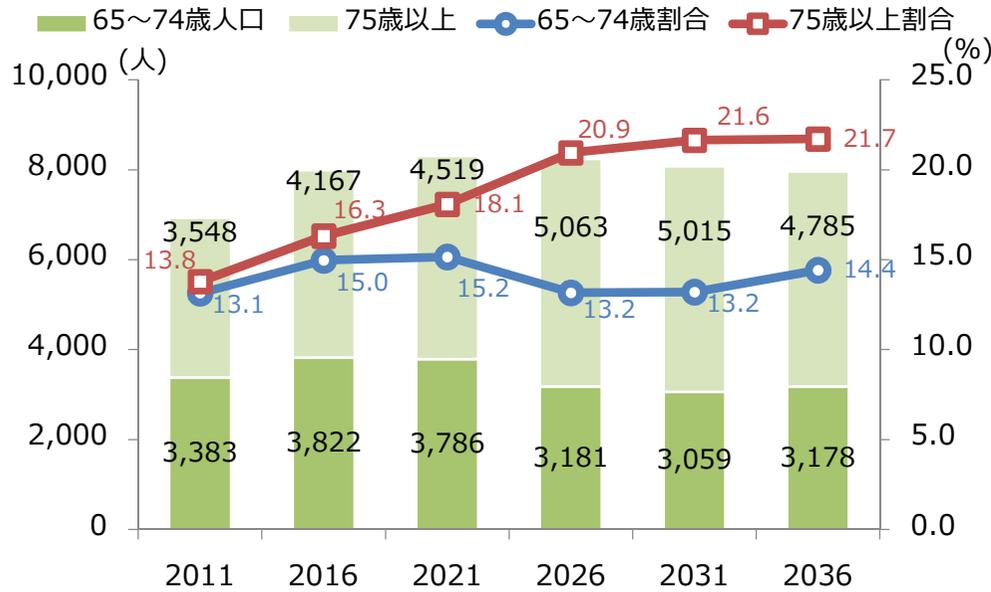
3.人口推計グラフ



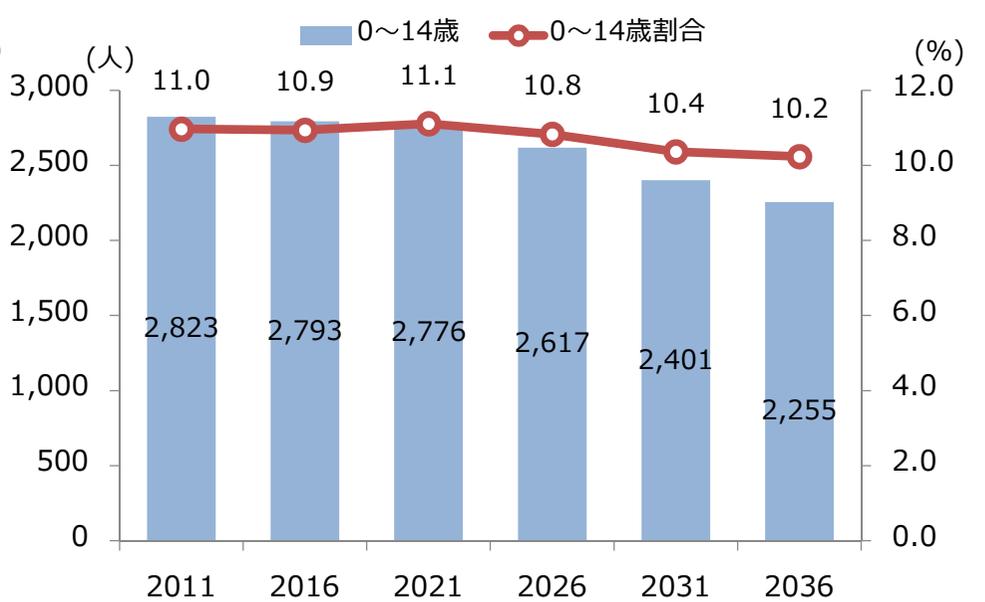
- 25～29歳において男女ともに変化割合は2割以上のマイナスとなっている。
- 30～34歳、35～39歳において男女ともにプラスとなっており、5～9歳人口のプラスの要因の1つと考えられる。



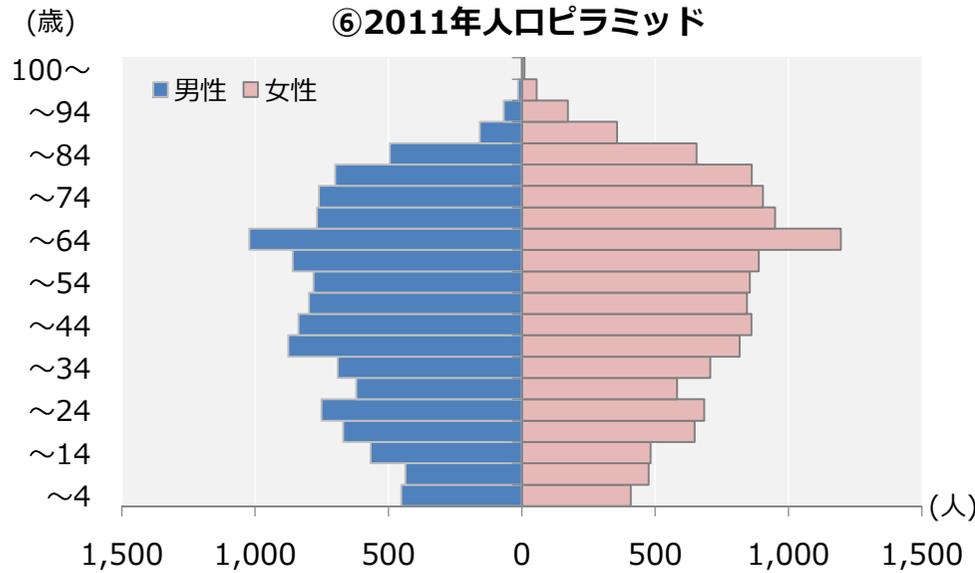
④ 高齢者人口の推移



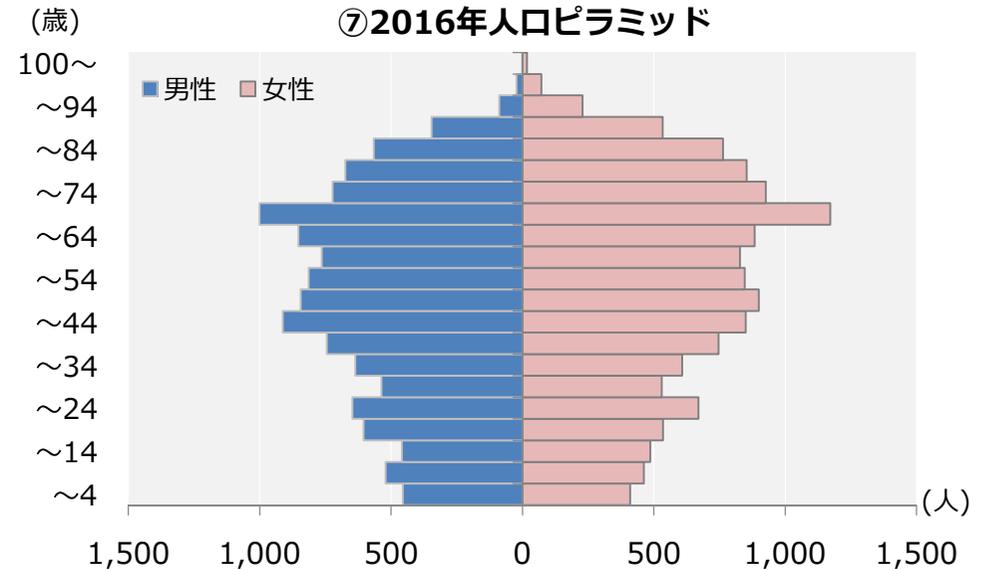
⑤ 年少人口の推移



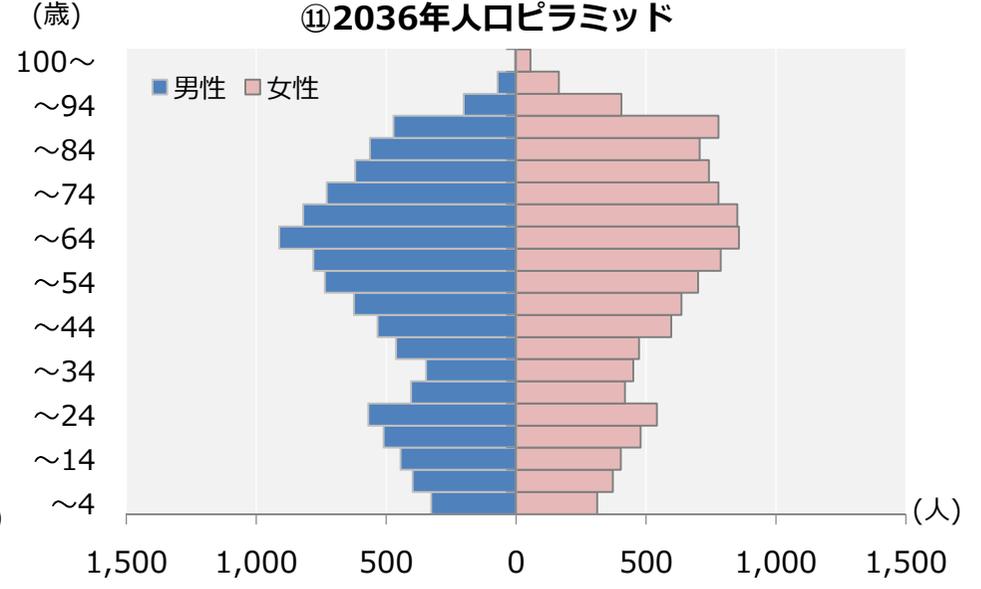
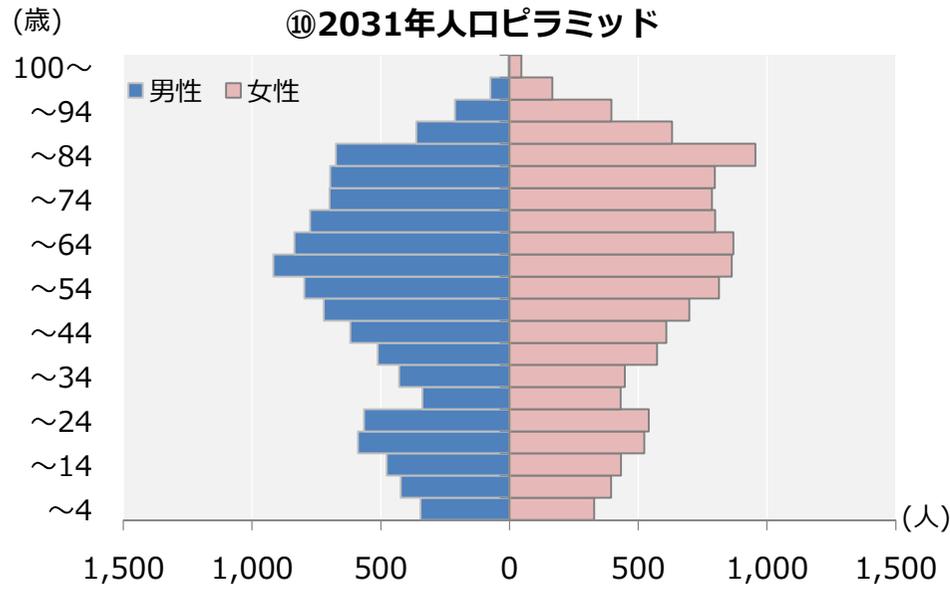
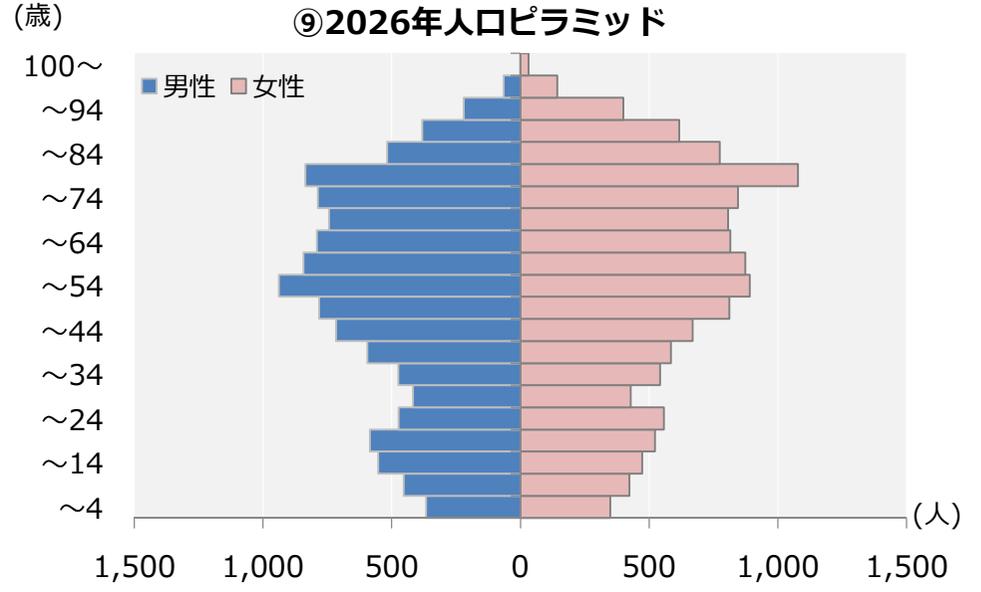
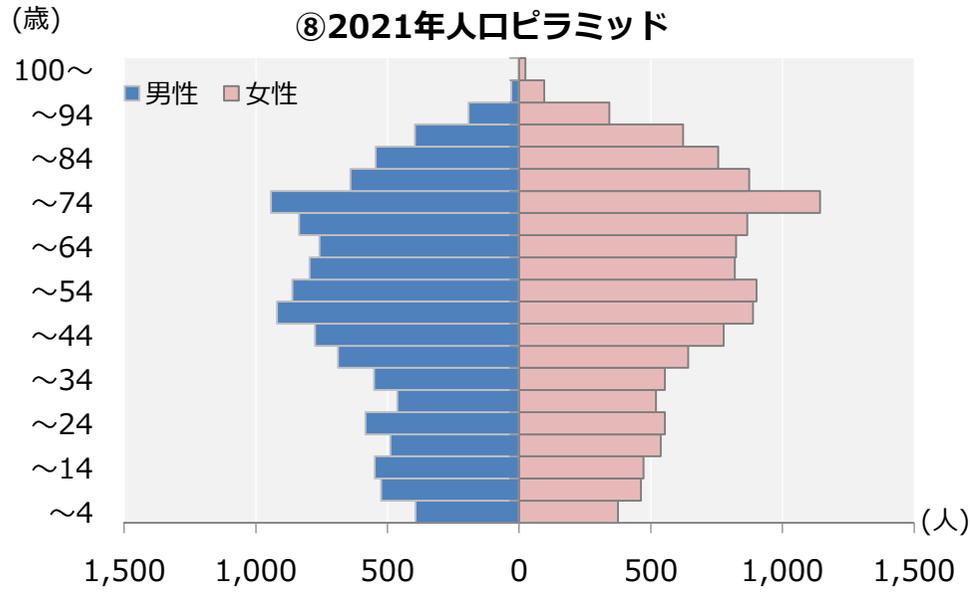
⑥ 2011年人口ピラミッド



⑦ 2016年人口ピラミッド



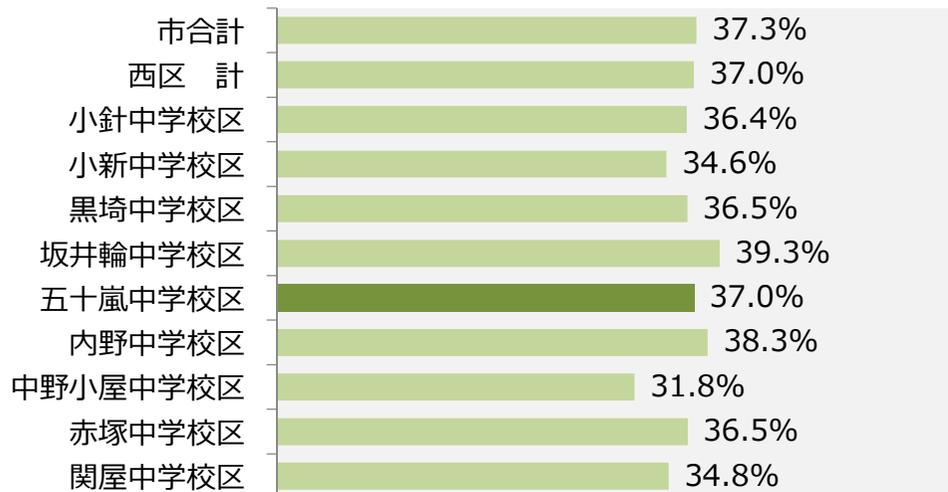
五十嵐中学校区



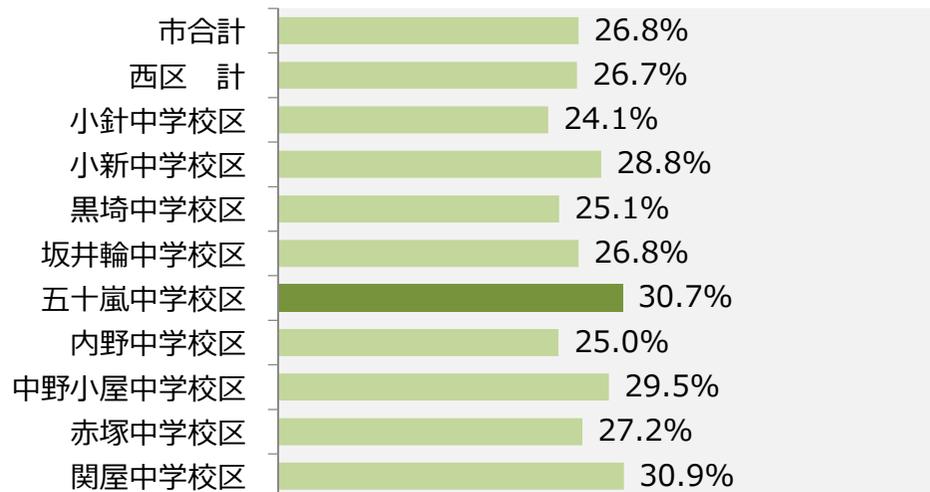
Ⅲ.健康データ（平成27年度新潟市国民健康保険・新潟県後期高齢者医療保険・協会けんぽ健診データ）

※「西区計」には、集計の都合上、関屋中学校区データは含まない。（「中央区計」に含む）

①健診受診率

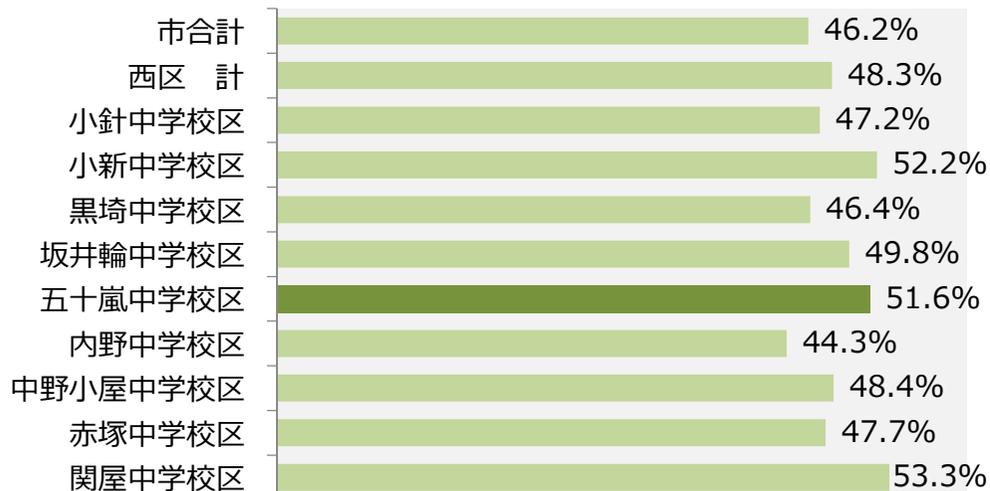


②高齢化率

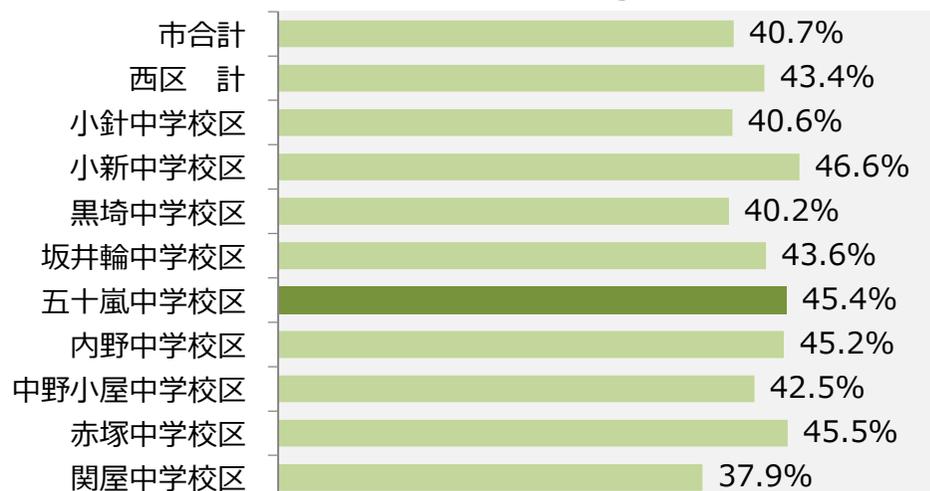


※平成27年9月末時点の住民基本台帳人口を基に算出

③血糖



④血圧（収縮期130mmHg以上）



※国民健康保険・後期高齢者医療保険：HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)5.6%以上

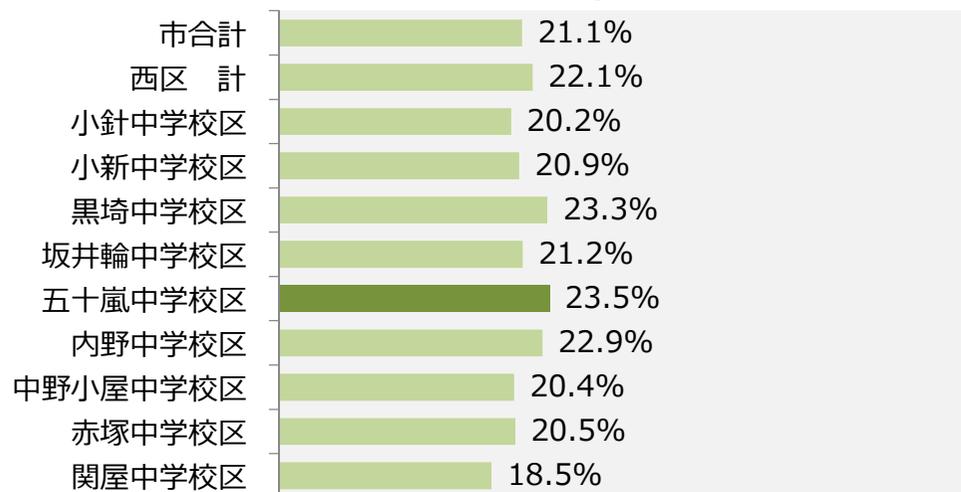
協会けんぽ：空腹時血糖100mg/dl以上

■HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）

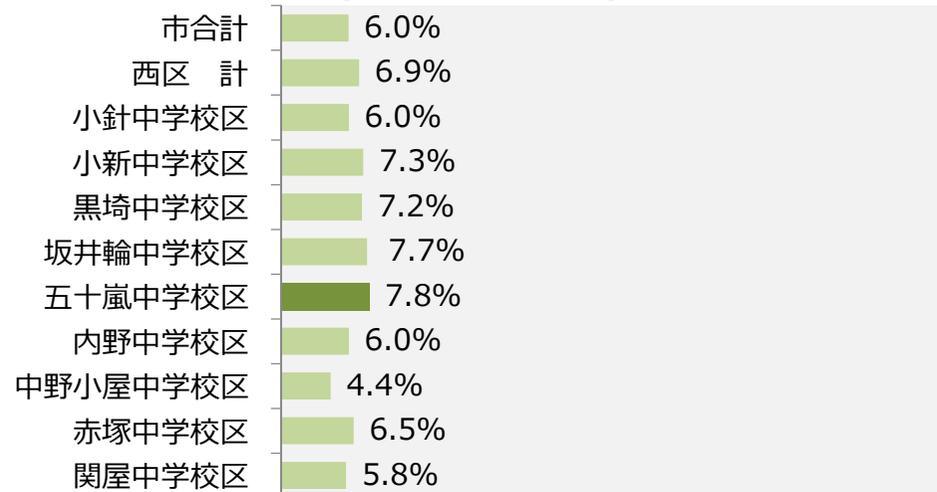
過去1~2か月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われている。

五十嵐中学校区

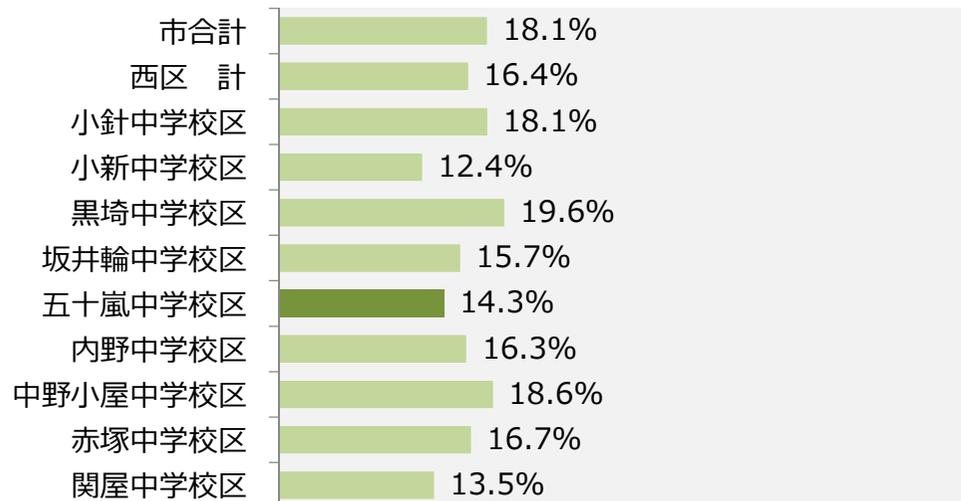
⑤脂質（中性脂肪150mg/dl以上）



⑥3項目(血糖・血圧・脂質)重複該当

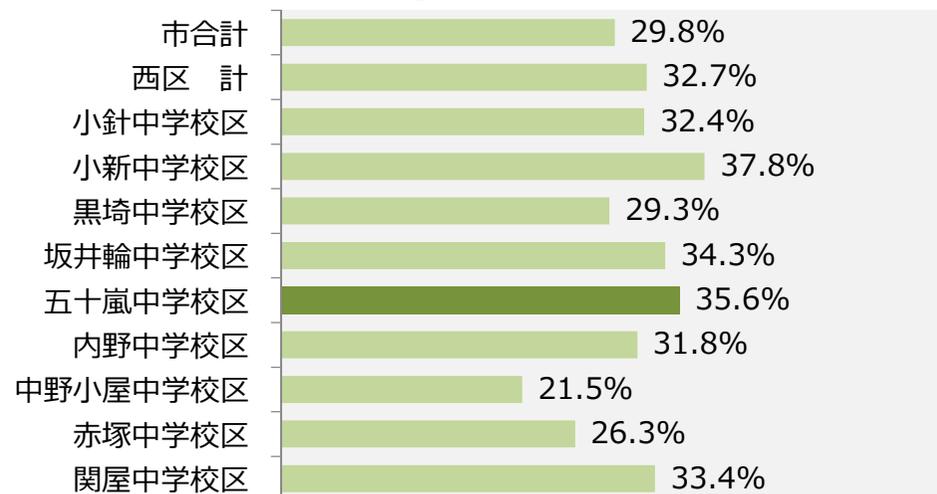


⑦喫煙



※現在、たばこを習慣的に吸っていると回答した人の割合

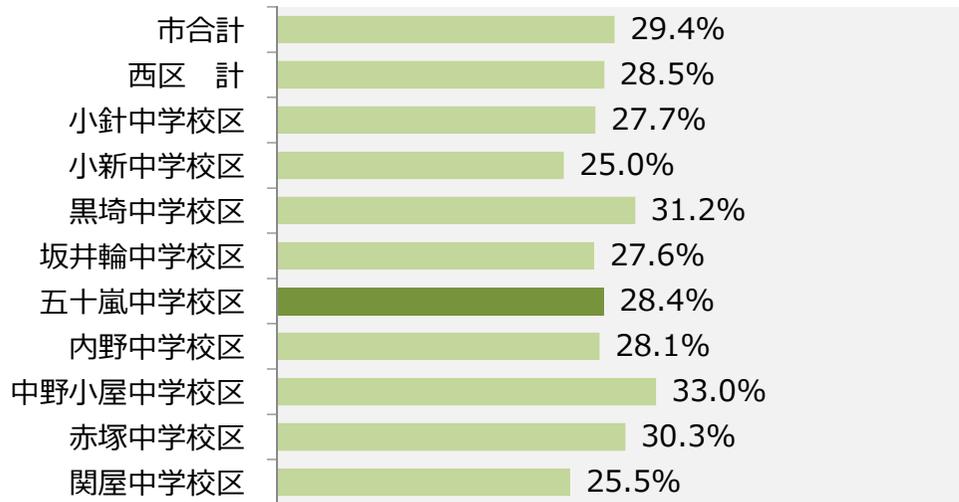
⑧運動習慣



※1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していると回答した人の割合

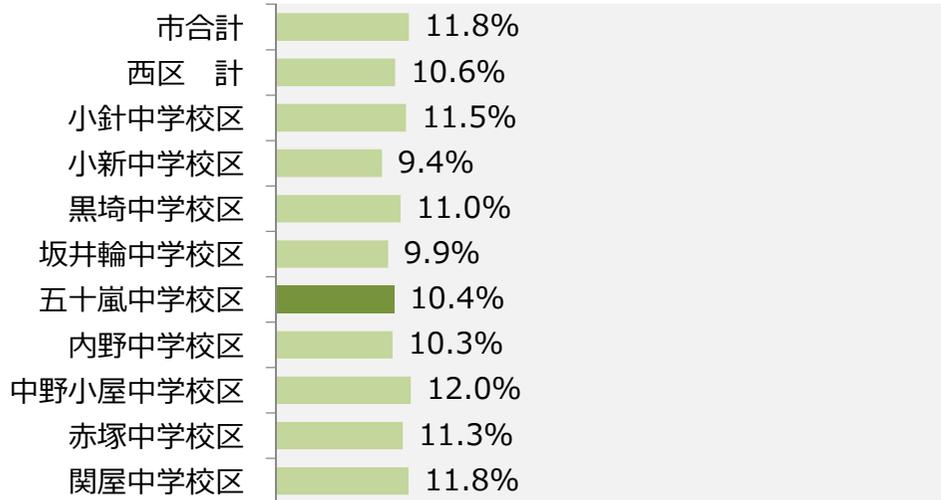
五十嵐中学校区

⑨ 飲酒頻度（毎日）



※お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度は
[毎日] と回答した人の割合

⑩ 食習慣（夕食後の間食）



※夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが
週に3回以上あると回答した人の割合

⑪ 患者予備群、治療放置群等（国保・後期高齢）

	健診 対象者数 (国保+ 後期) 人数	未把握		未通院 患者予備群 治療放置群	
		人数	構成割合	人数	構成割合
小針中学校区	7,033	2,243	31.9%	269	3.8%
小新中学校区	5,430	1,582	29.1%	212	3.9%
黒崎中学校区	8,471	2,586	30.5%	220	2.6%
坂井輪中学校区	7,894	2,490	31.5%	404	5.1%
五十嵐中学校区	9,144	2,828	30.9%	445	4.9%
内野中学校区	8,153	2,504	30.7%	300	3.7%
中野小屋中学校区	1,239	409	33.0%	44	3.6%
赤塚中学校区	2,096	703	33.5%	49	2.3%
関屋中学校区	8,190	2,623	32.0%	311	3.8%
西区 計	49,460	15,345	31.0%	1,943	3.9%

※平成27年度の国保+後期高齢の健診対象者（40歳以上）の状況

未把握・・・健診未受診及び生活習慣病の受診がない

未通院・・・健診において下記項目のいずれかに該当し、医療機関で

診察又は治療の必要があるが、同年中に生活習慣病の受診がない

・血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上

・血圧：140又は90mmHg以上 ・中性脂肪：300mg/dl以上

・LDLコレステロール：140mg/dl以上 ・HDLコレステロール：35mg/dl未満

■ LDLコレステロール

全身の組織へコレステロールを運ぶ働きをしているが、多すぎると動脈硬化をすすめるため、悪玉コレステロールともいわれる。

■ HDLコレステロール

善玉コレステロールともいわれ、血管壁に沈着したコレステロールを取り除き肝臓に戻す働きがあり、少ないと動脈硬化をすすめるが、多すぎても問題があるといわれている。

五十嵐中学校区

IV.施設データ

1.施設一覧

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3		
		複合施設 ※2	建築年			使用面積 (㎡)	コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)				
コミュニティ施設	五十嵐コミュニティハウス		H14	～	H24	505.90	○	349.0	円/人/回	(928.0)	53.7	%	(26.3)	1
社会教育施設	真砂地区図書室	A	S54			16.56		612.0	円/冊	(508.0)	1.1	倍	(1.9)	4
スポーツ施設	西総合スポーツセンター		S62	～	H12	9,558.69		327.0	円/人/回	(794.9)	10.5	人/100㎡/日	(6.0)	1
学校教育系施設	真砂小学校		S47	～	H13	6,599.02	○	64.5	万円/人/年	(81.3)	16.8	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	五十嵐小学校		S48	～	H3	7,395.36	○	41.3	万円/人/年	(81.3)	9.8	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	五十嵐中学校		S52	～	H4	8,577.87	○	63.4	万円/人/年	(88.5)	16.3	㎡/人	(28.5)	1
子育て支援施設	真砂ひまわりクラブ	A	S54			115.06		11.7	万円/人/年	(13.9)	1.4	㎡/児童数	(2.7)	1
子育て支援施設	五十嵐ひまわりクラブ		S56	～	H12	143.73		11.6	万円/人/年	(13.9)	1.6	㎡/児童数	(2.7)	1
高齢者福祉施設	老人憩の家寺尾荘		S61			198.74		474.0	円/人/回	(806.6)	23.8	人/100㎡/日	(12.7)	1
公営住宅	寺尾第3住宅		S37			359.04		-			-			-

※1 平成28年度財産白書（平成27年度決算ベース）から引用

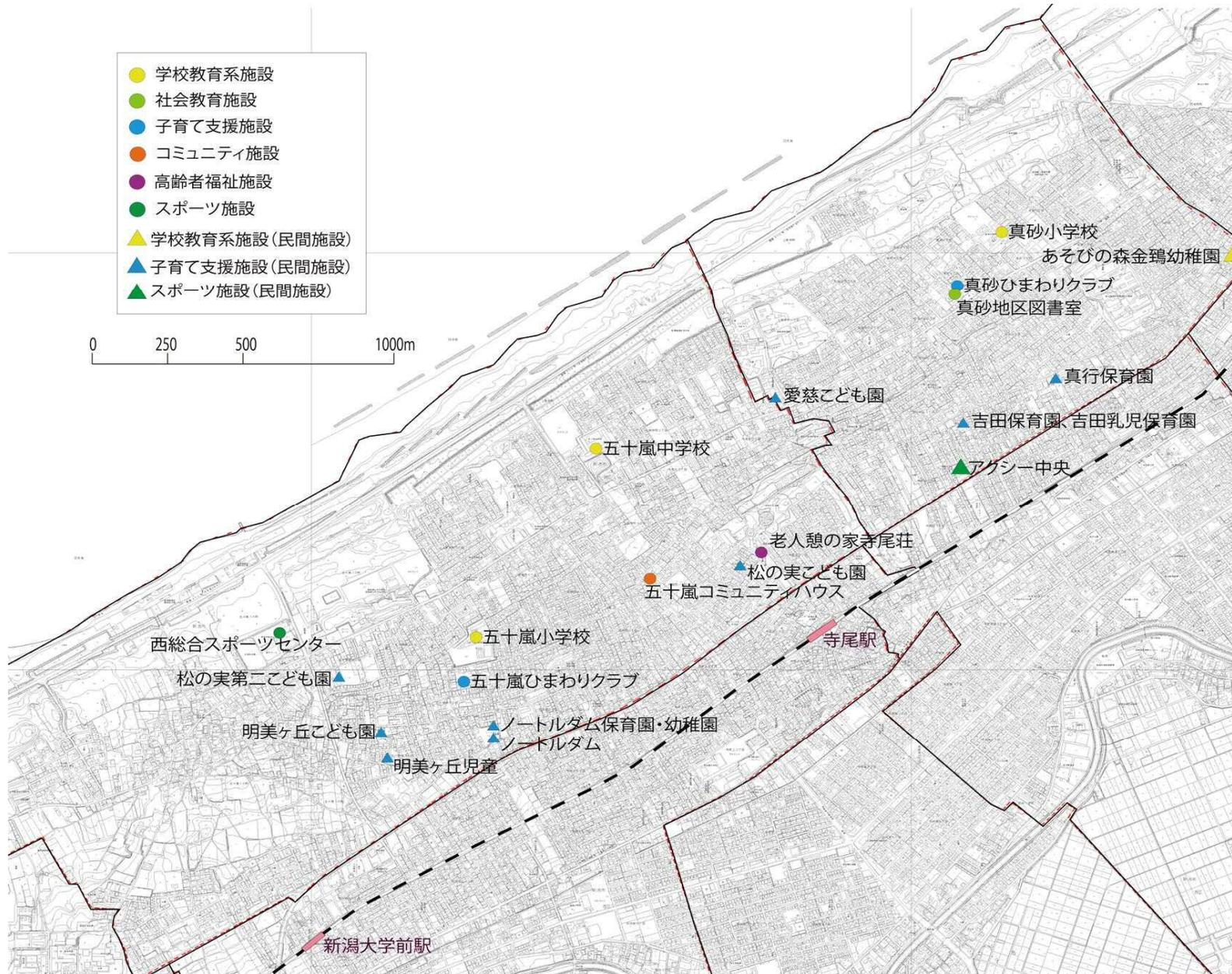
※2 アルファベットが同じものは複合施設

※3 分析領域の番号は下記項目のとおり

- 1.コスト状況、利用状況ともに相対的に良好な施設
- 3.相対的にコストが高いものの、利用が多い施設

- 2.相対的にコストは安いものの、利用が少ない施設
- 4.相対的に高コストかつ、利用が少ない施設

2.施設位置図



※校区の線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

※公営住宅は位置図には未掲載。

五十嵐中学校区

内野中学校区 地域カルテ

西区

H30年8月更新

I.地域の基礎データ

1.中学校区の概要

内野中学校区は、日本海、新川、西川、広通川と豊かな水辺環境に恵まれ、北部には田園地帯や海岸林が広がっています。区域内には、JR内野駅・内野西が丘駅があるほか、県道新潟寺泊線が横断しており、新潟交通バス路線の多くが運行しています。

内野・五十嵐地区は、内野駅周辺に、西区役所西出張所・西地域保健福祉センター・内野まちづくりセンターの複合施設や西地区公民館があり、駅前通りを中心に飲食店や商店等が建ち並んでいます。内野・五十嵐まちづくり協議会が中心となり「防犯活動」や「クリーン活動」を行っており、秋には、新潟西商工会及び内野まつり実行委員会が内野まつりを開催しています。また、住民有志が、新潟大学と地域が連携した「うちのDEアート」をきっかけに「新川ほたる」を引き継ぎ開催しています。

西内野地区は、江戸時代から続く歴史ある地域、新潟地震後に宅地化されてきた地域、新興住宅地で構成され、住宅地のほか田畑も多くあります。地域活動の拠点となっている西コミュニティセンターが県道新潟寺泊線近傍に立地し、文化活動やイベント等に利用されています。西内野コミュニティ協議会が「吹奏楽団」を結成し地域に根ざした音楽活動が行っているほか、「西内野盆踊り大会」や「もちつき大会」を開催しています。

コミュニティ協議会※

内野・五十嵐まちづくり協議会

西内野コミュニティ協議会

コミュニティ中野小屋

小学校

内野小学校

西内野小学校

笠木小学校

※中学校区の区域とコミュニティ協議会の区域は必ずしも一致しない。

位置図



内野中学校区

Ⅱ.人口データ

1.人口・世帯数(住民基本台帳)

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	(人)	(世帯)	(人)
							うち75歳以上	世帯数	1世帯当たり 世帯人員
2011年	25,889	12,833	13,056	3,112	17,099	5,678	2,810	10,933	2.37
		49.6%	50.4%	12.0%	66.0%	21.9%	10.9%		
2016年	26,593	13,133	13,460	3,435	16,231	6,927	3,187	11,687	2.28
		49.4%	50.6%	12.9%	61.0%	26.0%	12.0%		
増減	704	300	404	323	-868	1,249	377	754	-0.09
	2.7%	2.3%	3.1%	10.4%	-5.1%	22.0%	13.4%		

2.人口推計

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上
2021年	27,162	13,409	13,753	3,757	15,960	7,445	3,587
		49.4%	50.6%	13.8%	58.8%	27.4%	13.2%
2026年	27,533	13,555	13,977	3,726	16,318	7,489	4,444
		49.2%	50.8%	13.5%	59.3%	27.2%	16.1%
2031年	27,935	13,731	14,204	3,621	16,976	7,337	4,636
		49.2%	50.8%	13.0%	60.8%	26.3%	16.6%
2036年	28,113	13,819	14,294	3,661	17,231	7,221	4,413
		49.2%	50.8%	13.0%	61.3%	25.7%	15.7%
2016-2036 増減	1,520	686	834	226	1,000	294	1,226
	5.7%	5.2%	6.2%	6.6%	6.2%	4.2%	38.5%

○人口は、2016年の26,593人から緩やかに増加し2036年には28,113人となり、5.7%の増加が見込まれている。

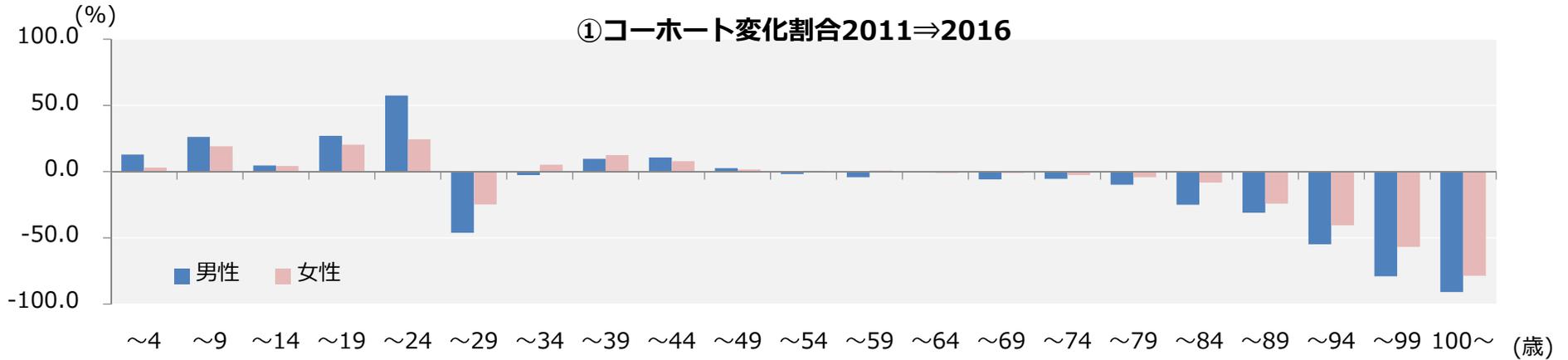
○老年人口は、2026年に7,489人でピークを迎え、老年人口割合も27.2%となるが以降段階的に縮小し、2036年には4.2%増の7,221人、その割合は25.7%と見込まれている。

○年少人口は、2021年に3,757人（年少人口割合13.8%）でピークを迎えその後縮小していくが、6.6%、226人の増加が見込まれている。

○生産年齢人口は、2016年の16,231人から2036年には17,231人と6.2%増加し、その割合も徐々に拡大することが見込まれている。

内野中学校区

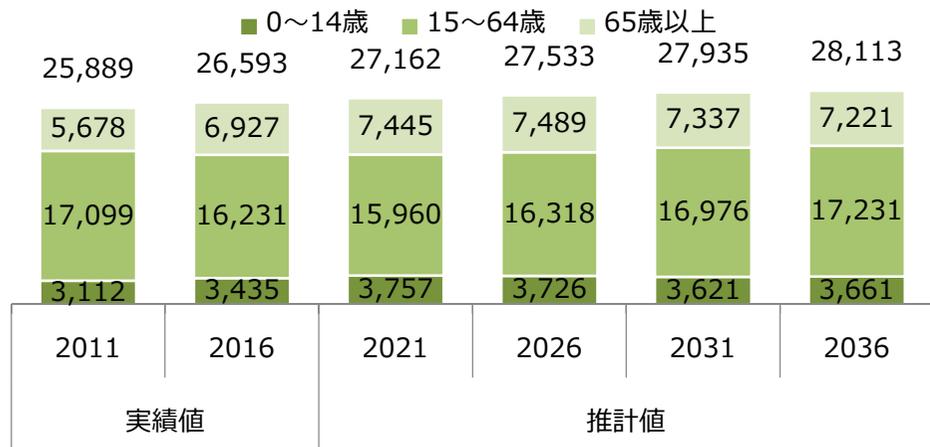
3.人口推計グラフ



- 0~4歳から20~24歳までの各年代において、男女ともにその変化割合はプラスとなっている。
- 特に、新潟大学が存する当該地域では、大学への就学が見込まれる15~19歳、20~24歳の年代において、男女ともに変化割合が2割以上のプラスとなっている。
- また、大学卒業が見込まれる25~29歳の年代においては男女ともに変化割合は2割以上のマイナスとなっている。

(人)

② 年齢3区分別人口推移

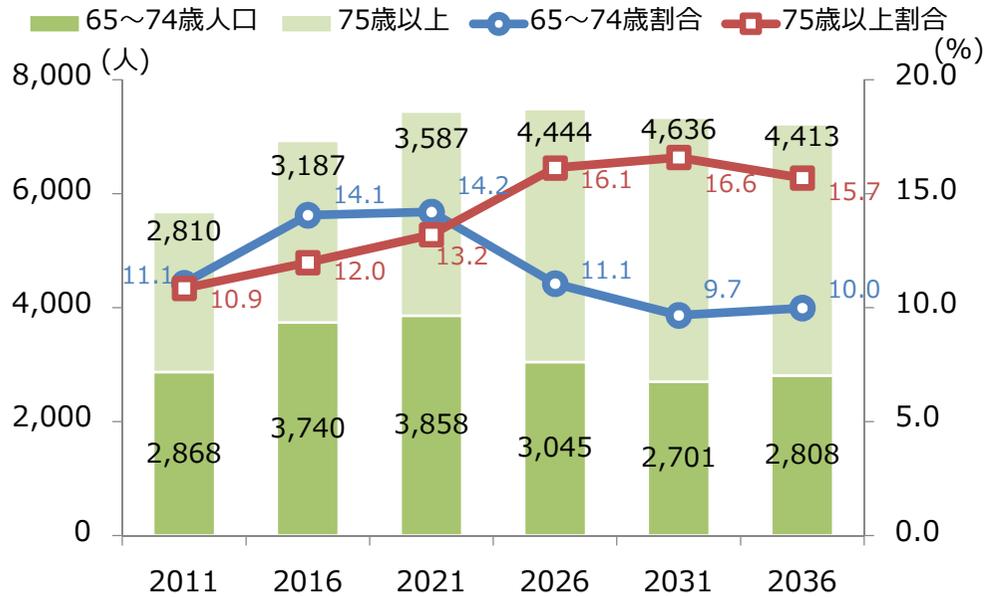


(%)

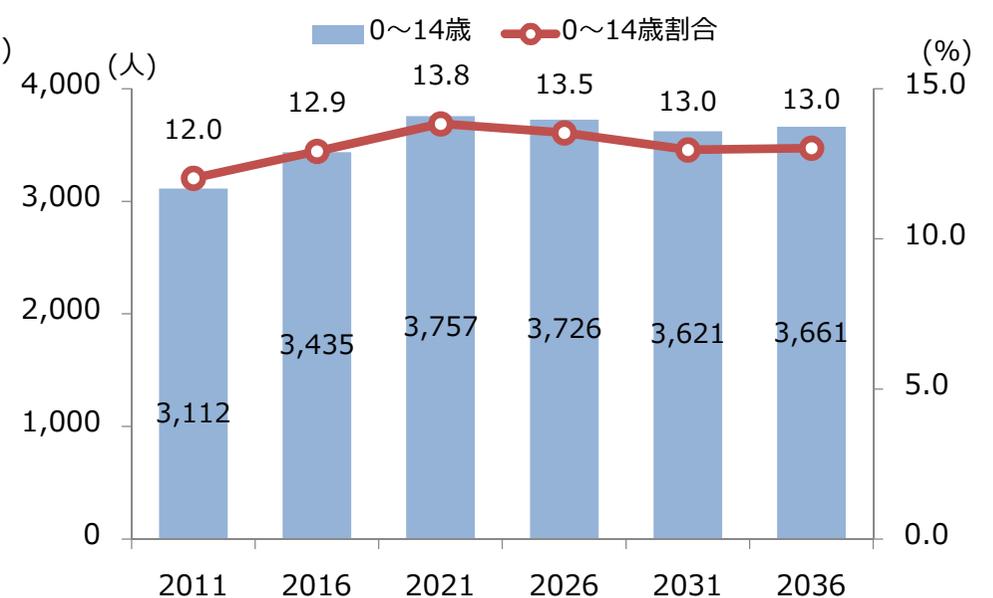
③ 年齢3区分別人口割合の推移



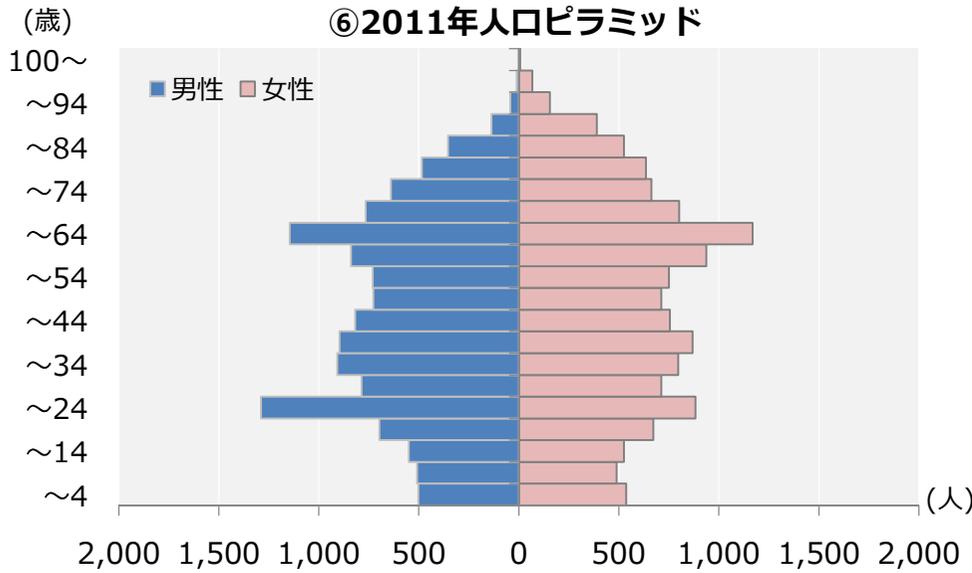
④高齢者人口の推移



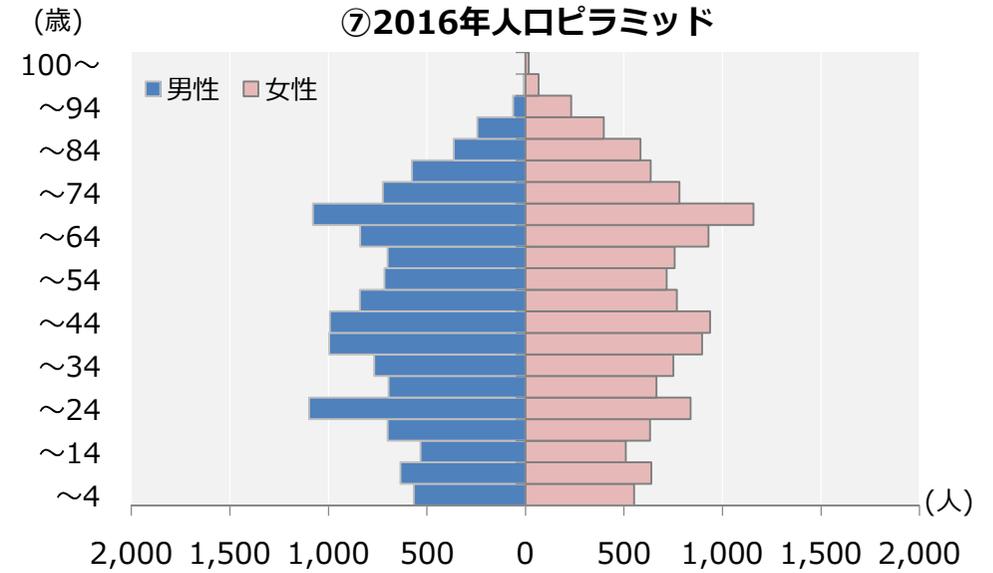
⑤年少人口の推移



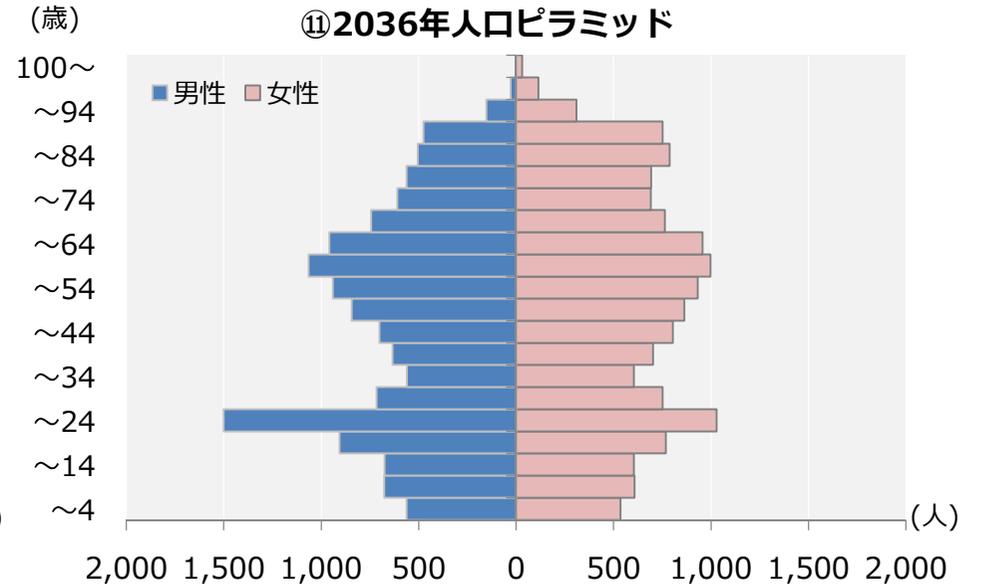
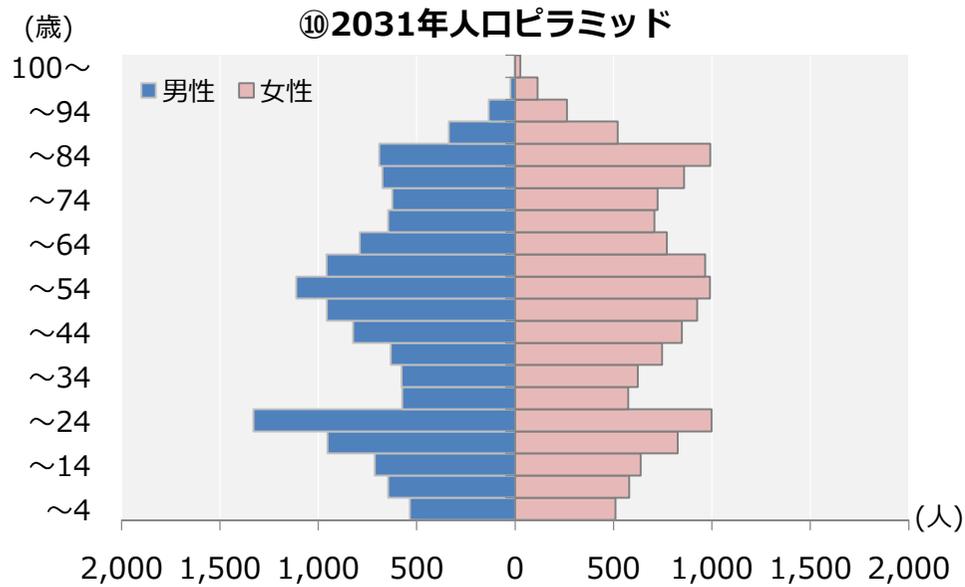
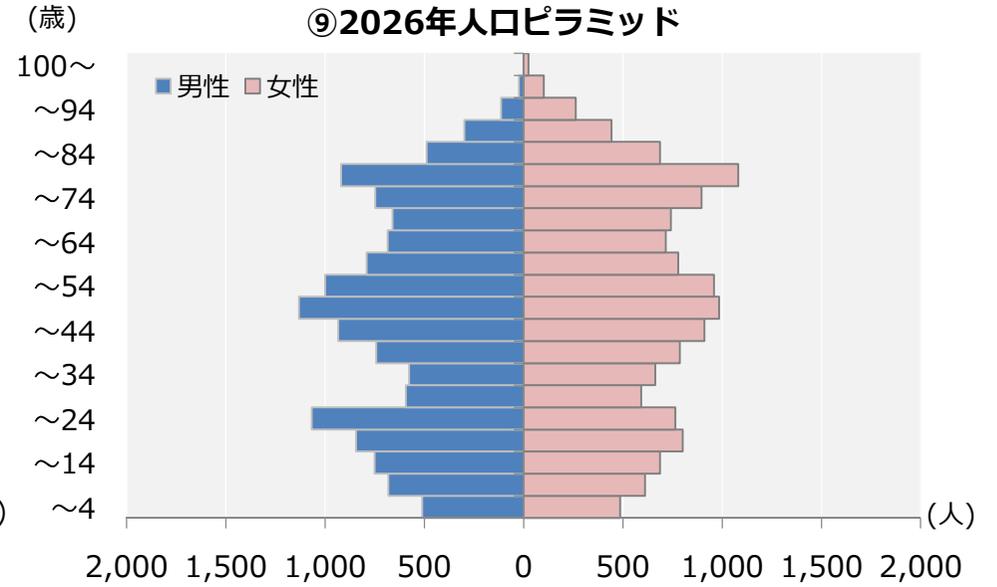
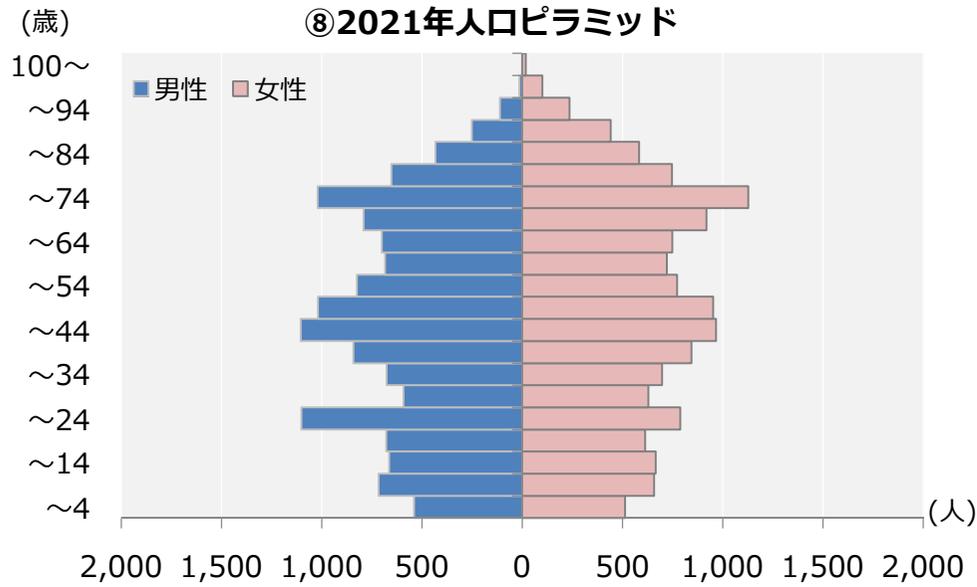
⑥2011年人口ピラミッド



⑦2016年人口ピラミッド



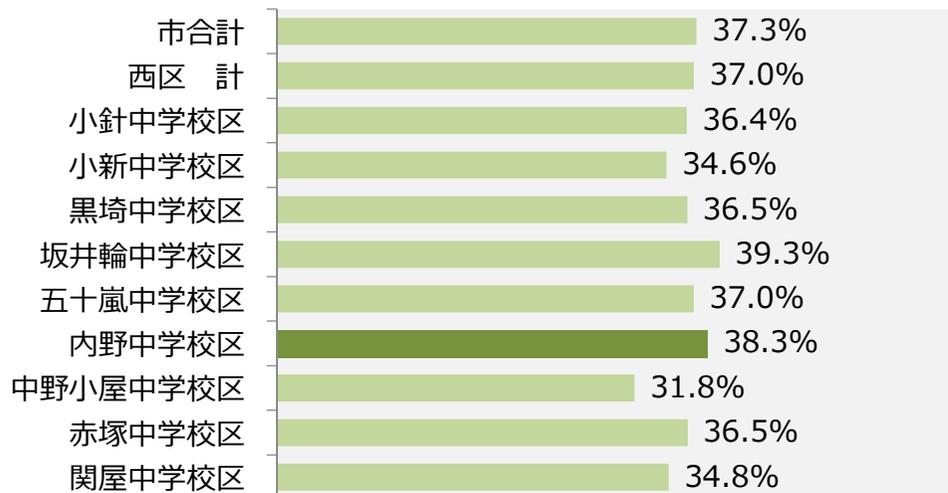
内野中学校区



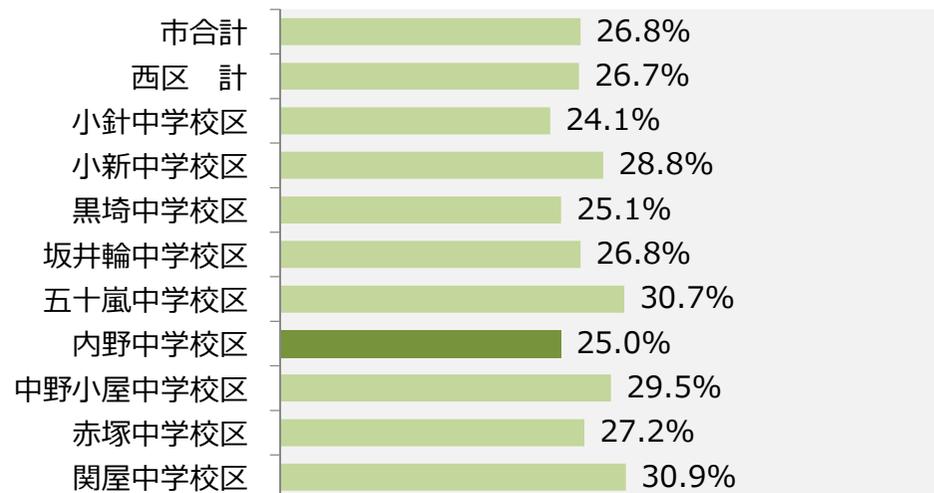
Ⅲ.健康データ（平成27年度新潟市国民健康保険・新潟県後期高齢者医療保険・協会けんぽ健診データ）

※「西区計」には、集計の都合上、関屋中学校区データは含まない。（「中央区計」に含む）

①健診受診率

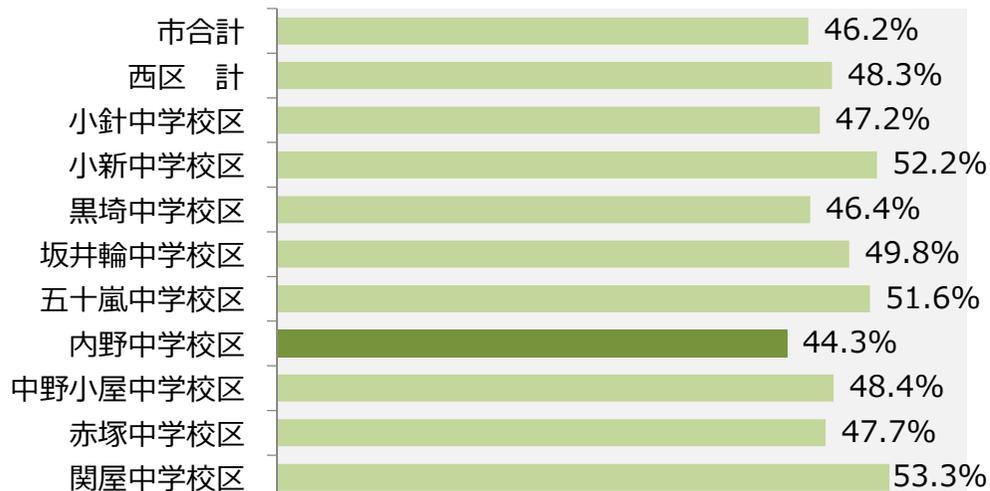


②高齢化率



※平成27年9月末時点の住民基本台帳人口を基に算出

③血糖



④血圧（収縮期130mmHg以上）



※国民健康保険・後期高齢者医療保険：HbA1c(ヘムoglobinエーワンシー)5.6%以上

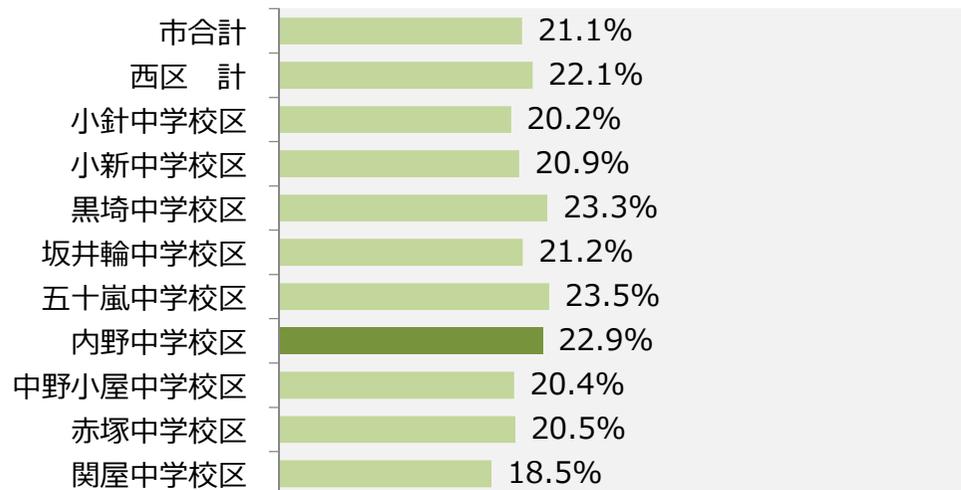
協会けんぽ：空腹時血糖100mg/dl以上

■HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）

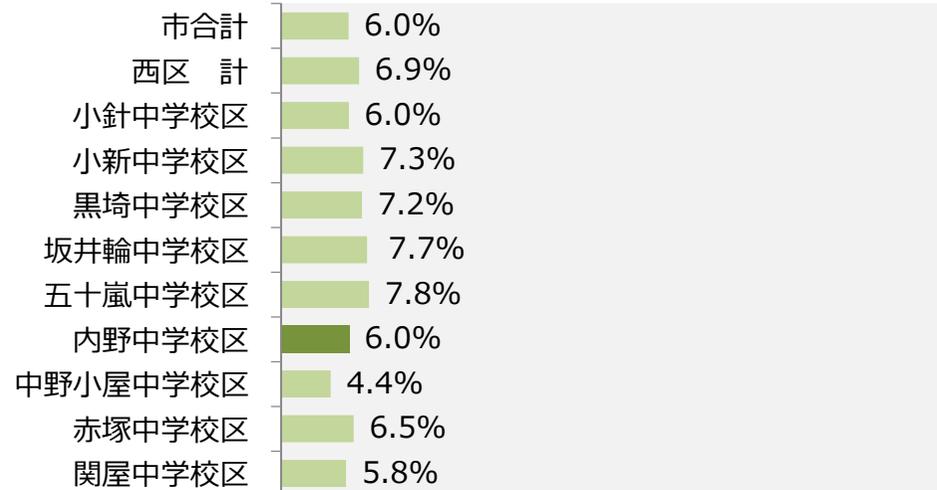
過去1~2か月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われている。

内野中学校区

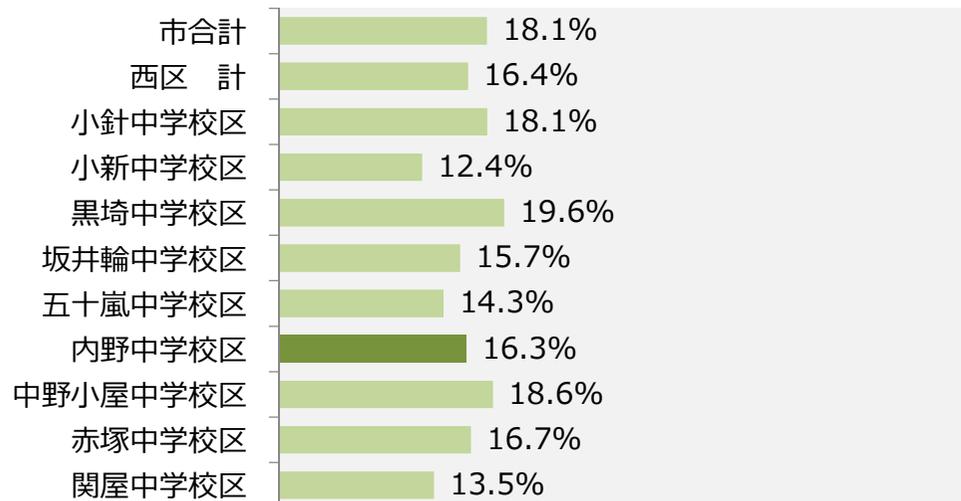
⑤脂質（中性脂肪150mg/dl以上）



⑥3項目(血糖・血圧・脂質)重複該当

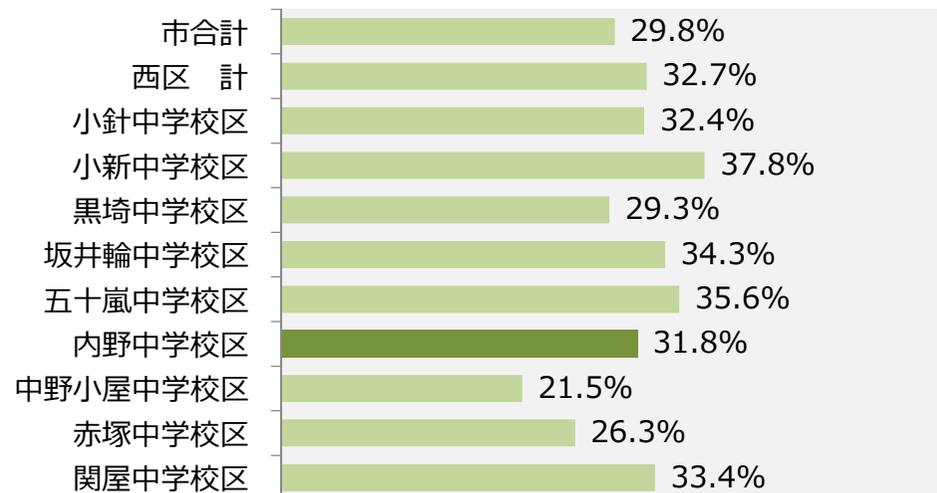


⑦喫煙



※現在、たばこを習慣的に吸っていると回答した人の割合

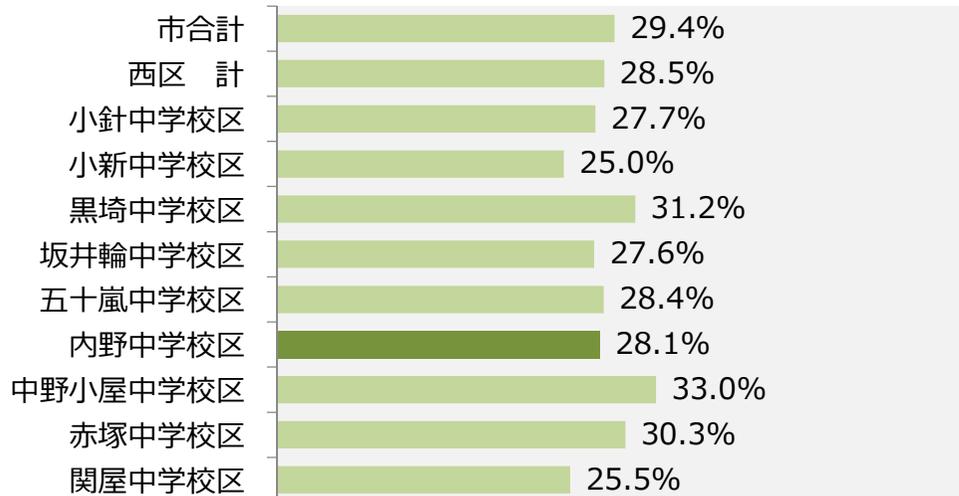
⑧運動習慣



※1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していると回答した人の割合

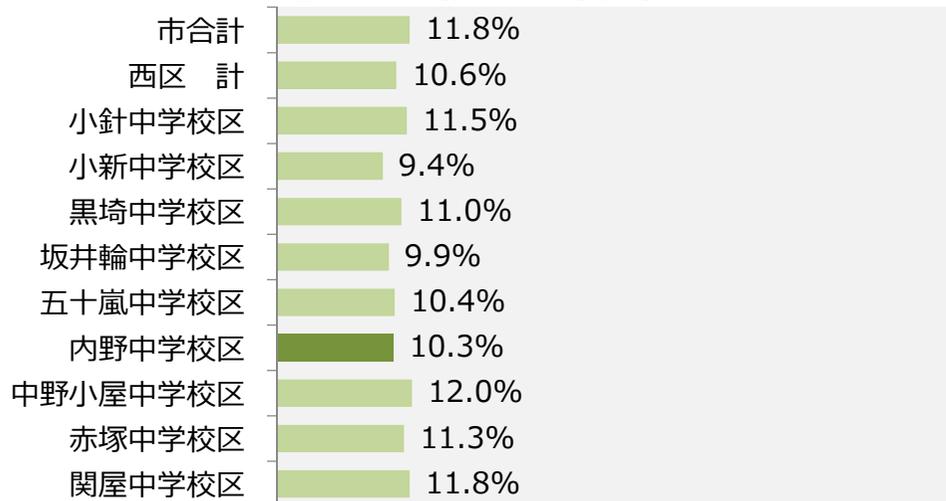
内野中学校区

⑨ 飲酒頻度（毎日）



※お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度は【毎日】と回答した人の割合

⑩ 食習慣（夕食後の間食）



※夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上あると回答した人の割合

⑪ 患者予備群、治療放置群等（国保・後期高齢）

	健診 対象者数 (国保+ 後期) 人数	未把握		未通院 患者予備群 治療放置群	
		人数	構成割合	人数	構成割合
小針中学校区	7,033	2,243	31.9%	269	3.8%
小新中学校区	5,430	1,582	29.1%	212	3.9%
黒崎中学校区	8,471	2,586	30.5%	220	2.6%
坂井輪中学校区	7,894	2,490	31.5%	404	5.1%
五十嵐中学校区	9,144	2,828	30.9%	445	4.9%
内野中学校区	8,153	2,504	30.7%	300	3.7%
中野小屋中学校区	1,239	409	33.0%	44	3.6%
赤塚中学校区	2,096	703	33.5%	49	2.3%
関屋中学校区	8,190	2,623	32.0%	311	3.8%
西区 計	49,460	15,345	31.0%	1,943	3.9%

※平成27年度の国保+後期高齢の健診対象者（40歳以上）の状況

未把握・・・健診未受診及び生活習慣病の受診がない

未通院・・・健診において下記項目のいずれかに該当し、医療機関で

診察又は治療の必要があるが、同年中に生活習慣病の受診がない

- ・血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上
- ・血圧：140又は90mmHg以上 ・中性脂肪：300mg/dl以上
- ・LDLコレステロール：140mg/dl以上 ・HDLコレステロール：35mg/dl未満

■ LDLコレステロール

全身の組織へコレステロールを運ぶ働きをしているが、多すぎると動脈硬化をすすめるため、悪玉コレステロールともいわれる。

■ HDLコレステロール

善玉コレステロールともいわれ、血管壁に沈着したコレステロールを取り除き肝臓に戻す働きがあり、少ないと動脈硬化をすすめるが、多すぎても問題があるといわれている。

内野中学校区

IV.施設データ

1.施設一覧

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3	
		複合施設 ※2	建築年			使用面積 (㎡)	コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)			
コミュニティ施設	西コミュニティセンター	A	H5		1,622.98	○	413.0	円/人/回	(928.0)	51.3	%	(26.3)	1
コミュニティ施設	西地区公民館	B	S55		1,392.21		936.0	円/人/回	(928.0)	50.0	%	(26.3)	3
コミュニティ施設	内野まちづくりセンター						-			-			-
社会教育施設	内野図書館	B	S55		229.00		159.0	円/冊	(508.0)	4.1	倍	(1.9)	1
社会教育施設	西内野地区図書室	A	H5		58.30	○	496.0	円/冊	(508.0)	0.7	倍	(1.9)	2
保養施設	ふれあい健康センター（アクアパークにいがた）		H12		3,999.42		597.0	円/人/回	(287.5)	861.7	人/日	(321.1)	3
学校教育系施設	内野小学校		S43	～ H11	8,640.37	○	53.7	万円/人/年	(81.3)	11.9	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	西内野小学校		S54	～ H26	6,369.93	○	51.8	万円/人/年	(81.3)	10.4	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	内野中学校		S48	～ H15	8,832.68	○	59.0	万円/人/年	(88.5)	14.6	㎡/人	(28.5)	1
学校教育系施設	西幼稚園		S51	～ S54	840.88		116.6	万円/人/年	(74.9)	14.5	㎡/人	(16.4)	3
子育て支援施設	内野保育園		S58	～ H14	454.47		122.5	万円/人/年	(106.4)	6.6	㎡/園児数	(8.6)	3
子育て支援施設	上五十嵐保育園		S32	～ S60	332.91		145.2	万円/人/年	(106.4)	7.7	㎡/園児数	(8.6)	3
子育て支援施設	内野第1ひまわりクラブ		H18		153.36		10.3	万円/人/年	(13.9)	1.8	㎡/児童数	(2.7)	1
子育て支援施設	内野第2ひまわりクラブ				180.92		10.2	万円/人/年	(13.9)	2.1	㎡/児童数	(2.7)	1
子育て支援施設	西内野第1ひまわりクラブ	A	H5		135.80		11.4	万円/人/年	(13.9)	1.8	㎡/児童数	(2.7)	1
子育て支援施設	西内野第2ひまわりクラブ		H26		123.72		10.9	万円/人/年	(13.9)	1.5	㎡/児童数	(2.7)	1
高齢者福祉施設	老人憩の家新川荘		S49	～ S52	244.71		978.0	円/人/回	(806.6)	5.8	人/100㎡/日	(12.7)	4

内野中学校区

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3		
		複合施設 ※2	建築年			使用面積 (㎡)	コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)				
高齢者福祉施設	老人憩の家五十嵐中島荘		S61		164.79		1,386.0	円/人/回	(806.6)	7.5	人/100㎡/日	(12.7)	4	
高齢者福祉施設	老人憩の家槇尾荘		H7		239.73		529.0	円/人/回	(806.6)	17.8	人/100㎡/日	(12.7)	1	
保健施設	西地域保健福祉センター	C	S43	～	H23	866.07		5,434.0	円/人/回	(3,762.6)	23.8	%	(24.7)	4
公営住宅	内野駅前住宅		H5		2,810.65			-			-		-	
庁舎系施設	西出張所	C	S43	～	H23	1,140.23		2,755.0	円/人	(7,358.9)	65.5	㎡/人	(151.9)	1

※1 平成28年度財産白書（平成27年度決算ベース）から引用

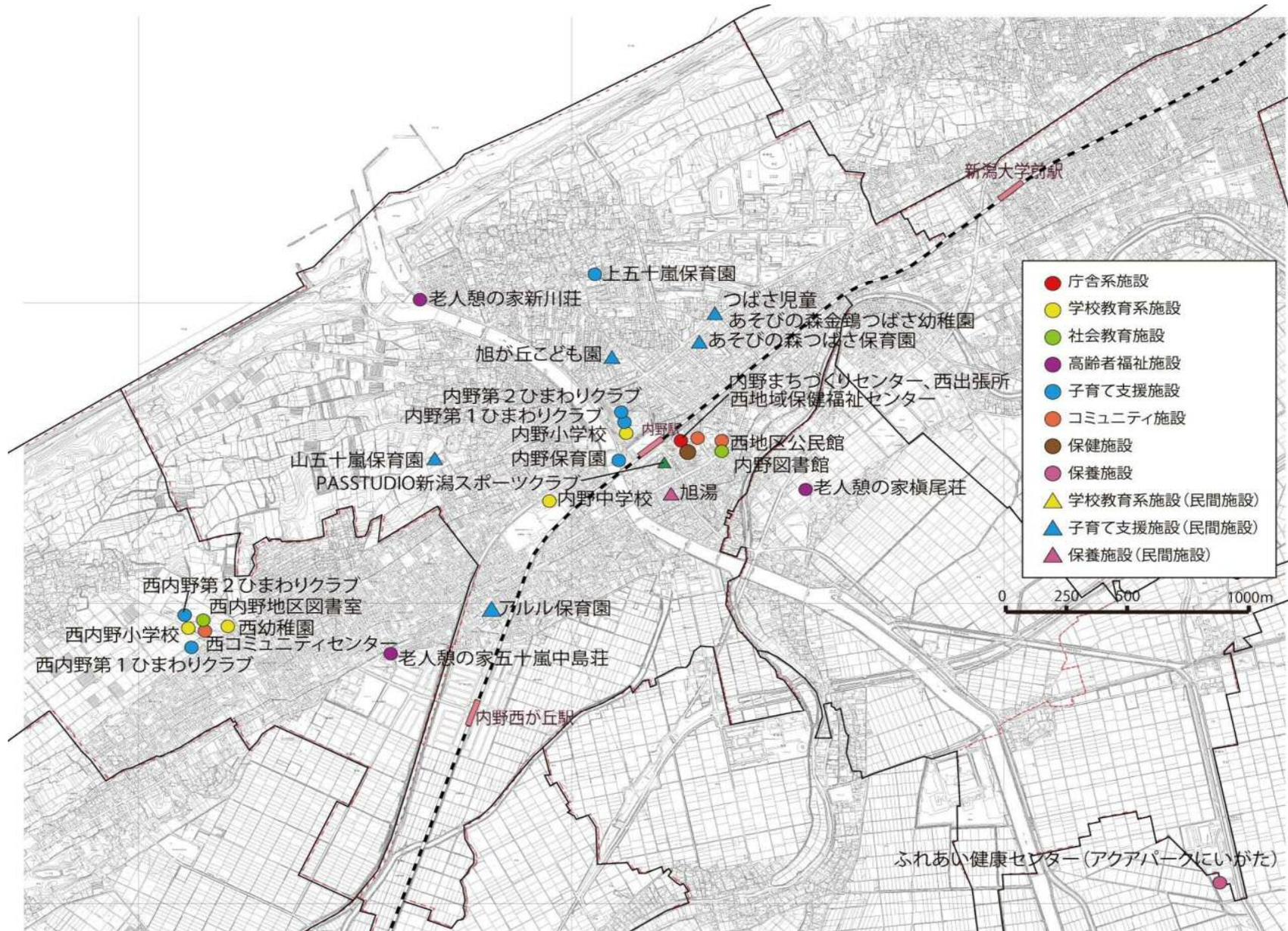
※2 アルファベットが同じものは複合施設

※3 分析領域の番号は下記項目のとおり

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1.コスト状況、利用状況ともに相対的に良好な施設 | 2.相対的にコストは安いものの、利用が少ない施設 |
| 3.相対的にコストが高いものの、利用が多い施設 | 4.相対的に高コストかつ、利用が少ない施設 |

※4 施設分類欄「※」印の施設は平成27年度以降に新設又は新規調査した施設であり、現状分析の対象とはならないものの参考として施設情報を掲載した。

2.施設位置図



※校区の線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

※公営住宅は位置図には未掲載。

内野中学校区

中野小屋中学校区 地域カルテ

西区

H30年8月更新

I.地域の基礎データ

1.中学校区の概要

中野小屋中学校区は、西区の南部に位置し、西川沿いに稲作が中心の農村集落が連担した閑静な地域です。周辺にはのどかな田園風景が広がり、秋には金色に彩られます。

西側には国道116号が南北に縦断しており、新潟市中心部や巻方面へのアクセスが確保されています。また、区バス（中野小屋ルート）が、JR越後赤塚駅前から、商業施設等が集積する新通、信楽園病院を通り、青山までを結んでいます。

地域の行政窓口となっている中野小屋連絡所には、中野小屋公民館が併設されており、地域活動の拠点として活用されています。

また、秋には、コミュニティ中野小屋、自治会及び学校などの協力により、地域をあげてお年寄りの長寿を子どもや孫が歌や踊りで祝う「親子三代ふれあい会」や「瑞穂祭」を開催しています。

コミュニティ協議会※

コミュニティ中野小屋

小学校

小瀬小学校

笠木小学校

※中学校区の区域とコミュニティ協議会の区域は必ずしも一致しない。

位置図



中野小屋中学校区

Ⅱ.人口データ

1.人口・世帯数(住民基本台帳)

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	(人)	(世帯)	(人)
							うち75歳以上	世帯数	1世帯当たり 世帯人員
2011年	3,285	1,592	1,693	380	2,084	821	490	1,100	2.99
		48.5%	51.5%	11.6%	63.4%	25.0%	14.9%		
2016年	3,059	1,485	1,574	298	1,795	966	494	1,140	2.68
		48.5%	51.5%	9.7%	58.7%	31.6%	16.1%		
増減	-226	-107	-119	-82	-289	145	4	40	-0.30
	-6.9%	-6.7%	-7.0%	-21.6%	-13.9%	17.7%	0.8%		

2.人口推計

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	(人)
							うち75歳以上
2021年	2,823	1,360	1,463	232	1,533	1,058	471
		48.2%	51.8%	8.2%	54.3%	37.5%	16.7%
2026年	2,578	1,231	1,347	183	1,326	1,068	575
		47.8%	52.2%	7.1%	51.4%	41.4%	22.3%
2031年	2,347	1,109	1,238	164	1,158	1,025	651
		47.3%	52.7%	7.0%	49.3%	43.7%	27.7%
2036年	2,107	978	1,129	143	1,001	963	654
		46.4%	53.6%	6.8%	47.5%	45.7%	31.0%
2016-2036 増減	-952	-507	-445	-155	-794	-3	160
	-31.1%	-34.1%	-28.3%	-51.9%	-44.2%	-0.3%	32.4%

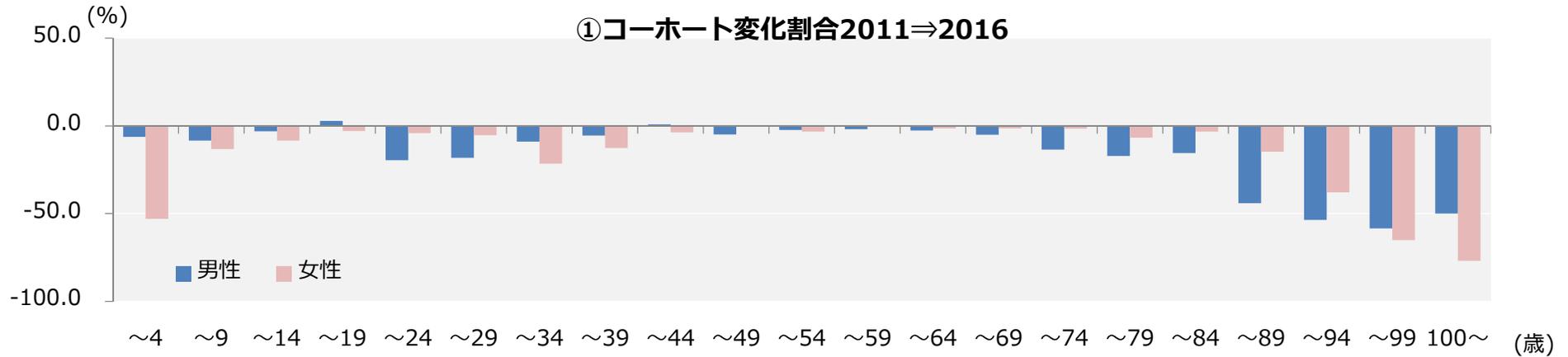
○人口は、2016年の3,059人から減少を続け、2036年には2,107人となり31.1%減少する。

○老年人口は、2026年に1,068人でピークを迎えその後減少していくが、老年人口割合は徐々に拡大を続け2036年には45.7%となる。

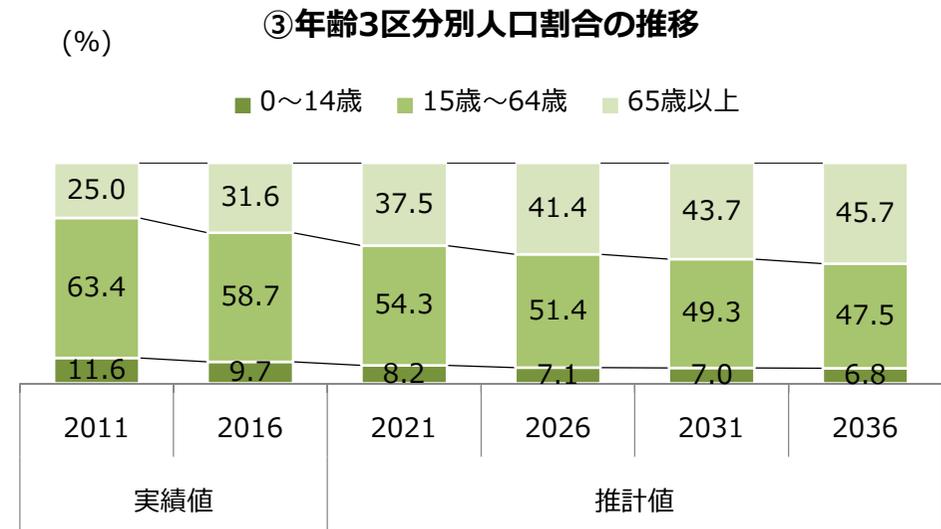
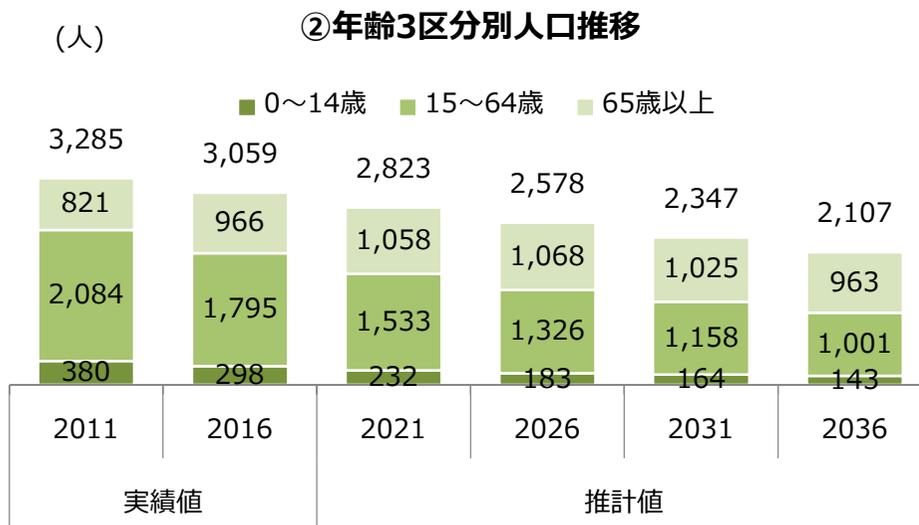
○年少人口は、2016年の298人から2036年には51.9%減少の143人となり、年少人口割合は6.8%に縮小する。

○生産年齢人口は、2016年の1,795人から2036年には1,001人となり、44.2%減少する。

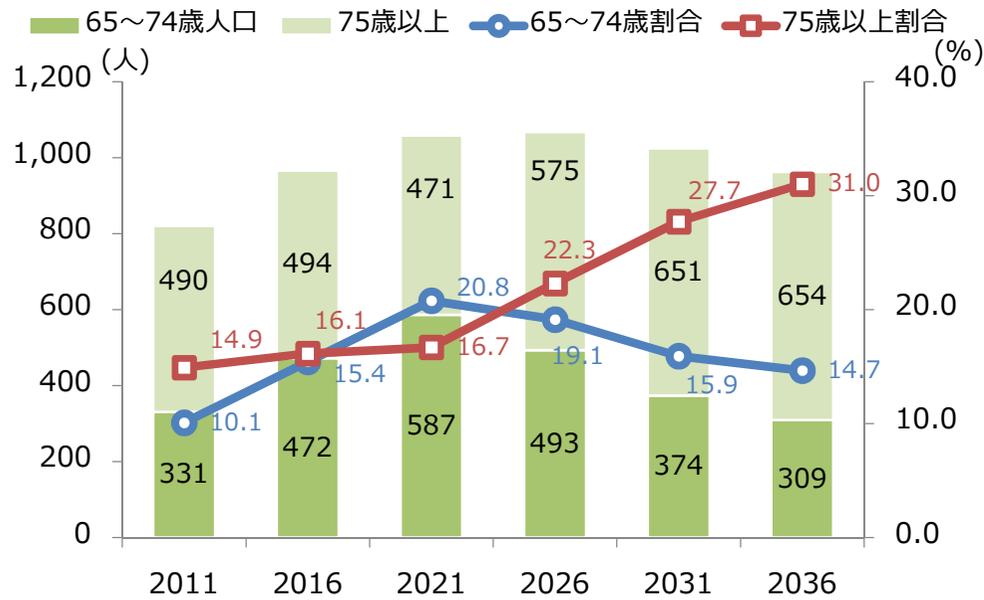
3.人口推計グラフ



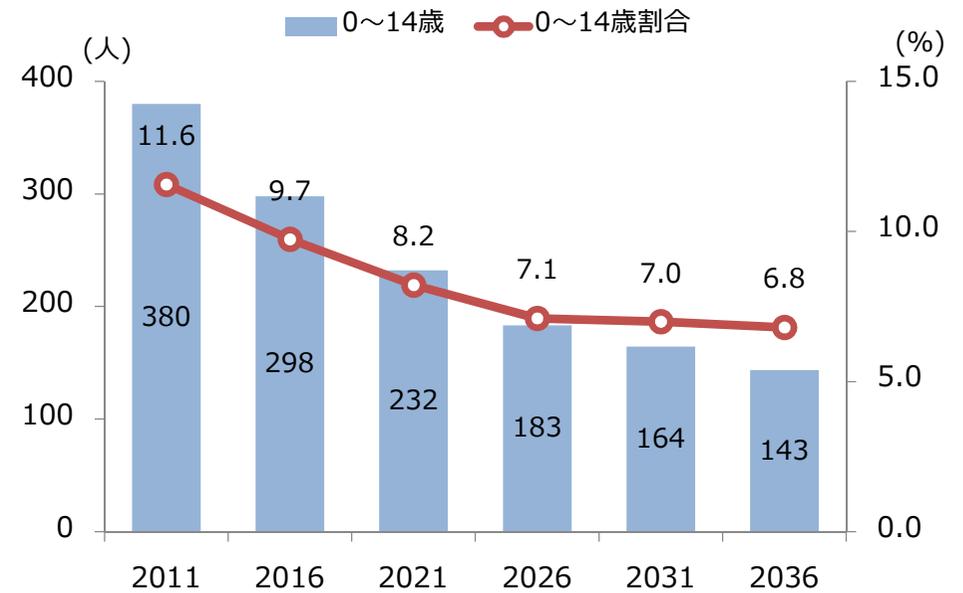
- 総じて各年代において、男女ともに変化割合はマイナスとなっており、15～19歳、40～44歳の男性においてわずかにプラスがみられる。
- 就職に至る20～24歳、25～29歳の年代において、特に男性の変化割合が2割程度のマイナスとなっている。



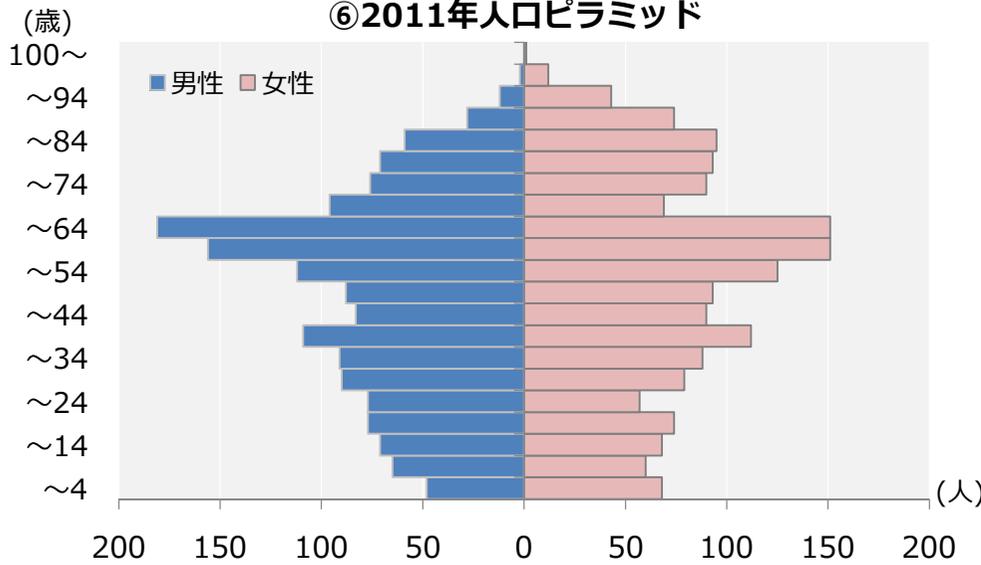
④ 高齢者人口の推移



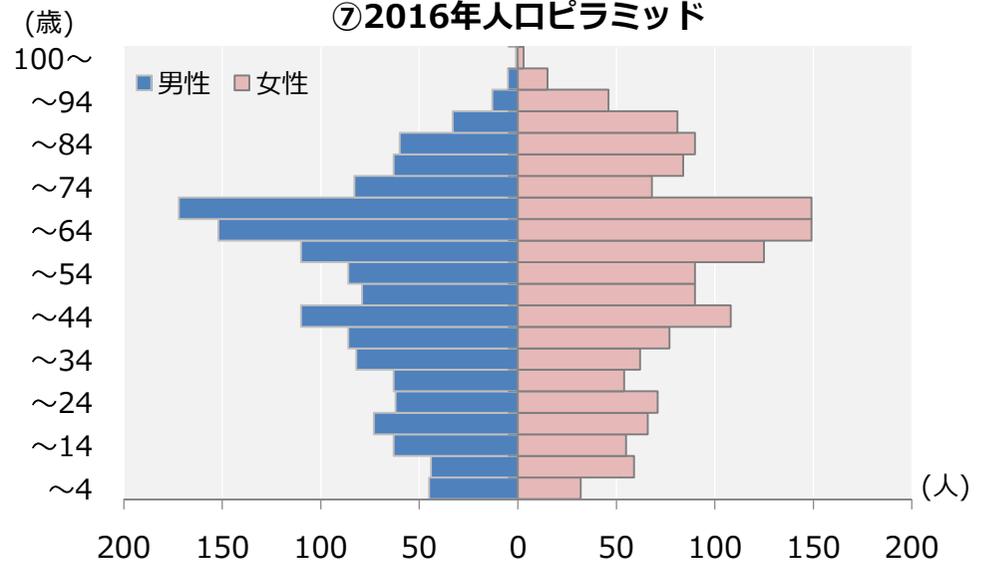
⑤ 年少人口の推移



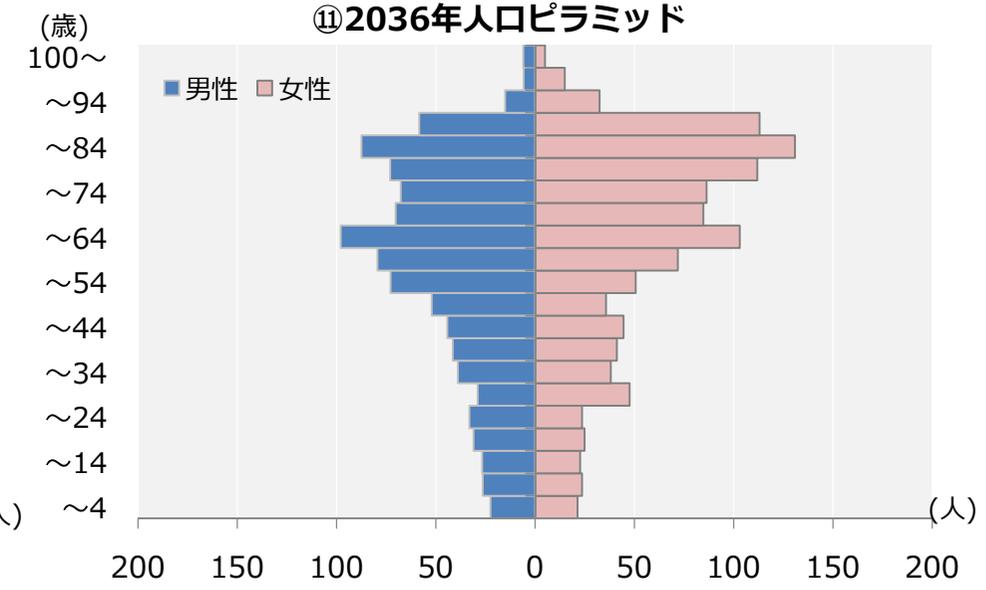
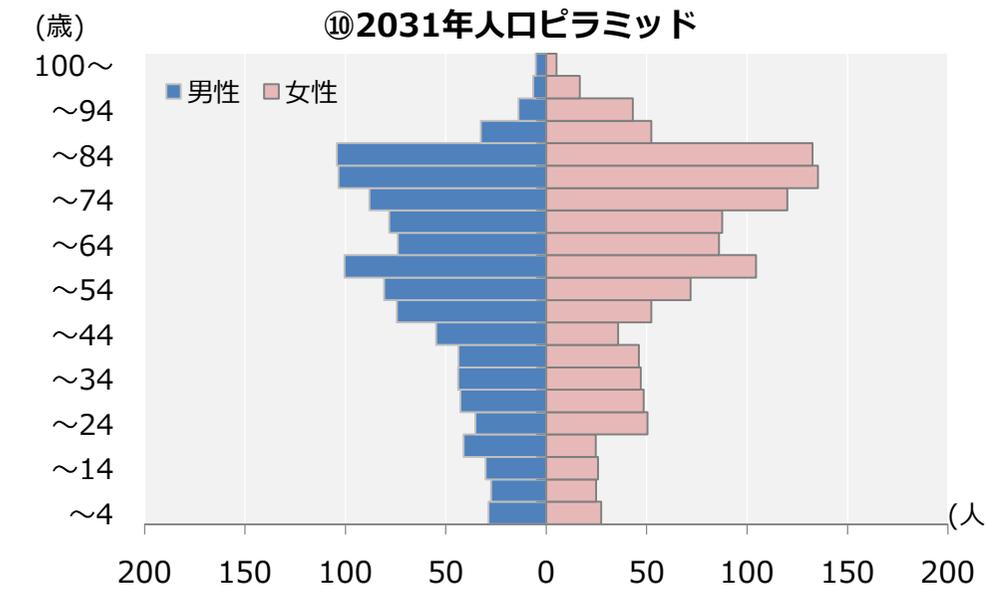
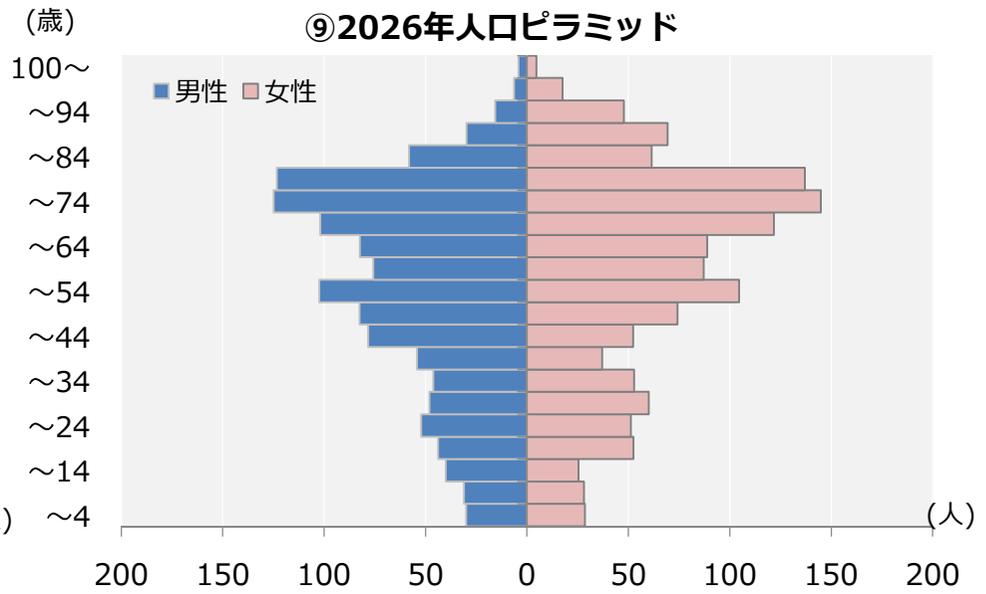
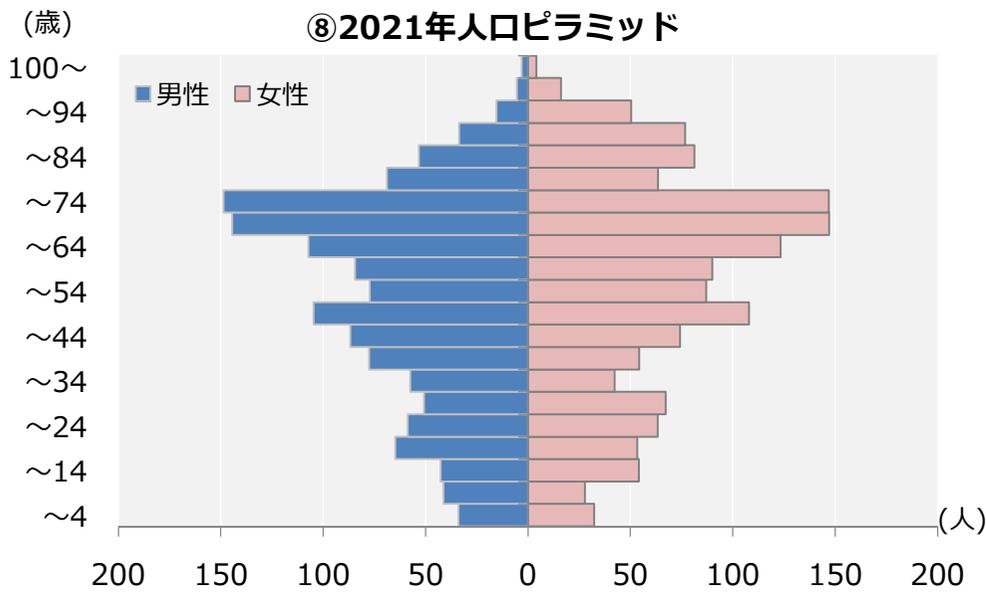
⑥ 2011年人口ピラミッド



⑦ 2016年人口ピラミッド



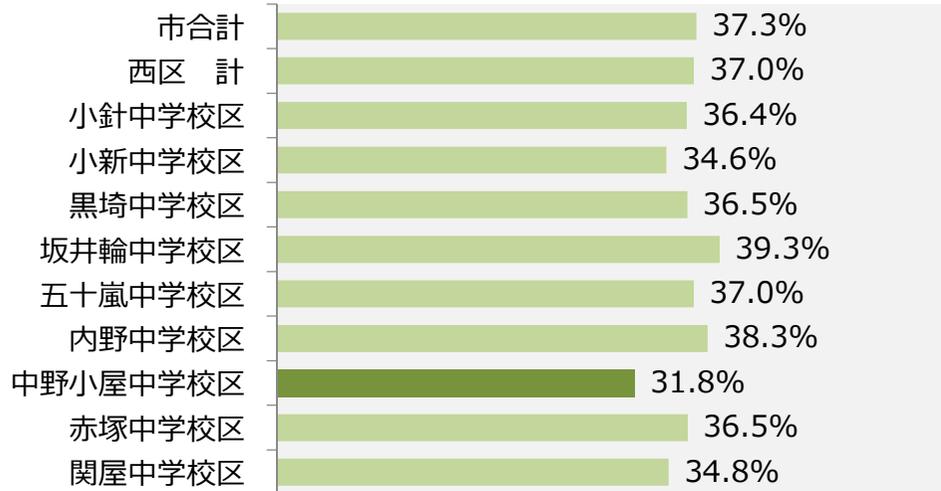
中野小屋中学校区



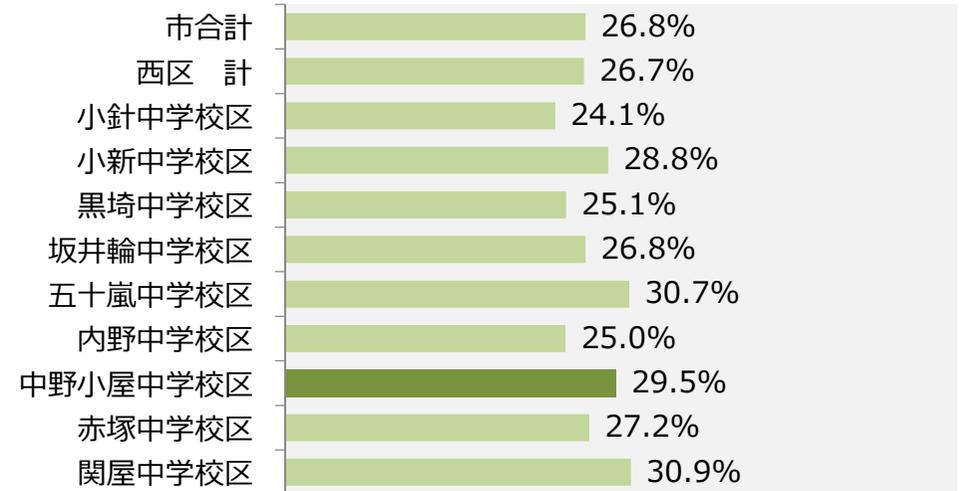
Ⅲ.健康データ（平成27年度新潟市国民健康保険・新潟県後期高齢者医療保険・協会けんぽ健診データ）

※「西区計」には、集計の都合上、関屋中学校区データは含まない。（「中央区計」に含む）

①健診受診率

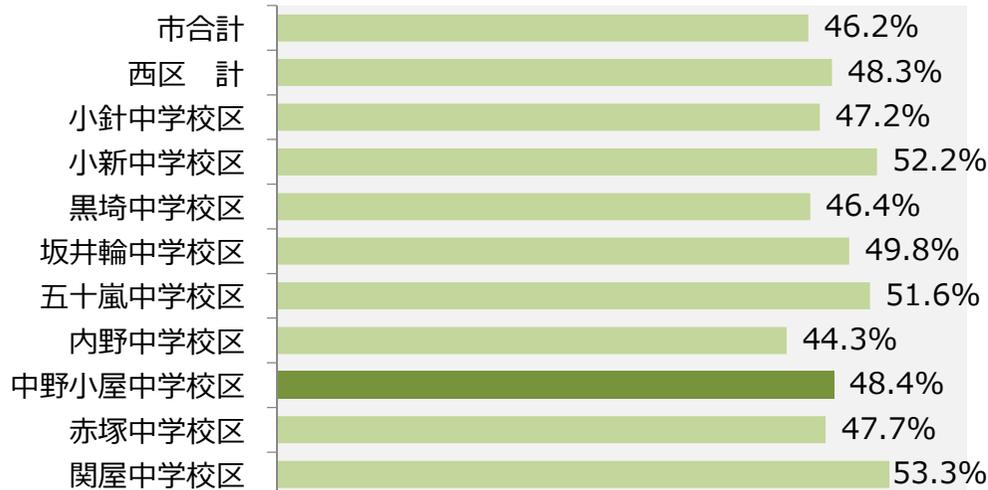


②高齢化率

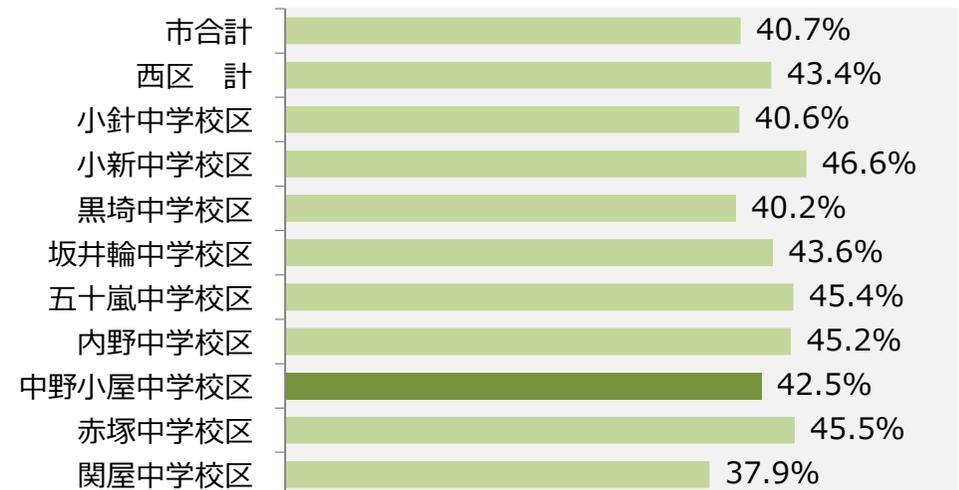


※平成27年9月末時点の住民基本台帳人口を基に算出

③血糖



④血圧（収縮期130mmHg以上）



※国民健康保険・後期高齢者医療保険：HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)5.6%以上

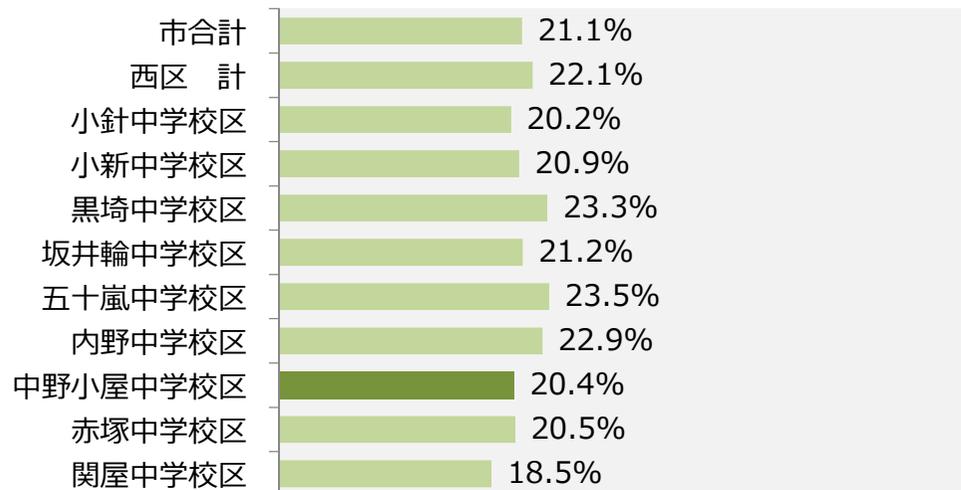
協会けんぽ：空腹時血糖100mg/dl以上

■HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）

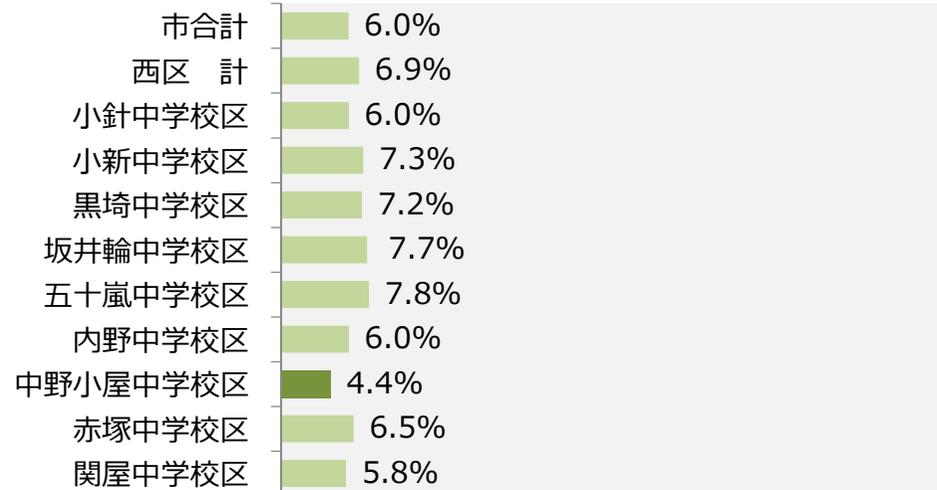
過去1~2か月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われている。

中野小屋中学校区

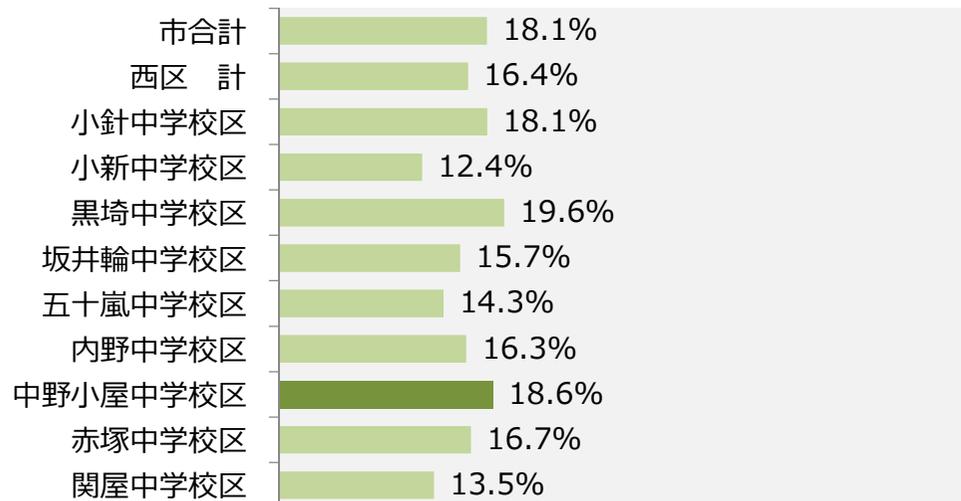
⑤脂質（中性脂肪150mg/dl以上）



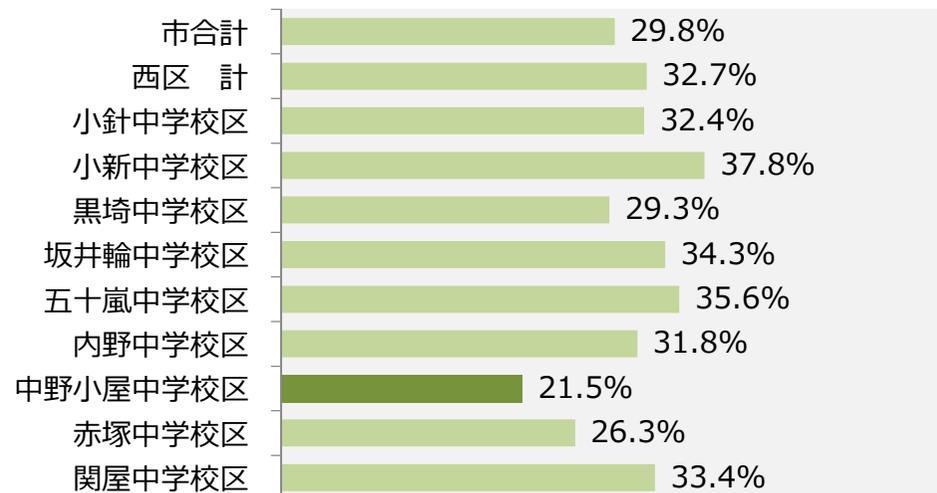
⑥3項目(血糖・血圧・脂質)重複該当



⑦喫煙



⑧運動習慣

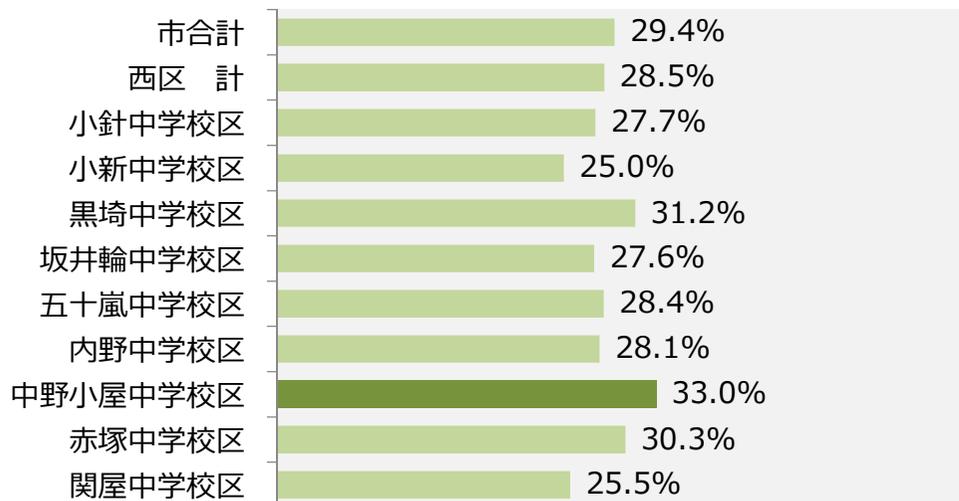


※現在、たばこを習慣的に吸っていると回答した人の割合

※1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していると回答した人の割合

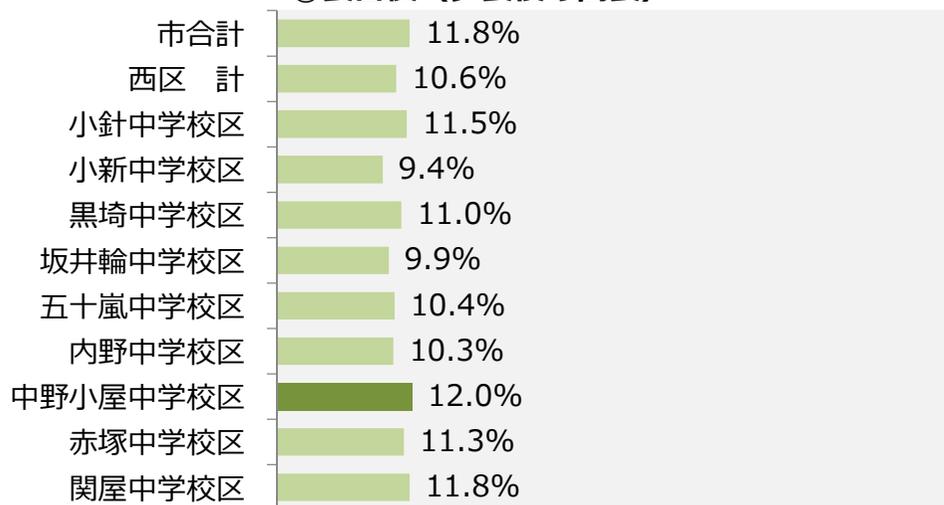
中野小屋中学校区

⑨ 飲酒頻度（毎日）



※お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度は
[毎日] と回答した人の割合

⑩ 食習慣（夕食後の間食）



※夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが
週に3回以上あると回答した人の割合

⑪ 患者予備群、治療放置群等（国保・後期高齢）

	健診 対象者数 (国保+ 後期) 人数	未把握		未通院 患者予備群 治療放置群	
		人数	構成割合	人数	構成割合
小針中学校区	7,033	2,243	31.9%	269	3.8%
小新中学校区	5,430	1,582	29.1%	212	3.9%
黒崎中学校区	8,471	2,586	30.5%	220	2.6%
坂井輪中学校区	7,894	2,490	31.5%	404	5.1%
五十嵐中学校区	9,144	2,828	30.9%	445	4.9%
内野中学校区	8,153	2,504	30.7%	300	3.7%
中野小屋中学校区	1,239	409	33.0%	44	3.6%
赤塚中学校区	2,096	703	33.5%	49	2.3%
関屋中学校区	8,190	2,623	32.0%	311	3.8%
西区 計	49,460	15,345	31.0%	1,943	3.9%

※平成27年度の国保+後期高齢の健診対象者（40歳以上）の状況

未把握・・・健診未受診及び生活習慣病の受診がない

未通院・・・健診において下記項目のいずれかに該当し、医療機関で

診察又は治療の必要があるが、同年中に生活習慣病の受診がない

- ・血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上
- ・血圧：140又は90mmHg以上 ・中性脂肪：300mg/dl以上
- ・LDLコレステロール：140mg/dl以上 ・HDLコレステロール：35mg/dl未満

■ LDLコレステロール

全身の組織へコレステロールを運ぶ働きをしているが、多すぎると動脈硬化をすすめるため、悪玉コレステロールとも言われる。

■ HDLコレステロール

善玉コレステロールともいわれ、血管壁に沈着したコレステロールを取り除き肝臓に戻す働きがあり、少ないと動脈硬化をすすめるが、多すぎても問題があるといわれている。

中野小屋中学校区

IV.施設データ

1.施設一覧

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3	
		複合施設 ※2	建築年			使用面積 (㎡)	コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)			
コミュニティ施設	中野小屋公民館	A	S58		390.28		1,413.0	円/人/回	(928.0)	5.6	%	(26.3)	4
社会教育施設	中野小屋地区図書室	A	S58		24.98		3,208.0	円/冊	(508.0)	0.3	倍	(1.9)	4
学校教育系施設	笠木小学校		S58	～ S61	3,295.95	○	239.4	万円/人/年	(81.3)	84.5	㎡/人	(24.1)	4
学校教育系施設	小瀬小学校		S55	～ H3	2,914.70	○	157.6	万円/人/年	(81.3)	37.4	㎡/人	(24.1)	4
学校教育系施設	中野小屋中学校		S53	～ H8	4,122.06	○	204.6	万円/人/年	(88.5)	79.3	㎡/人	(28.5)	4
高齢者福祉施設	老人憩の家明和荘		S40	～ S57	353.01		916.0	円/人/回	(806.6)	6.5	人/100㎡/日	(12.7)	4
庁舎系施設	中野小屋連絡所	A	S58		342.52		-			-			-
その他行政系施設	食肉衛生検査所		H5		721.33		-			-			-

※1 平成28年度財産白書（平成27年度決算ベース）から引用

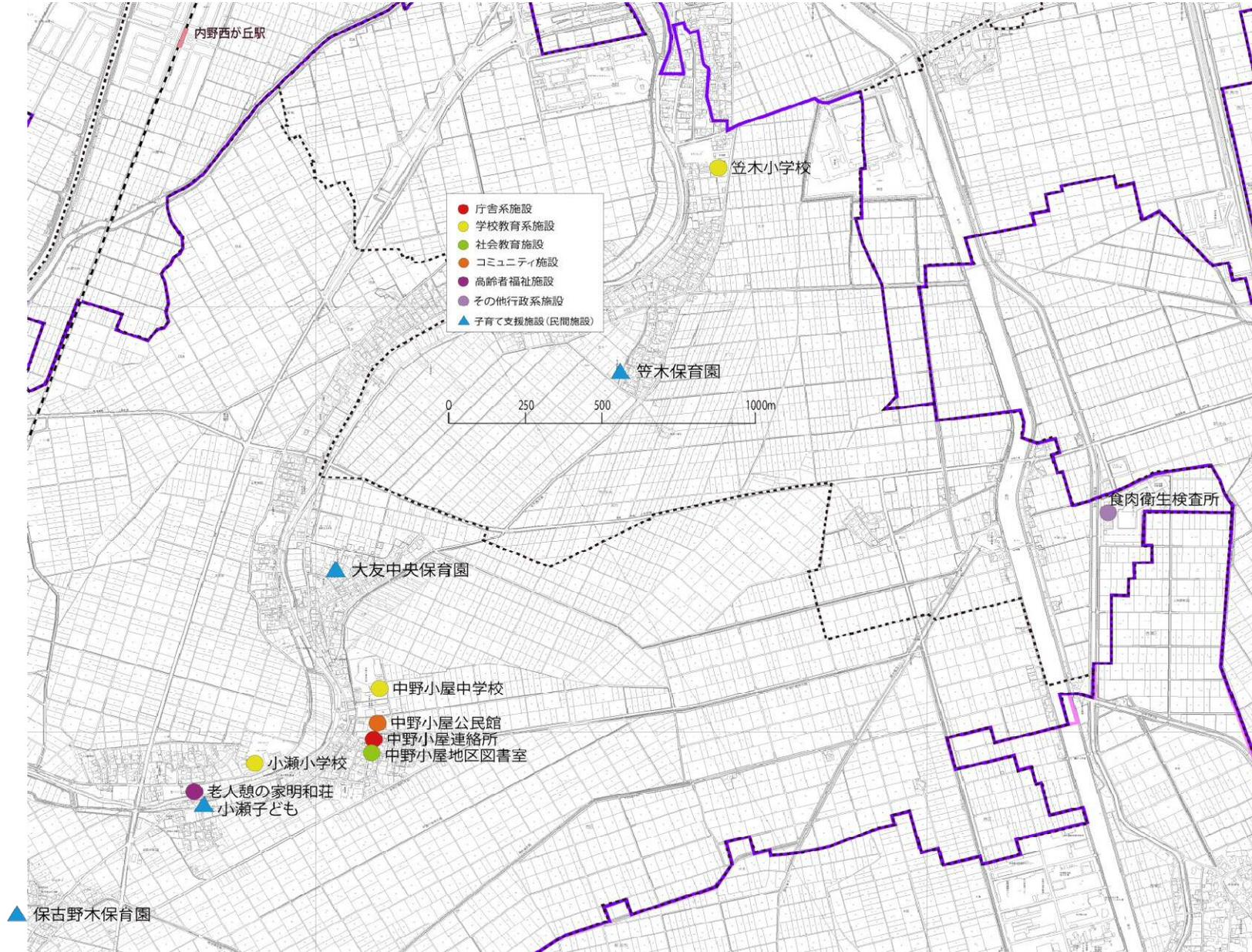
※2 アルファベットが同じものは複合施設

※3 分析領域の番号は下記項目のとおり

- 1.コスト状況、利用状況ともに相対的に良好な施設
- 3.相対的にコストが高いものの、利用が多い施設

- 2.相対的にコストは安いものの、利用が少ない施設
- 4.相対的に高コストかつ、利用が少ない施設

2.施設位置図



※校区の線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

赤塚中学校区 地域カルテ

西区

H30年8月更新

I.地域の基礎データ

1.中学校区の概要

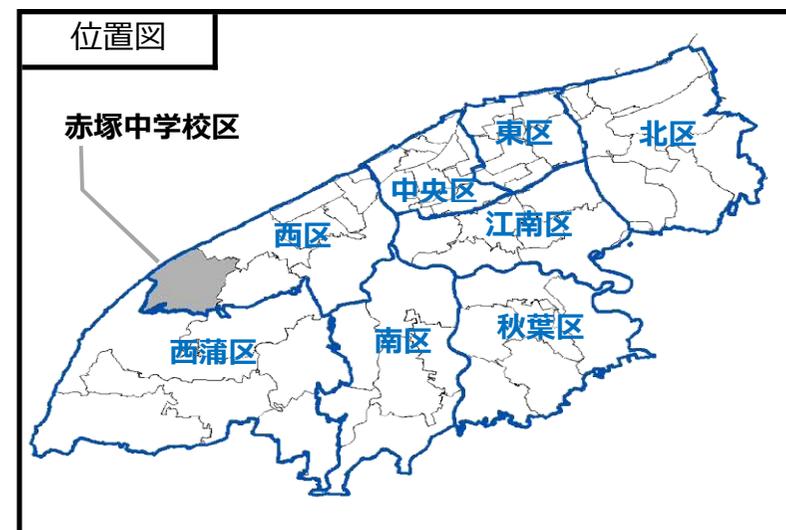
赤塚中学校区は、西区の最西部に位置し、西蒲区と隣接しています。海岸線を有する四ツ郷屋地区、農村地域である赤塚地区、新興住宅地が広がり新潟国際情報大学が立地するみずき野地区で構成されます。区域内中央部には、毎年4,000羽以上のコハクチョウが越冬するラムサール条約湿地の佐潟や御手洗潟があるほか、区域外からも利用者が集まるきらら西公園、地域の行政窓口となっている赤塚連絡所（赤塚公民館併設）があります。

海岸沿いの国道402号、内陸部の県道新潟寺泊線や越後赤塚駅により、新潟市中心部へのアクセスが確保され、住民バスのコミュニティ佐潟バスが、JR越後赤塚駅前から、みずき野、赤塚、四ツ郷屋地区を通り、新潟交通内野営業所までを結んでいます。

コミュニティ佐潟が中心となり、地域の財産である佐潟の保全・活用の取り組みを活発に行っており、地域資源の掘り起こしや観光開発に向け、赤塚・中原邸公開日と連携し、地域のまち歩きを行うなど観光ボランティアガイドが活動しています。

コミュニティ協議会※	
コミュニティ佐潟	
小学校	
赤塚小学校	木山小学校

※中学校区の区域とコミュニティ協議会の区域は必ずしも一致しない。



赤塚中学校区

Ⅱ.人口データ

1.人口・世帯数(住民基本台帳)

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	(人)	(世帯)	(人)
							うち75歳以上	世帯数	1世帯当たり 世帯人員
2011年	5,684	2,800	2,884	822	3,594	1,268	675	1,798	3.16
		49.3%	50.7%	14.5%	63.2%	22.3%	11.9%		
2016年	5,748	2,843	2,905	776	3,432	1,540	740	1,984	2.90
		49.5%	50.5%	13.5%	59.7%	26.8%	12.9%		
増減	64	43	21	-46	-162	272	65	186	-0.26
	1.1%	1.5%	0.7%	-5.6%	-4.5%	21.5%	9.6%		

2.人口推計

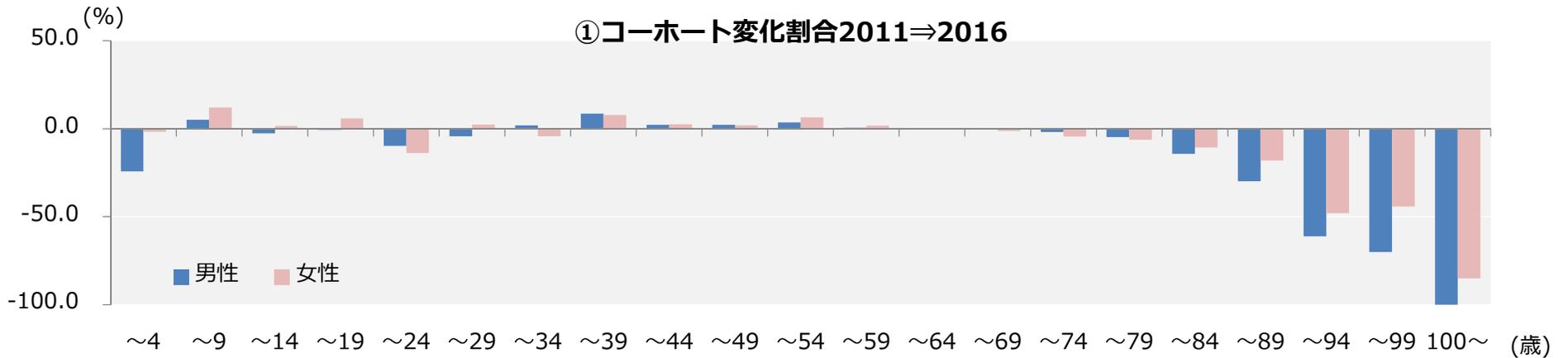
	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	(人)
							うち75歳以上
2021年	5,736	2,854	2,882	723	3,280	1,733	807
		49.8%	50.2%	12.6%	57.2%	30.2%	14.1%
2026年	5,668	2,830	2,838	637	3,244	1,787	1,003
		49.9%	50.1%	11.2%	57.2%	31.5%	17.7%
2031年	5,565	2,781	2,784	587	3,161	1,817	1,126
		50.0%	50.0%	10.5%	56.8%	32.7%	20.2%
2036年	5,432	2,709	2,722	576	3,041	1,815	1,112
		49.9%	50.1%	10.6%	56.0%	33.4%	20.5%
2016-2036	-316	-134	-183	-200	-391	275	372
増減	-5.5%	-4.7%	-6.3%	-25.8%	-11.4%	17.8%	50.3%

○人口は、2016年の5,748人から緩やかに減少を続け、2036年には5,432人となり5.5%減少する。

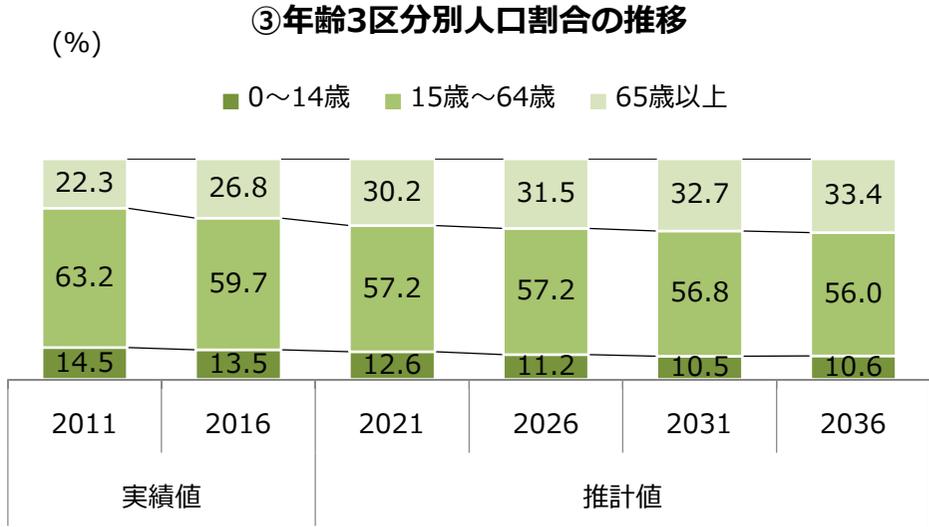
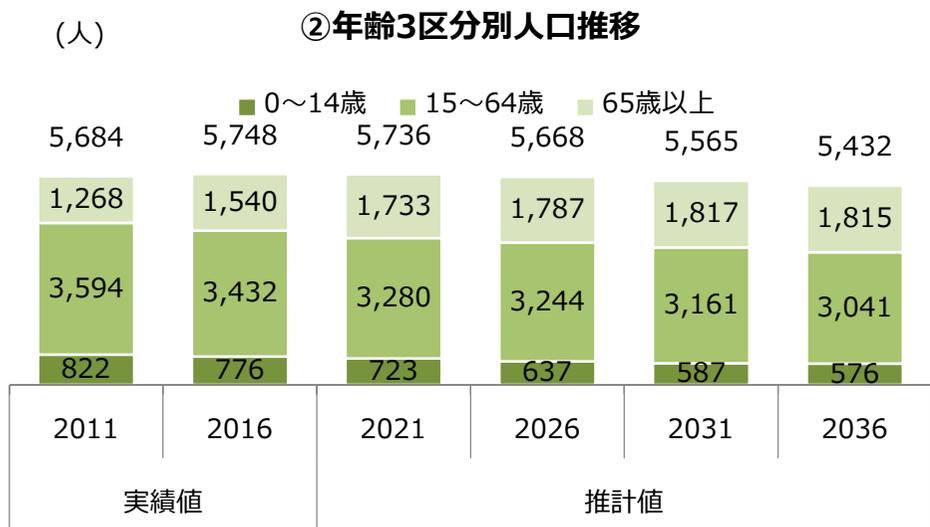
○老年人口は、2016年の1,540人から2036年には1,815人となり17.8%増加する。一方、年少人口は、2016年の776人から減少を続け2036年には576人（25.8%減）となり、年少人口割合は10.6%に縮小する。

○生産年齢人口は、2016年の3,432人から徐々に減少を続け2036年には3,041人となり、11.4%減少する。

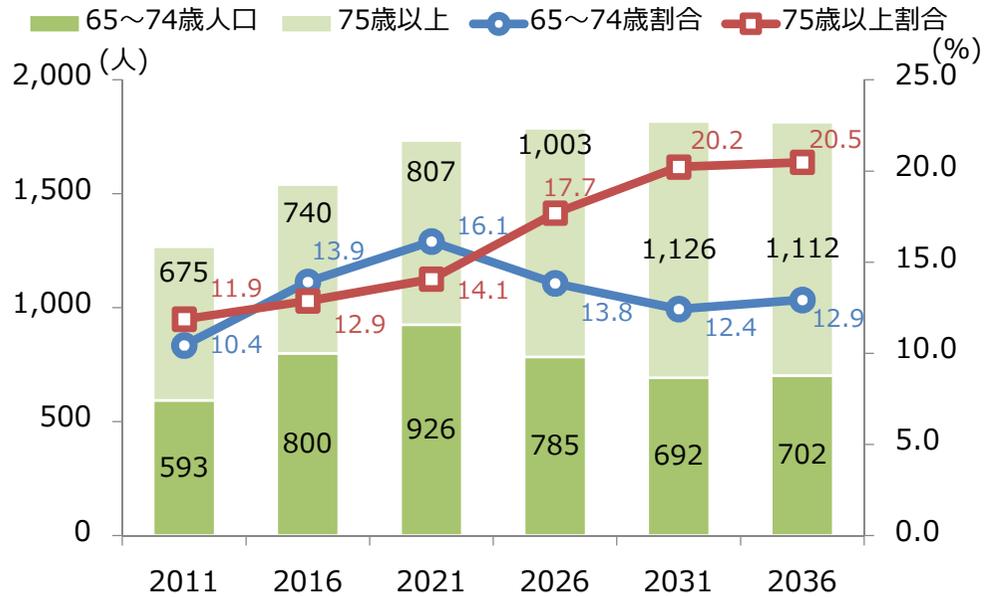
3.人口推計グラフ



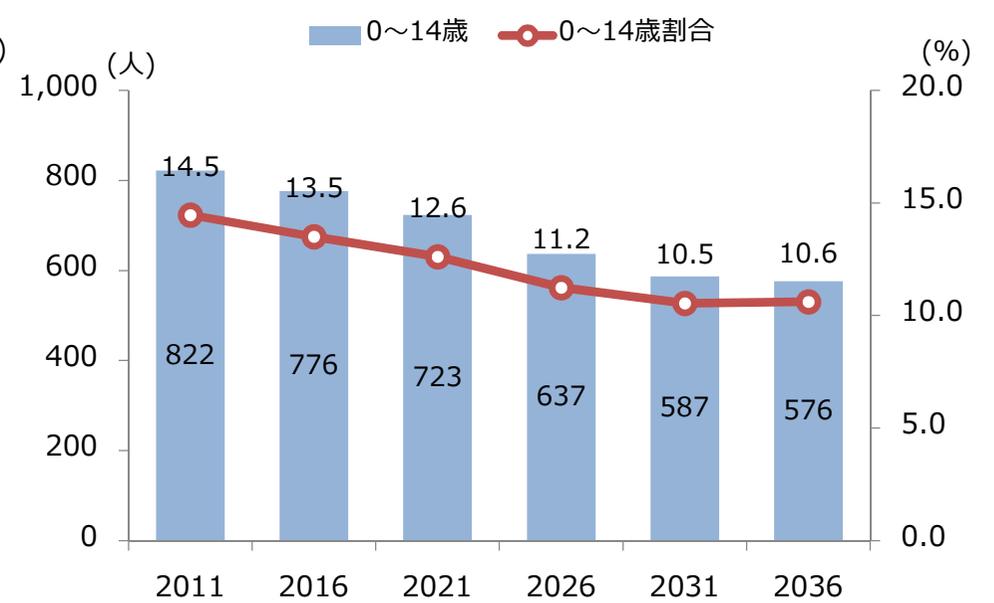
○新潟国際情報大学と新潟看護医療専門学校が存する当該地域では、就学が見込まれる15～19歳の年代の女性において変化割合がプラス、就職に至る20～24歳の年代において男女ともにマイナスとなっている。
 ○35～39歳から55～59歳の各年代において、男女ともにプラス傾向が続いている。



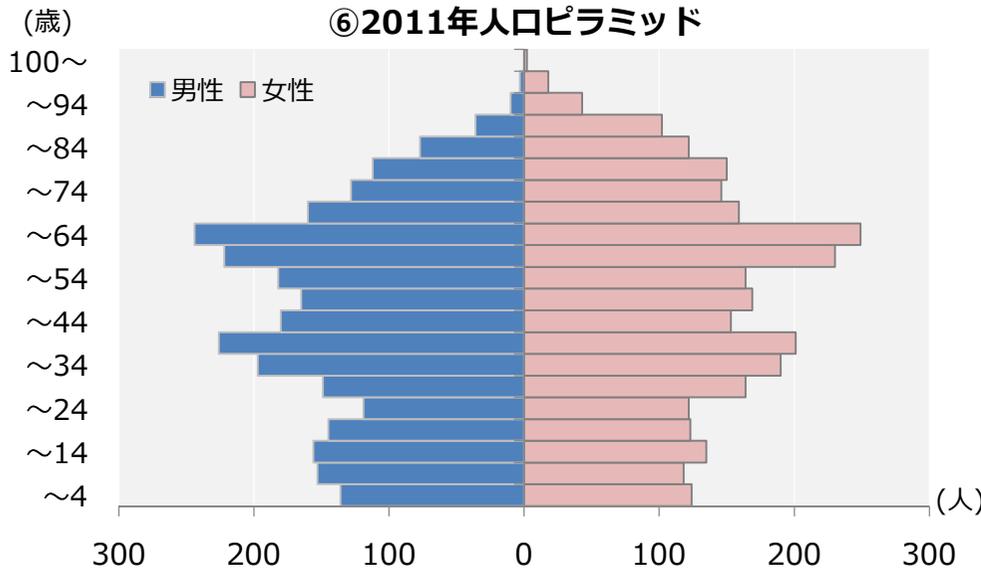
④ 高齢者人口の推移



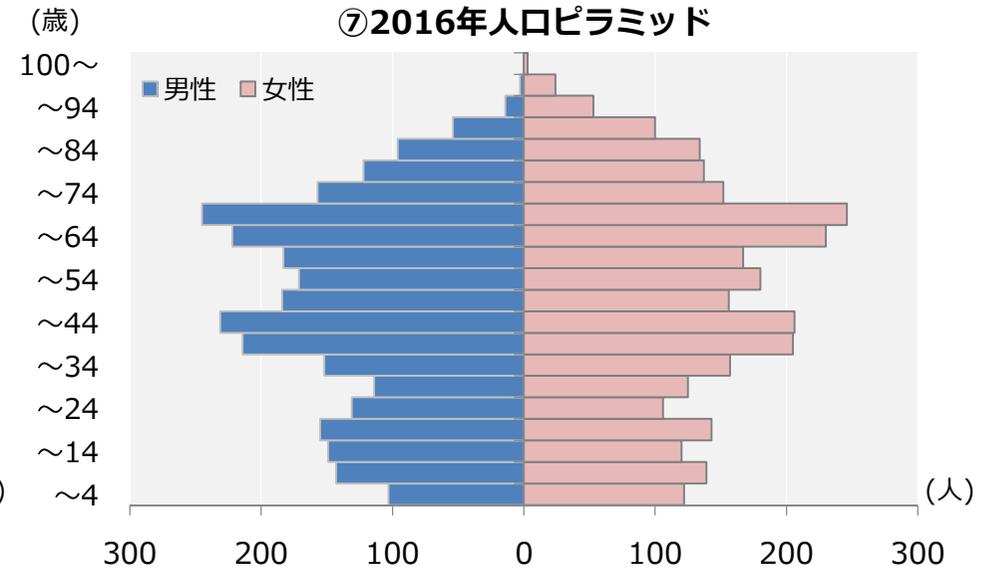
⑤ 年少人口の推移



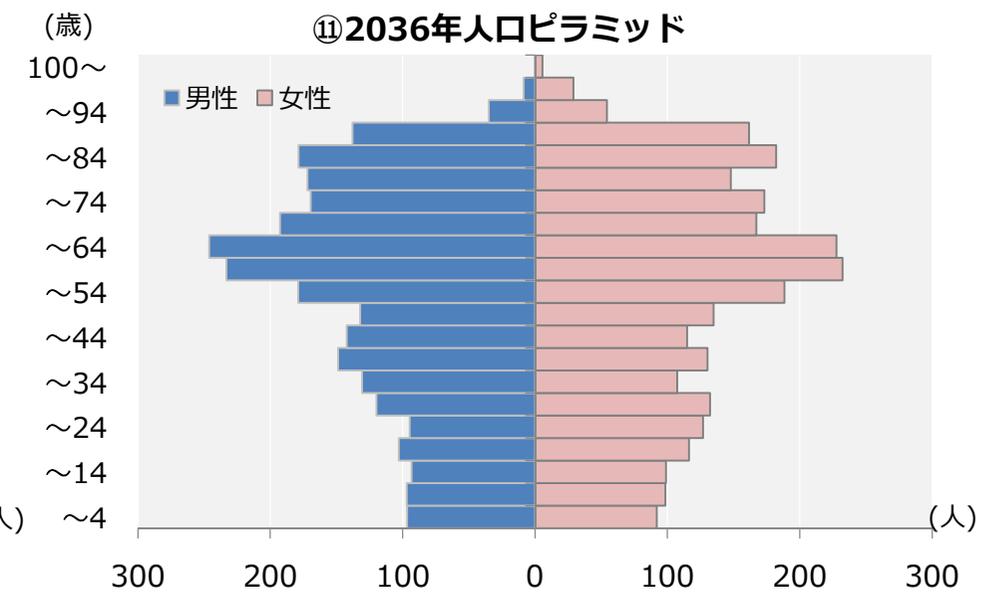
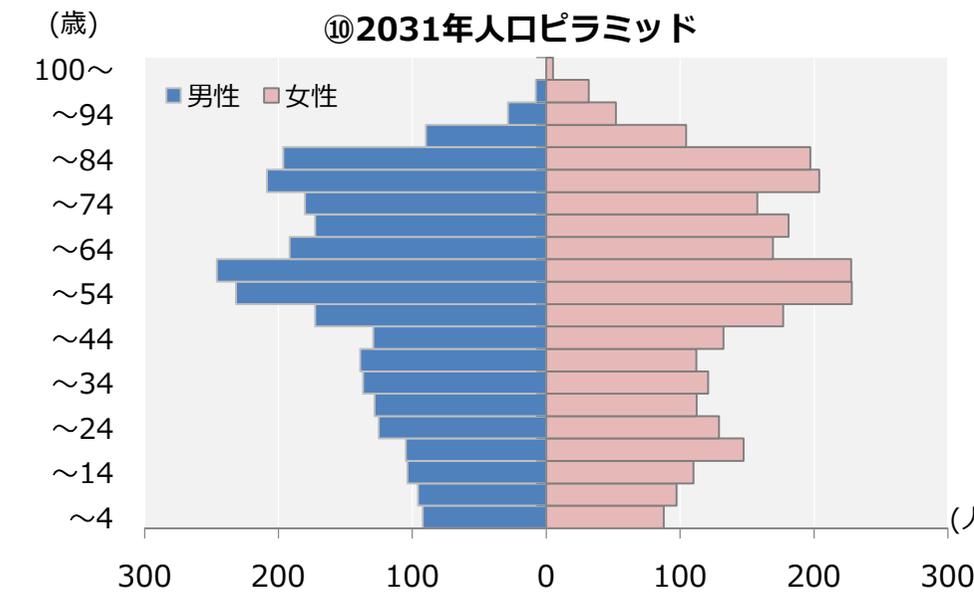
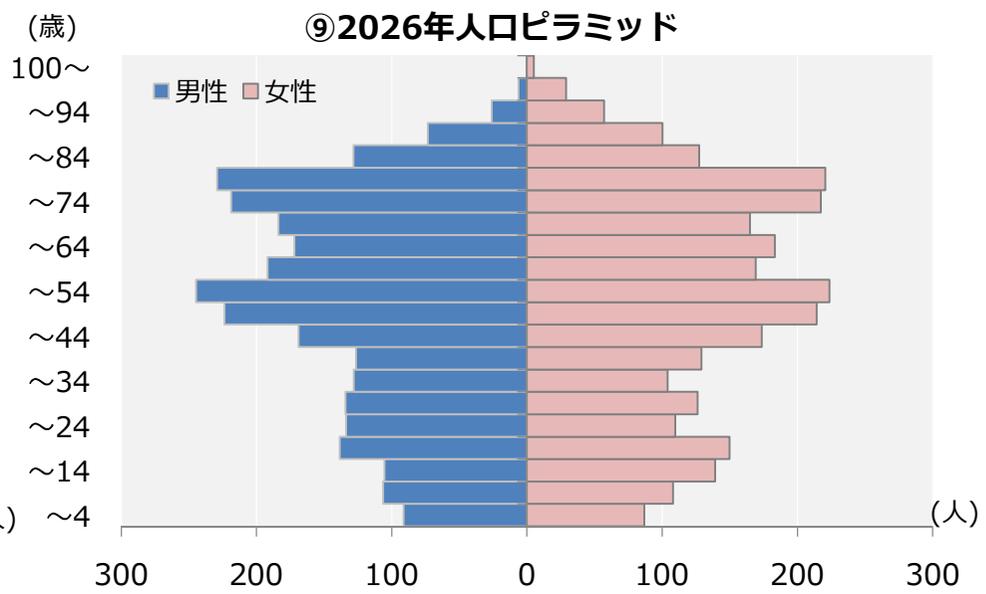
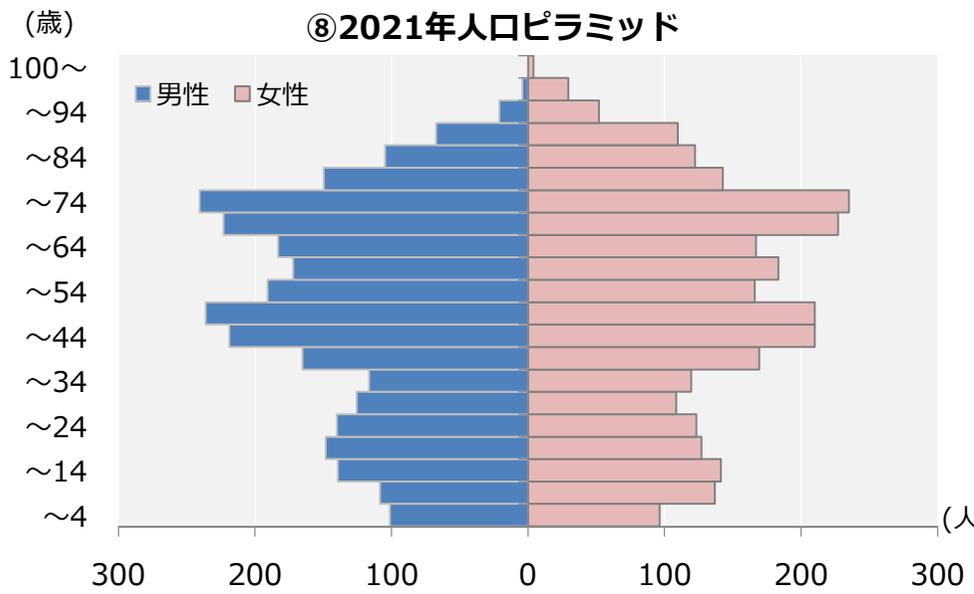
⑥ 2011年人口ピラミッド



⑦ 2016年人口ピラミッド



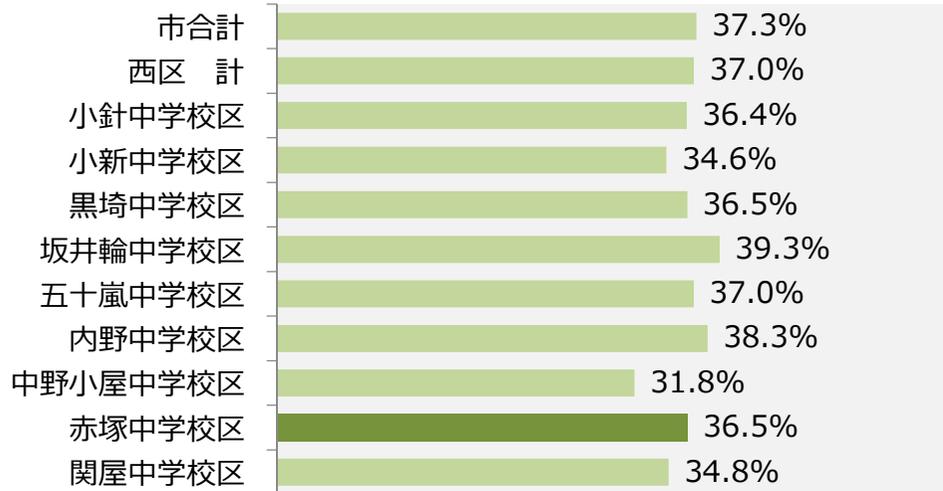
赤塚中学校区



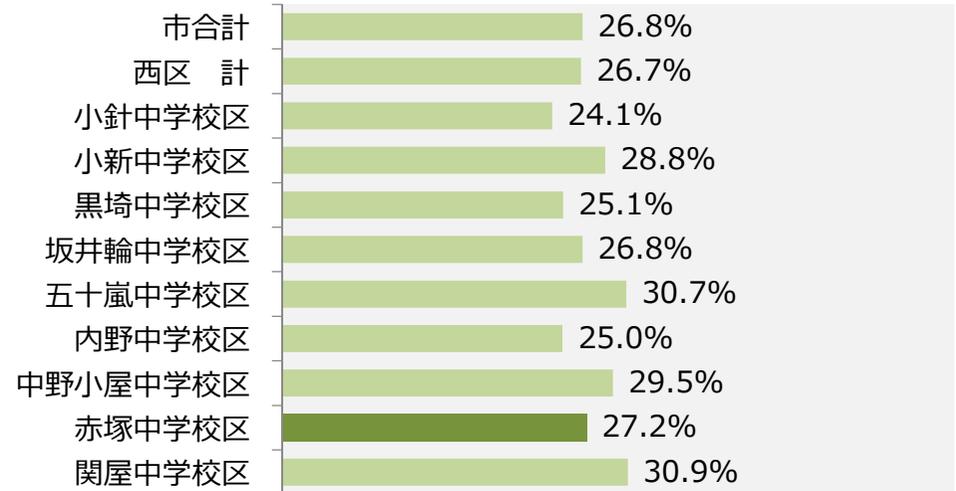
Ⅲ.健康データ（平成27年度新潟市国民健康保険・新潟県後期高齢者医療保険・協会けんぽ健診データ）

※「西区計」には、集計の都合上、
関屋中学校区データは含まない。
（「中央区計」に含む）

①健診受診率

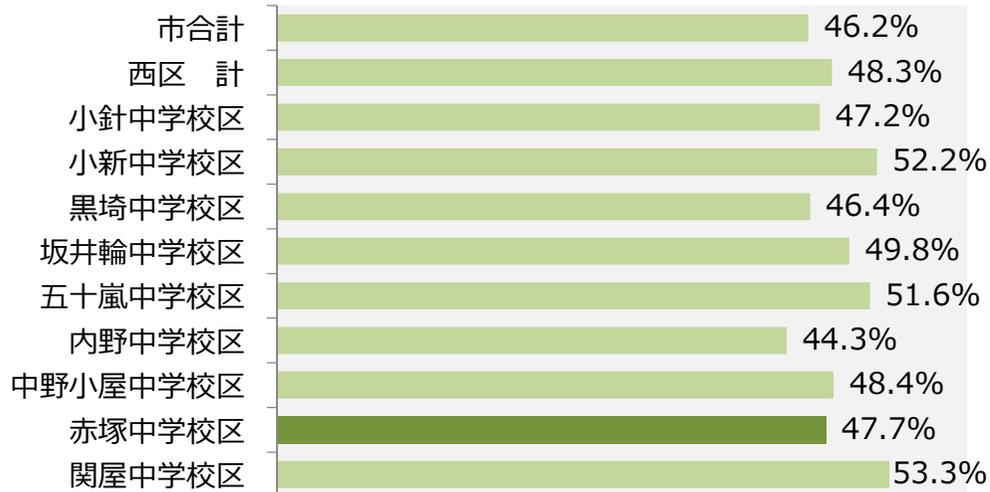


②高齢化率

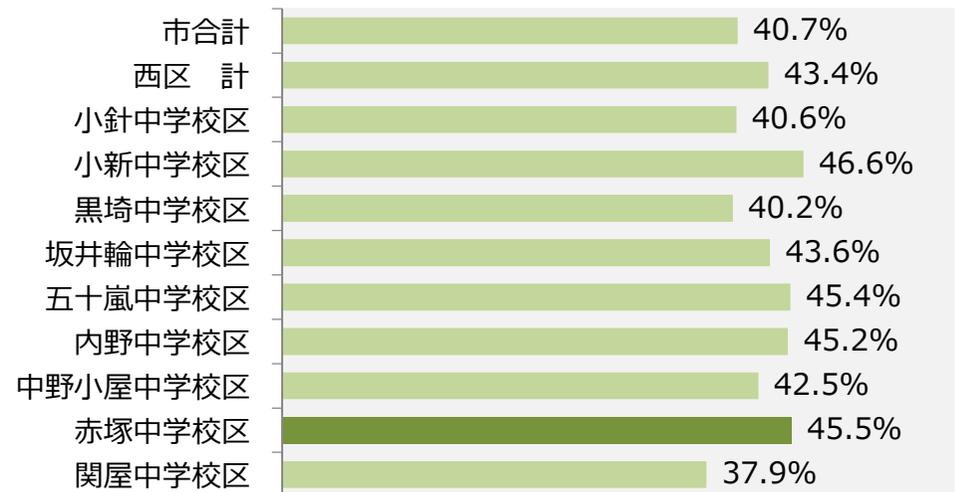


※平成27年9月末時点の住民基本台帳人口を基に算出

③血糖



④血圧（収縮期130mmHg以上）



※国民健康保険・後期高齢者医療保険：HbA1c(ヘムoglobinエーワンシー)5.6%以上

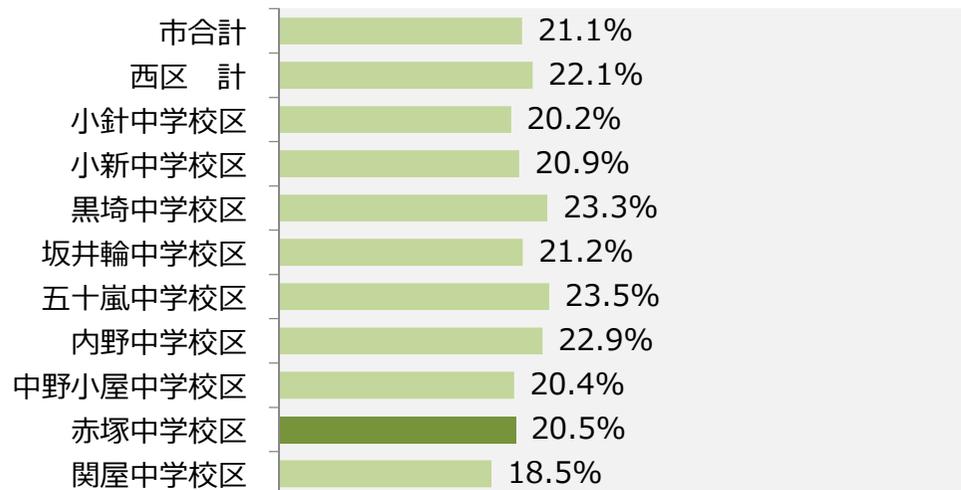
協会けんぽ：空腹時血糖100mg/dl以上

■HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）

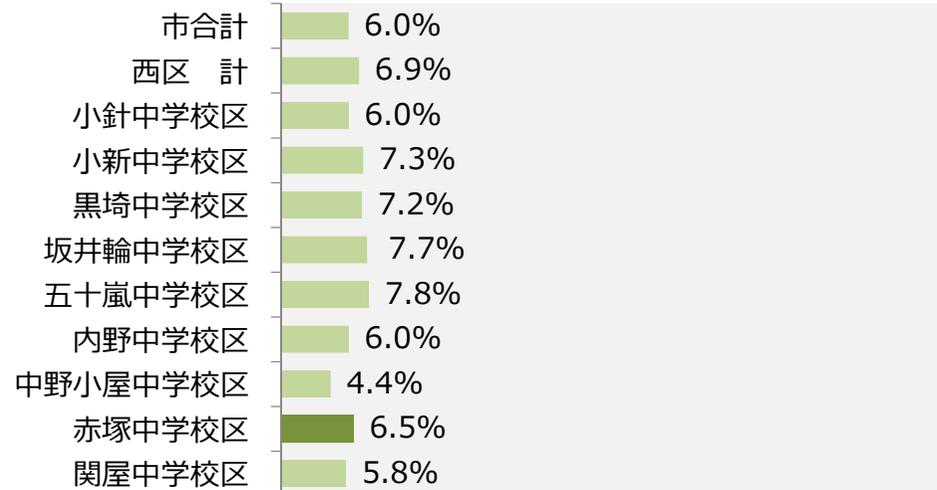
過去1~2か月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われている。

赤塚中学校区

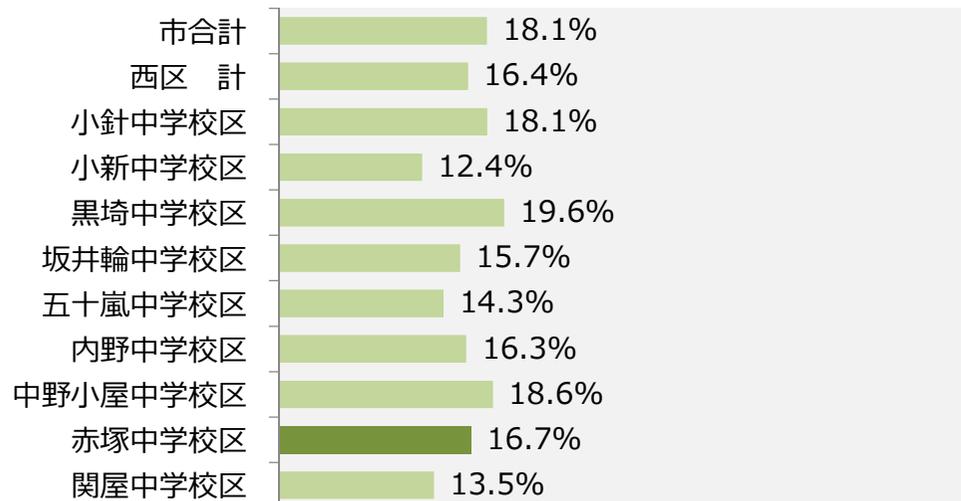
⑤脂質（中性脂肪150mg/dl以上）



⑥3項目(血糖・血圧・脂質)重複該当

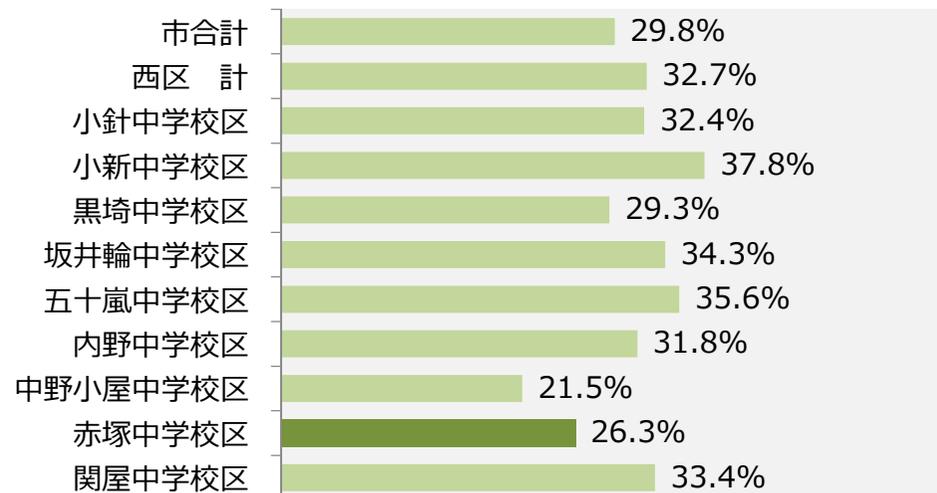


⑦喫煙



※現在、たばこを習慣的に吸っていると回答した人の割合

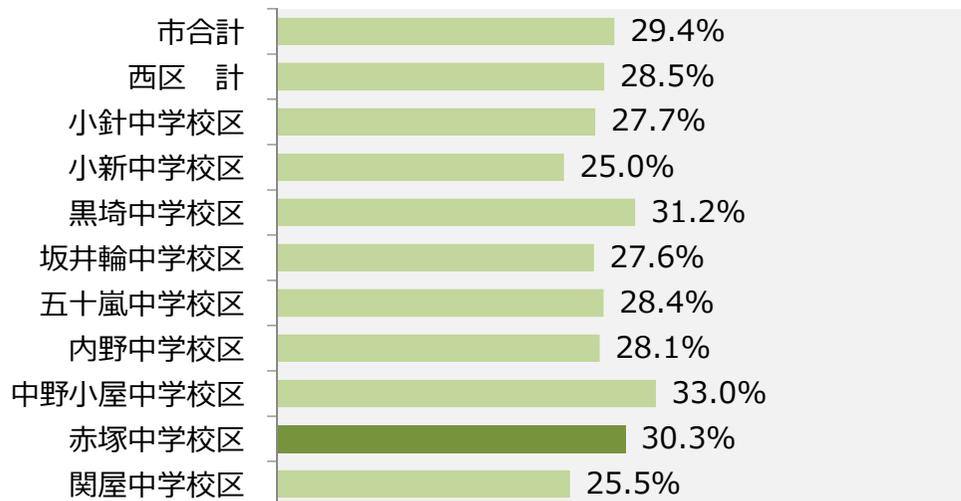
⑧運動習慣



※1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していると回答した人の割合

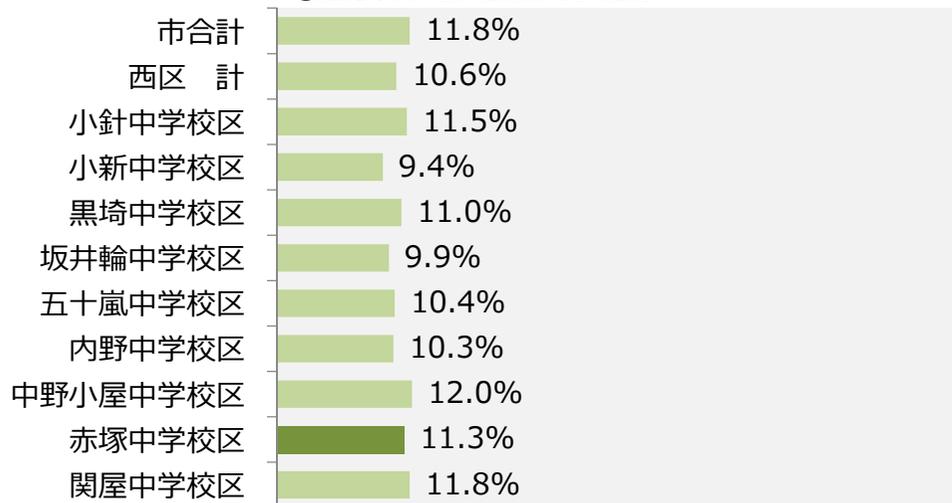
赤塚中学校区

⑨ 飲酒頻度（毎日）



※お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度は
[毎日] と回答した人の割合

⑩ 食習慣（夕食後の間食）



※夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが
週に3回以上あると回答した人の割合

⑪ 患者予備群、治療放置群等（国保・後期高齢）

	健診 対象者数 (国保+ 後期) 人数	未把握		未通院 患者予備群 治療放置群	
		人数	構成割合	人数	構成割合
小針中学校区	7,033	2,243	31.9%	269	3.8%
小新中学校区	5,430	1,582	29.1%	212	3.9%
黒崎中学校区	8,471	2,586	30.5%	220	2.6%
坂井輪中学校区	7,894	2,490	31.5%	404	5.1%
五十嵐中学校区	9,144	2,828	30.9%	445	4.9%
内野中学校区	8,153	2,504	30.7%	300	3.7%
中野小屋中学校区	1,239	409	33.0%	44	3.6%
赤塚中学校区	2,096	703	33.5%	49	2.3%
関屋中学校区	8,190	2,623	32.0%	311	3.8%
西区 計	49,460	15,345	31.0%	1,943	3.9%

※平成27年度の国保+後期高齢の健診対象者（40歳以上）の状況

- 未把握・・・健診未受診及び生活習慣病の受診がない
- 未通院・・・健診において下記項目のいずれかに該当し、医療機関で
診察又は治療の必要があるが、同年中に生活習慣病の受診がない
 - ・血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上
 - ・血圧：140又は90mmHg以上 ・中性脂肪：300mg/dl以上
 - ・LDLコレステロール：140mg/dl以上 ・HDLコレステロール：35mg/dl未満

- LDLコレステロール
全身の組織へコレステロールを運ぶ働きをしているが、多すぎると動脈硬化を
すすめるため、悪玉コレステロールとも言われる。
- HDLコレステロール
善玉コレステロールともいわれ、血管壁に沈着したコレステロールを取り除き
肝臓に戻す働きがあり、少ないと動脈硬化をすすめるが、多すぎても問題があ
るといわれている。

赤塚中学校区

IV.施設データ

1.施設一覧

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3		
		複合施設 ※2	建築年			使用面積 (㎡)	コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)				
コミュニティ施設	赤塚公民館	A	S55			386.82		2,344.0	円/人/回	(928.0)	6.0	%	(26.3)	4
社会教育施設	赤塚地区図書室	A	S55			22.95		2,638.0	円/冊	(508.0)	0.3	倍	(1.9)	4
学校教育系施設	赤塚小学校		S48	～	H24	3,767.12	○	79.3	万円/人/年	(81.3)	13.5	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	木山小学校		S34	～	H8	3,985.42	○	159.8	万円/人/年	(81.3)	53.9	㎡/人	(24.1)	4
学校教育系施設	赤塚中学校		S43	～	H14	5,016.14	○	101.6	万円/人/年	(88.5)	33.0	㎡/人	(28.5)	4
子育て支援施設	赤塚ひまわりクラブ		H14			119.73		14.3	万円/人/年	(13.9)	2.2	㎡/児童数	(2.7)	3
高齢者福祉施設	老人憩の家神明荘		S58			228.55		481.0	円/人/回	(806.6)	13.0	人/100㎡/日	(12.7)	1
庁舎系施設	赤塚連絡所	A	S55			343.50		-				-		-

※1 平成28年度財産白書（平成27年度決算ベース）から引用

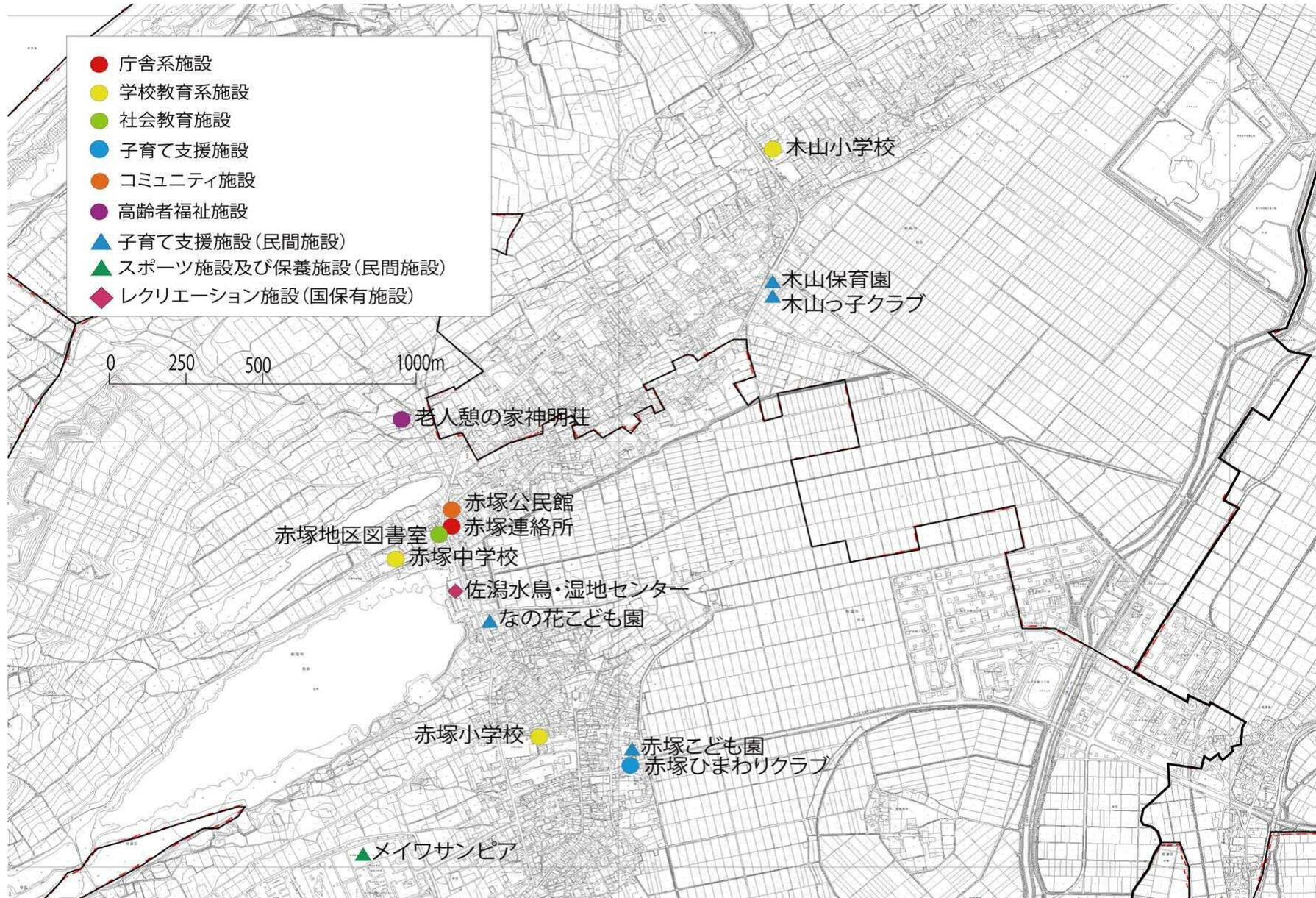
※2 アルファベットが同じものは複合施設

※3 分析領域の番号は下記項目のとおり

- 1.コスト状況、利用状況ともに相対的に良好な施設
- 3.相対的にコストが高いものの、利用が多い施設

- 2.相対的にコストは安いものの、利用が少ない施設
- 4.相対的に高コストかつ、利用が少ない施設

2.施設位置図



※校区の線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

関屋中学校区 地域カルテ

中央区

H30年8月更新

I.地域の基礎データ

1.中学校区の概要

関屋中学校区は、住宅地が広がっており、西大通やJ R関屋駅により交通利便性が高い地域です。日本海に面し、域内には信濃川から日本海に注ぐ関屋分水路があり、中央区と西区にまたがっています。

浜浦小学校区は、市街から西区に伸びる3本の幹線道路とJ R越後線が通り、海岸林と信濃川に挟まれた、静かな住宅地です。また、地区内に浜浦小学校、関屋中学校、日本歯科大学(病院)が並んで位置し、文教地区としても親しまれています。

関屋小学校区は、学校町(市役所)に近く、また高校・大学等もあり、古くから文教及び、商業地域として市の中心地域の一端を形成しています。

有明台小学校区は、新潟島の最南端に位置し、西は関屋分水と日本海に面し、東は信濃川に囲まれています。住宅地は、関屋大川前1・2丁目一帯は歴史が古く、文京町、堀割町、有明大橋町は昭和48年に関屋分水が完成した後に街並ができた比較的新しい地域になっています。

青山小学校区は、日本海と関屋分水と西大通りに囲まれた閑静な住宅地です。浦山地区には商店等があり、青山コミュニティハウスや有明福祉会館・有明センターが、地域活動の拠点として活用されています。

コミュニティ協議会※

浜浦小学校区コミュニティ協議会

関屋小学校区コミュニティ協議会

有明台小学校区コミュニティ協議会

青山小学校区コミュニティ協議会

小学校

浜浦小学校

関屋小学校

有明台小学校

青山小学校の一部(西区)

※中学校区の区域とコミュニティ協議会の区域は必ずしも一致しない。

位置図



関屋中学校区

Ⅱ.人口データ

1.人口・世帯数(住民基本台帳)

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	(人)	(世帯)	(人)
							うち75歳以上	世帯数	1世帯当たり 世帯人員
2011年	23,759	11,036	12,723	2,623	14,478	6,658	3,880	10,852	2.19
		46.4%	53.6%	11.0%	60.9%	28.0%	16.3%		
2016年	22,774	10,488	12,286	2,468	13,197	7,109	3,919	10,857	2.10
		46.1%	53.9%	10.8%	57.9%	31.2%	17.2%		
増減	-985	-548	-437	-155	-1,281	451	39	5	-0.09
	-4.1%	-5.0%	-3.4%	-5.9%	-8.8%	6.8%	1.0%		

2.人口推計

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上
2021年	21,611	9,902	11,709	2,323	12,244	7,044	3,867
		45.8%	54.2%	10.8%	56.7%	32.6%	17.9%
2026年	20,332	9,285	11,048	2,054	11,386	6,892	4,094
		45.7%	54.3%	10.1%	56.0%	33.9%	20.1%
2031年	19,032	8,656	10,376	1,875	10,426	6,731	3,975
		45.5%	54.5%	9.9%	54.8%	35.4%	20.9%
2036年	17,716	8,015	9,701	1,739	9,325	6,652	3,846
		45.2%	54.8%	9.8%	52.6%	37.5%	21.7%
2016-2036 増減	-5,058	-2,473	-2,585	-729	-3,872	-457	-73
	-22.2%	-23.6%	-21.0%	-29.5%	-29.3%	-6.4%	-1.9%

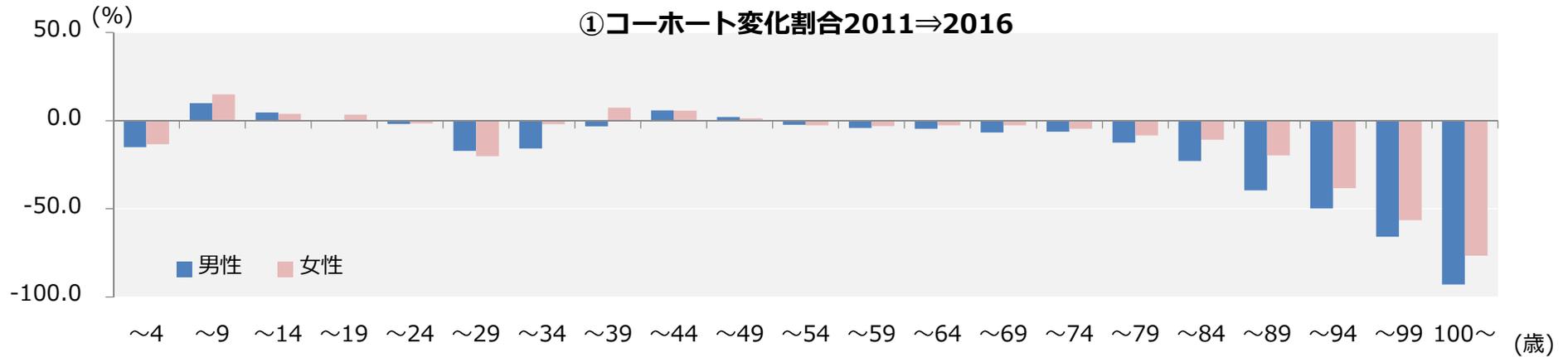
○人口は、2016年の22,774人から2036年には17,716人と22.2%減少する。

○老年人口は、2016年に7,109人でピークを迎え、その後減少していくが、老年人口割合は31.2%から37.5%に増加する。

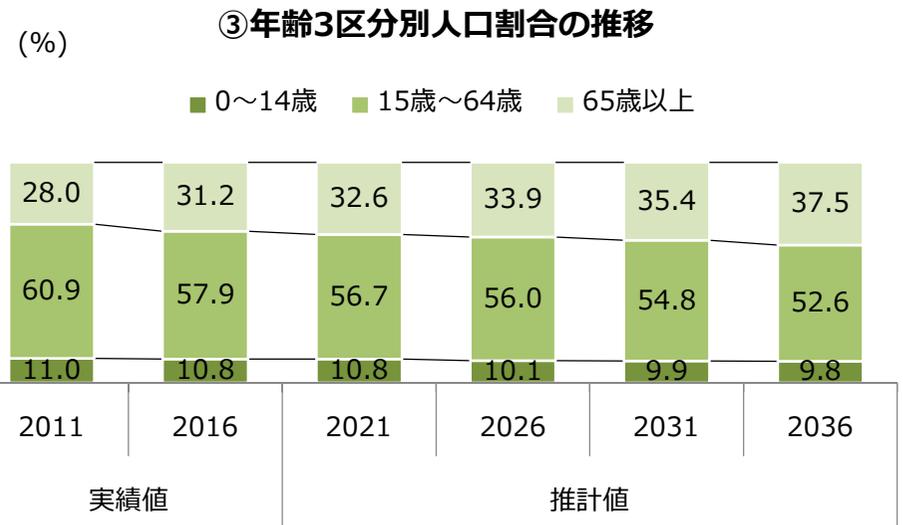
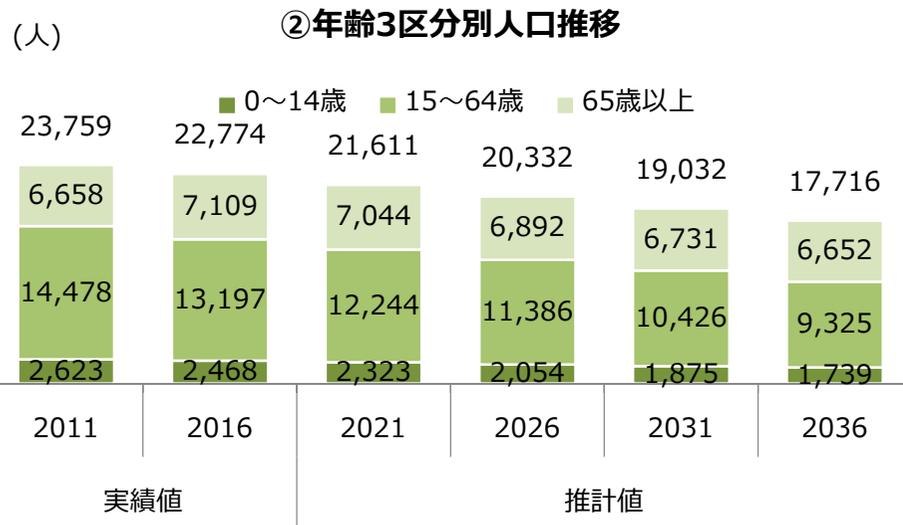
○年少人口は、2016年の2,468人から2036年には1,739人となり、29.5%減少する。

○生産年齢人口は、2016年の13,197人から2036年には9,325人となり、29.3%減少する。

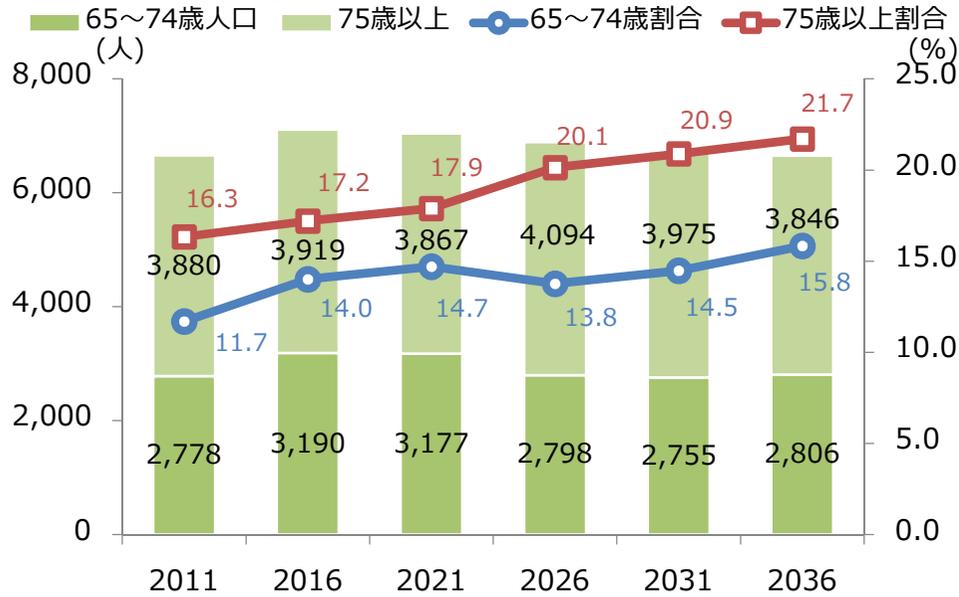
3.人口推計グラフ



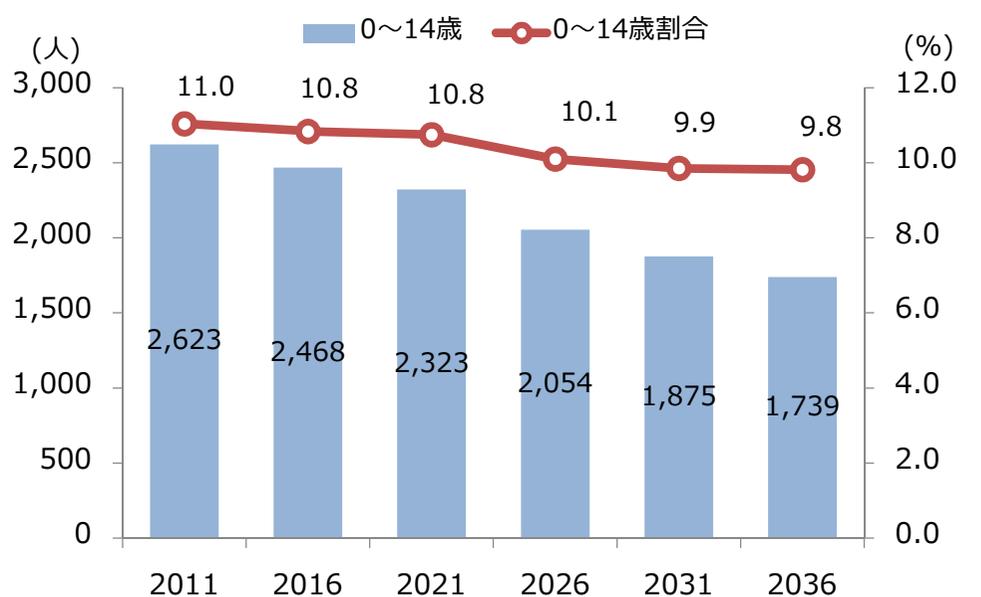
- 25～29歳の年代で、変化割合が男女ともに1割以上のマイナスとなっている。
- 35～39歳の女性と40～44歳の年代の変化割合が大きくなっており、5～14歳人口のプラスの要因のひとつと考えられる。



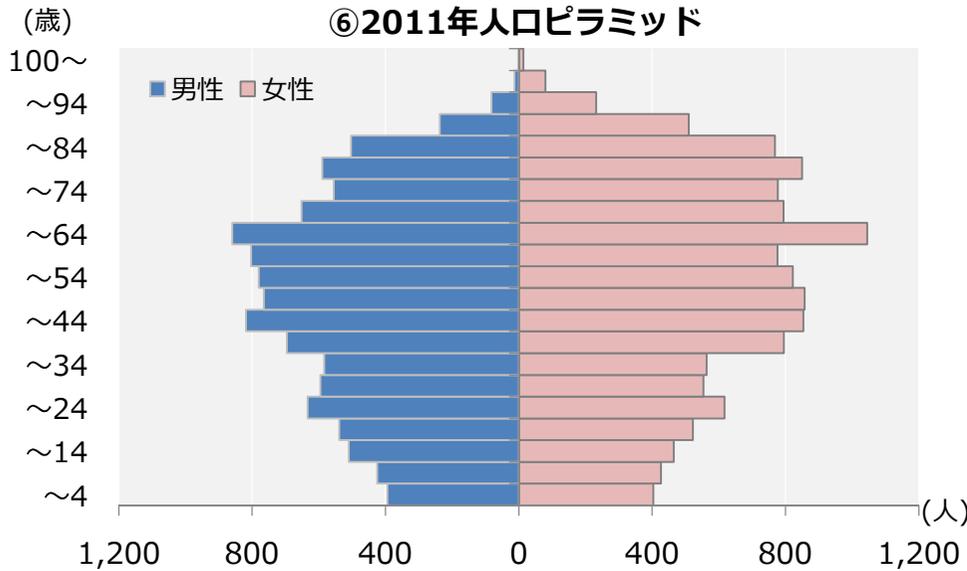
④ 高齢者人口の推移



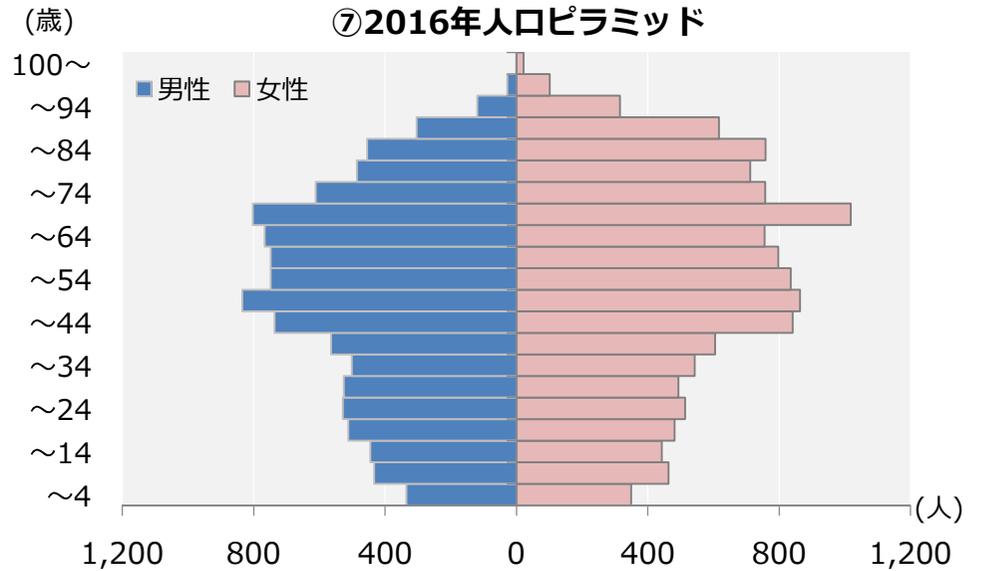
⑤ 年少人口の推移



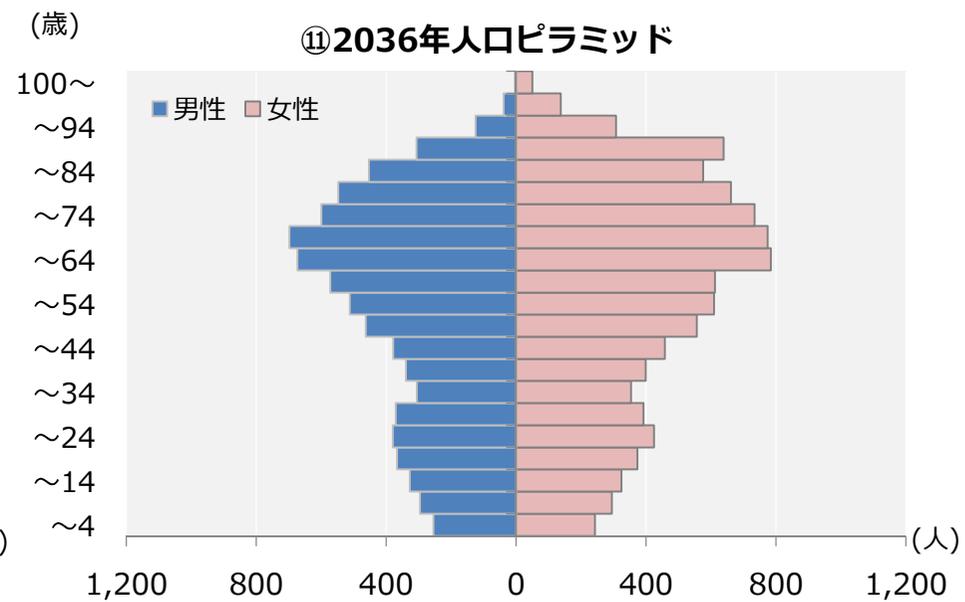
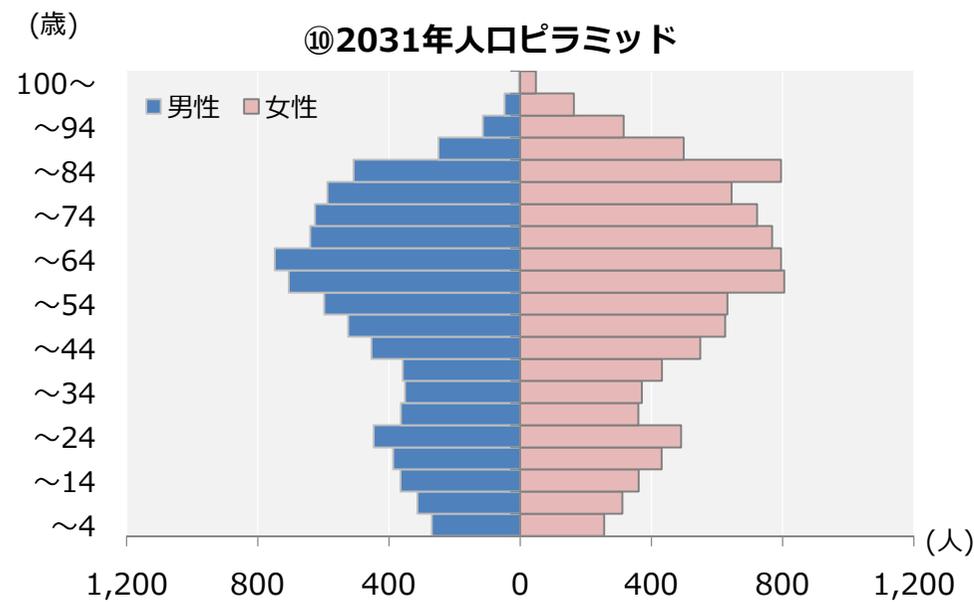
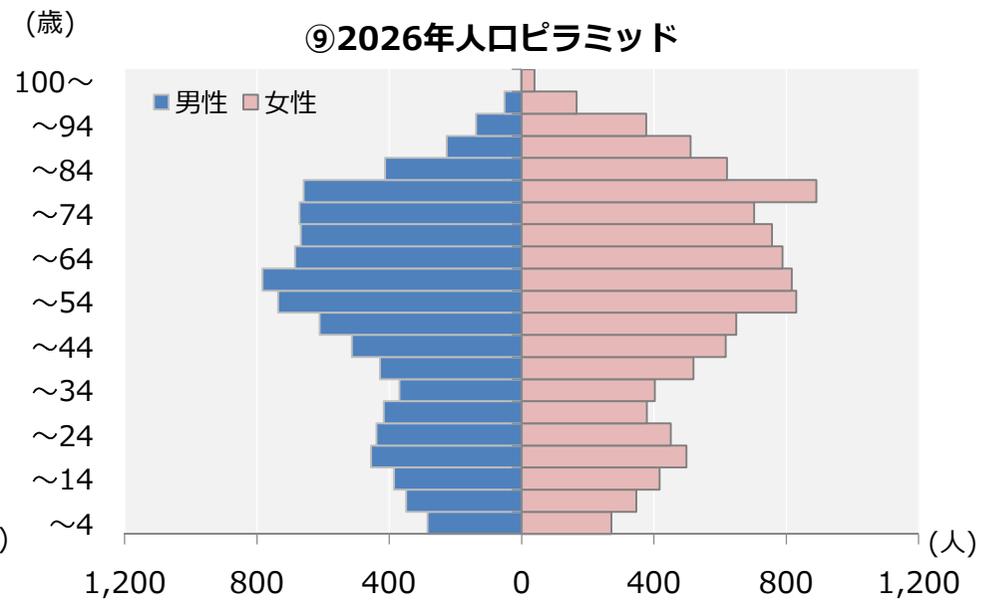
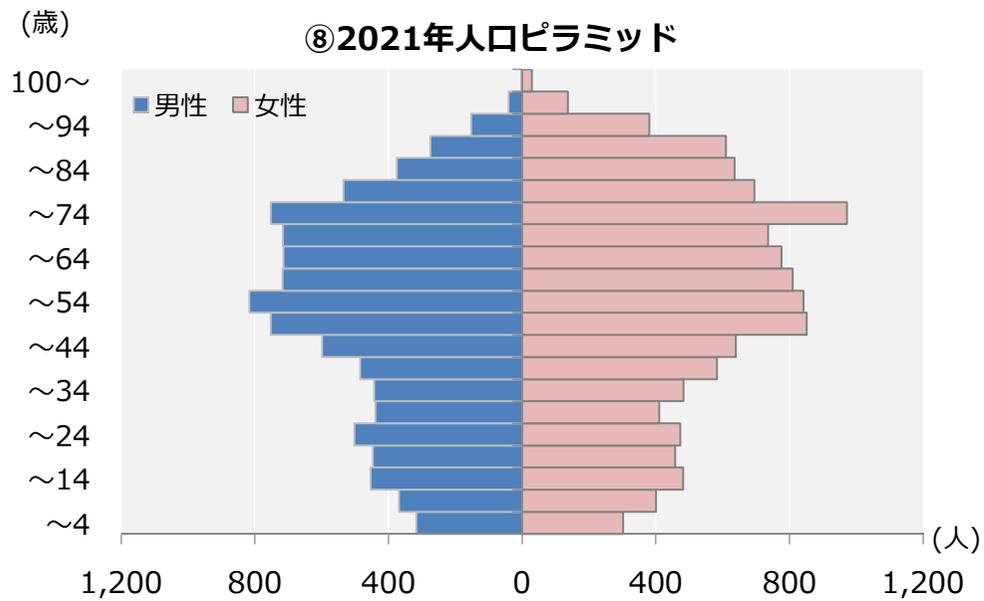
⑥ 2011年人口ピラミッド



⑦ 2016年人口ピラミッド



関屋中学校区



【うち西区分】1.人口・世帯数(住民基本台帳)

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上	世帯数	1世帯当たり 世帯人員
2011年	4,688	2,192 46.8%	2,496 53.2%	514 11.0%	2,863 61.1%	1,311 28.0%	746 15.9%	2,087	2.25
2016年	4,439	2,022 45.6%	2,417 54.4%	446 10.0%	2,561 57.7%	1,432 32.3%	790 17.8%	2,064	2.15
増減	-249 -5.3%	-170 -7.8%	-79 -3.2%	-68 -13.2%	-302 -10.5%	121 9.2%	44 5.9%	-23	-0.10

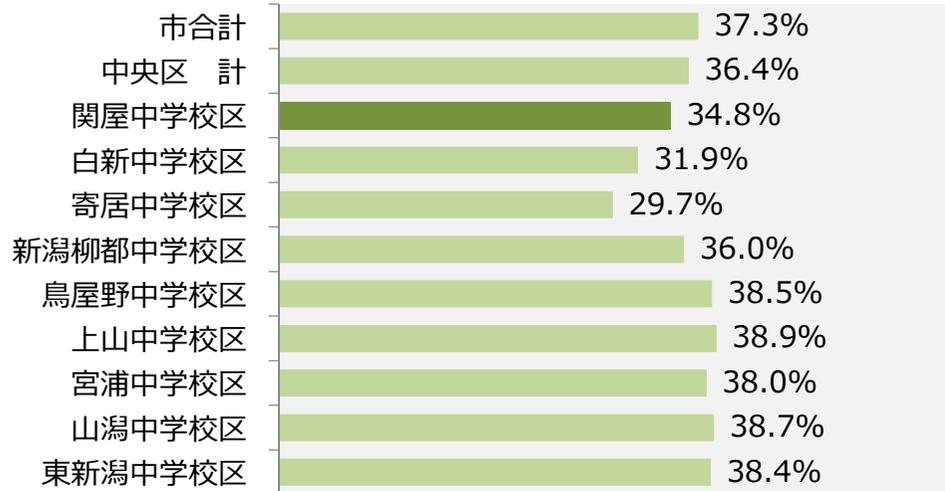
【うち西区分】2.人口推計

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上
2021年	4,160	1,855 44.6%	2,306 55.4%	399 9.6%	2,331 56.0%	1,429 34.4%	787 18.9%
2026年	3,863	1,686 43.6%	2,177 56.4%	341 8.8%	2,138 55.4%	1,384 35.8%	844 21.8%
2031年	3,561	1,527 42.9%	2,034 57.1%	315 8.9%	1,925 54.0%	1,322 37.1%	815 22.9%
2036年	3,269	1,375 42.1%	1,894 57.9%	292 8.9%	1,689 51.7%	1,288 39.4%	777 23.8%
2016-2036 増減	-1,170 -26.4%	-647 -32.0%	-523 -21.6%	-154 -34.6%	-872 -34.0%	-144 -10.0%	-13 -1.7%

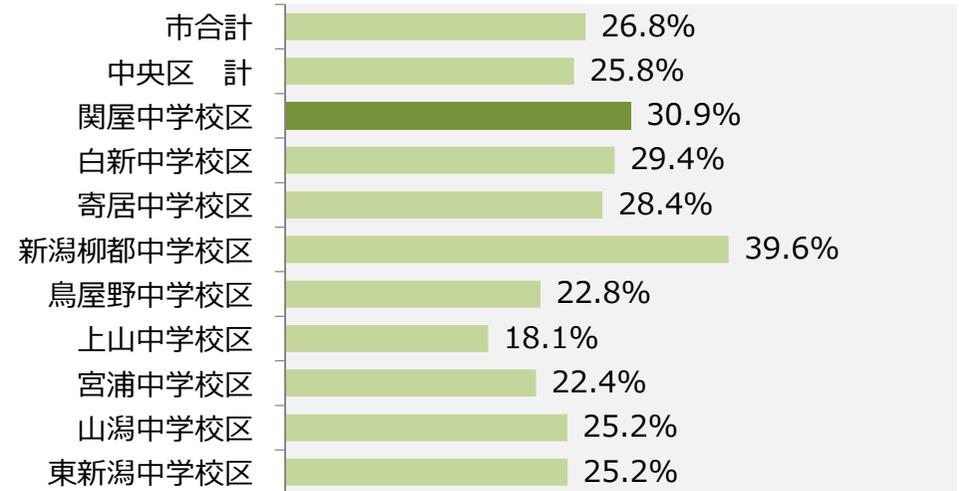
Ⅲ.健康データ（平成27年度新潟市国民健康保険・新潟県後期高齢者医療保険・協会けんぽ健診データ）

※「中央区計」には、集計の都合上、東新潟中学校区データは含まない。（「東区計」に含む）

①健診受診率

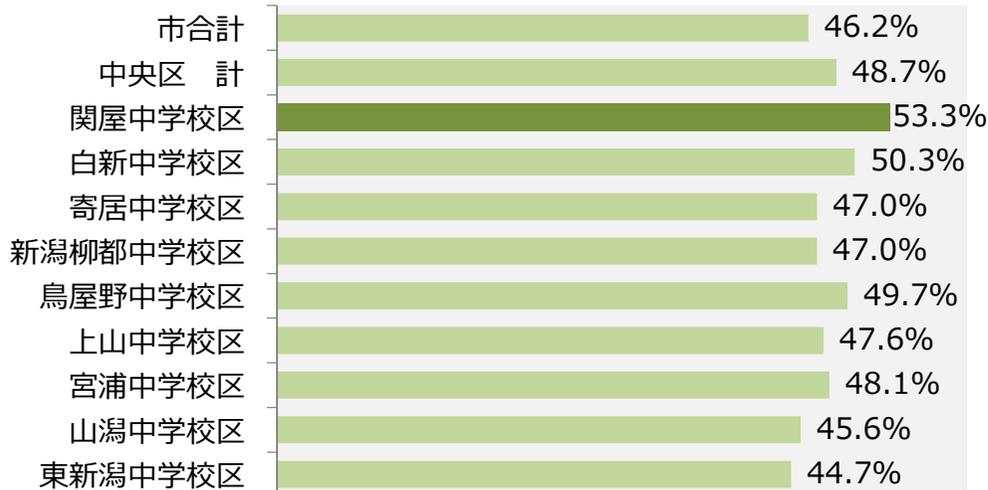


②高齢化率

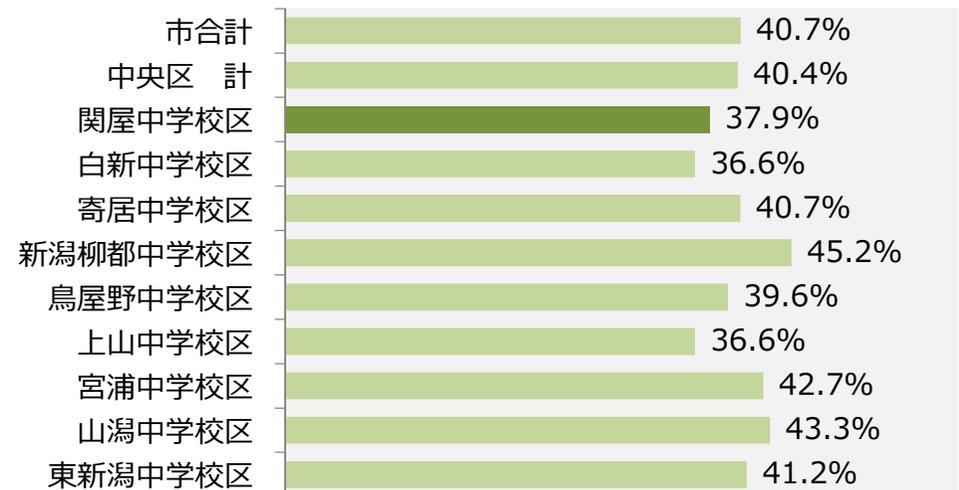


※平成27年9月末時点の住民基本台帳人口を基に算出

③血糖



④血圧（収縮期130mmHg以上）



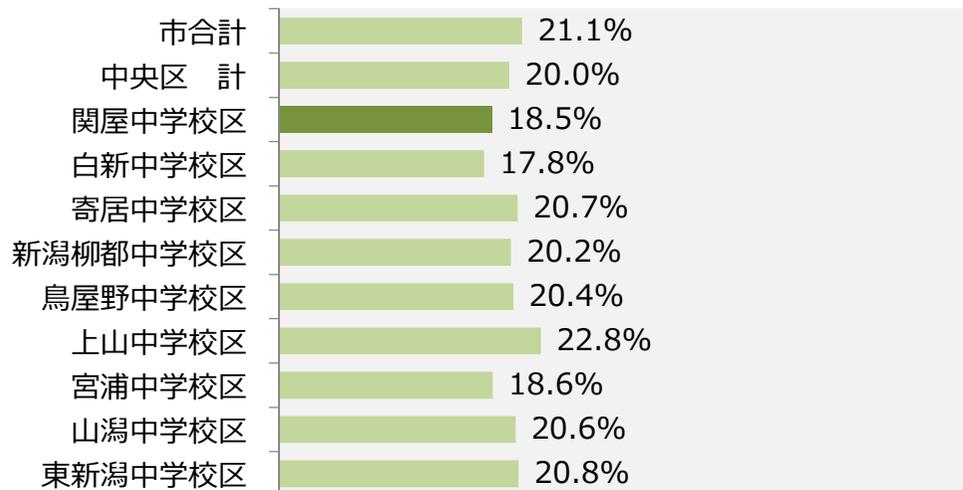
※国民健康保険・後期高齢者医療保険：HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)5.6%以上
協会けんぽ：空腹時血糖100mg/dl以上

■HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）

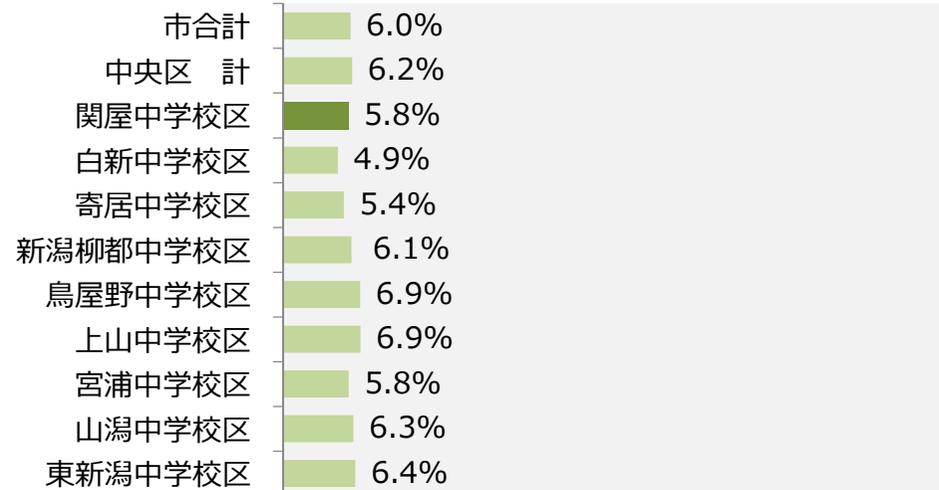
過去1~2か月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われている。

関屋中学校区

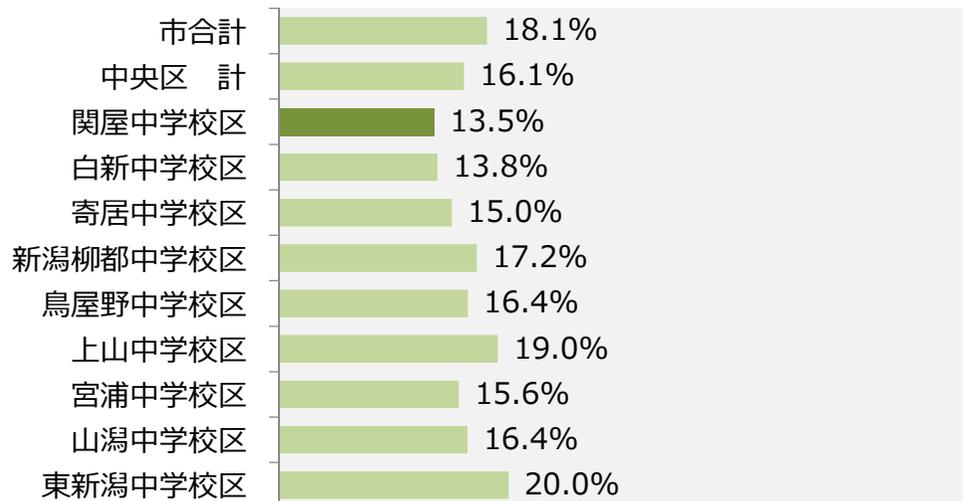
⑤脂質（中性脂肪150mg/dl以上）



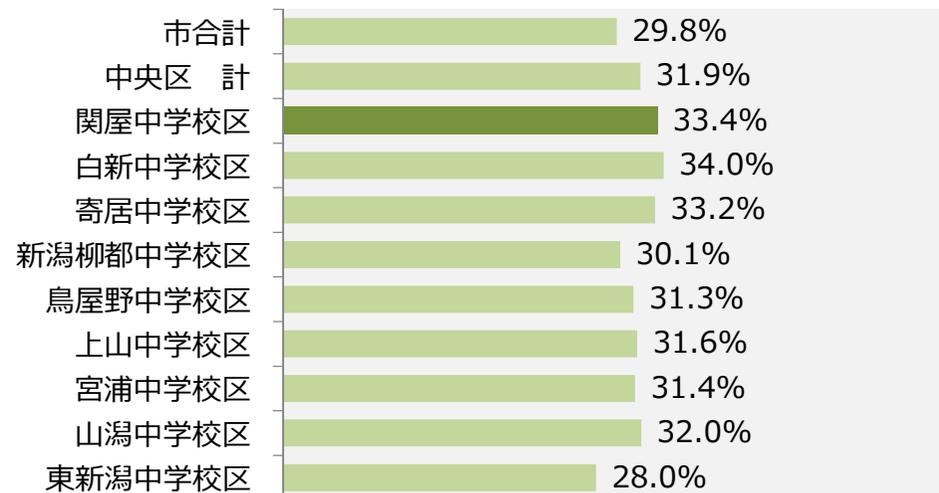
⑥3項目(血糖・血圧・脂質)重複該当



⑦喫煙



⑧運動習慣

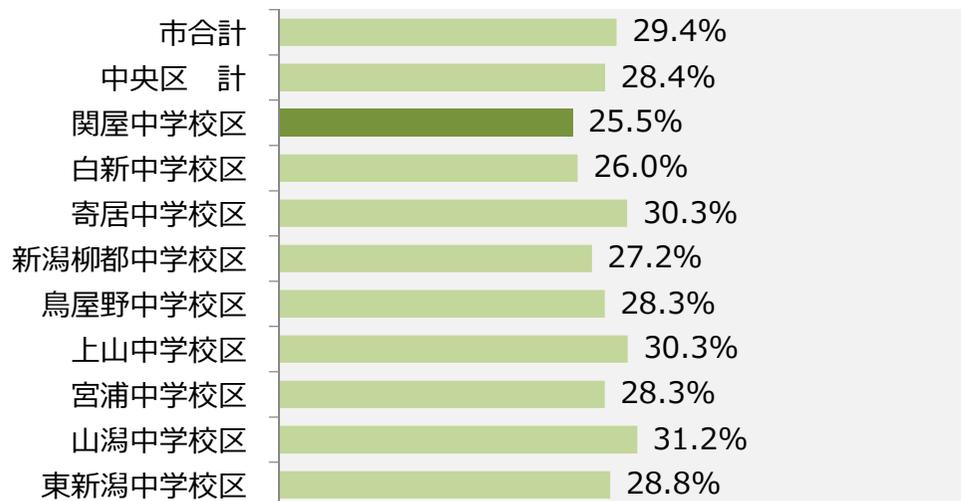


※現在、たばこを習慣的に吸っていると回答した人の割合

※1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していると回答した人の割合

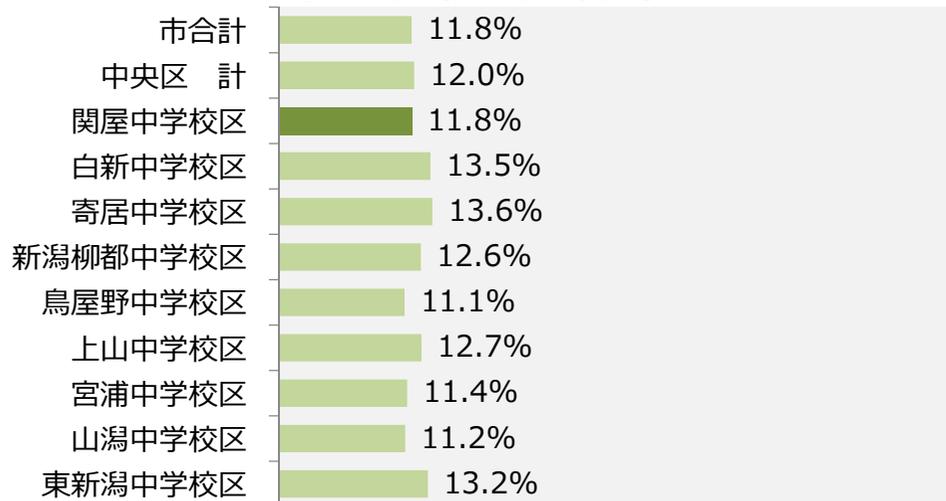
関屋中学校区

⑨ 飲酒頻度（毎日）



※お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度は
[毎日] と回答した人の割合

⑩ 食習慣（夕食後の間食）



※夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが
週に3回以上あると回答した人の割合

⑪ 患者予備群、治療放置群等（国保・後期高齢）

	健診 対象者数 (国保+ 後期) 人数	未把握		未通院 患者予備群 治療放置群	
		人数	構成割合	人数	構成割合
関屋中学校区	8,190	2,623	32.0%	311	3.8%
白新中学校区	4,318	1,514	35.1%	201	4.7%
寄居中学校区	4,091	1,613	39.4%	182	4.4%
新潟柳都中学校区	7,110	2,299	32.3%	250	3.5%
鳥屋野中学校区	7,799	2,567	32.9%	337	4.3%
上山中学校区	6,422	2,316	36.1%	279	4.3%
宮浦中学校区	7,829	2,636	33.7%	383	4.9%
山潟中学校区	5,406	1,772	32.8%	289	5.3%
東新潟中学校区	8,800	3,013	34.2%	441	5.0%
中央区 計	51,165	17,340	33.9%	2,232	4.4%

※平成27年度の国保+後期高齢の健診対象者（40歳以上）の状況

未把握・・・健診未受診及び生活習慣病の受診がない

未通院・・・健診において下記項目のいずれかに該当し、医療機関で

診察又は治療の必要があるが、同年中に生活習慣病の受診がない

- ・血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上
- ・血圧：140又は90mmHg以上 ・中性脂肪：300mg/dl以上
- ・LDLコレステロール：140mg/dl以上 ・HDLコレステロール：35mg/dl未満

■ LDLコレステロール

全身の組織へコレステロールを運ぶ働きをしているが、多すぎると動脈硬化を
すすめるため、悪玉コレステロールとも言われる。

■ HDLコレステロール

善玉コレステロールともいわれ、血管壁に沈着したコレステロールを取り除き
肝臓に戻す働きがあり、少ないと動脈硬化をすすめるが、多すぎても問題があ
るといわれている。

関屋中学校区

IV.施設データ

1.施設一覧

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3	
		複合施設 ※2	建築年			使用面積 (㎡)	コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)			
コミュニティ施設	関屋コミュニティハウス		H9		619.95	○	1,257.0	円/人/回	(928.0)	27.4	%	(26.3)	3
コミュニティ施設	青山コミュニティハウス	A	S57	～ H14	365.48	○	396.0	円/人/回	(928.0)	58.0	%	(26.3)	1
コミュニティ施設	関屋地区公民館	B	H2		1,506.50	○	688.0	円/人/回	(928.0)	48.5	%	(26.3)	1
社会教育施設	関屋地区図書室	B	H2		71.87	○	417.0	円/冊	(508.0)	2.0	倍	(1.9)	1
社会教育施設	青山地区図書室	A	S57	～ H14	23.96	○	403.0	円/冊	(508.0)	2.0	倍	(1.9)	1
スポーツ施設	西海岸公園市営プール		S56	～ H14	6,296.40		1,113.0	円/人/回	(794.9)	6.4	人/100㎡/日	(6.0)	3
学校教育系施設	浜浦小学校		S60	～ H9	7,057.38	○	59.4	万円/人/年	(81.3)	16.8	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	関屋小学校		S41	～ H17	5,247.70	○	101.6	万円/人/年	(81.3)	41.0	㎡/人	(24.1)	4
学校教育系施設	有明台小学校		S44	～ S61	6,178.40	○	71.9	万円/人/年	(81.3)	26.6	㎡/人	(24.1)	2
学校教育系施設	関屋中学校		S48	～ H2	9,877.36	○	69.8	万円/人/年	(88.5)	20.0	㎡/人	(28.5)	1
子育て支援施設	しなの保育園		S44	～ S59	358.93		152.9	万円/人/年	(106.4)	6.5	㎡/園児数	(8.6)	3
子育て支援施設	浜浦ひまわりクラブ	B	H2		99.88	○	20.3	万円/人/年	(13.9)	3.0	㎡/児童数	(2.7)	4
子育て支援施設	有明台ひまわりクラブ		S54		78.57		15.2	万円/人/年	(13.9)	1.8	㎡/児童数	(2.7)	3
高齢者福祉施設	老人憩の家なぎさ荘		S51	～ S60	933.07		629.0	円/人/回	(806.6)	7.8	人/100㎡/日	(12.7)	2
保健施設	中央地域保健福祉センター		S46	～ H4	1,541.74		10,200.0	円/人/回	(3,762.6)	25.6	%	(24.7)	3
その他福祉施設	明生園		S59	～ H8	1,631.47		-			-		-	-
その他福祉施設	発達障がい支援センター		S60	～ H8	635.07		-			-		-	-

関屋中学校区

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3
		複合施設 ※2	建築年	使用面積 (㎡)		コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)			
その他福祉施設	めいせいデイサポートセンター		H8	445.83		-	-	-	-	-	-	-
公営住宅	関屋大川前住宅		H18	5,023.33	○	-	-	-	-	-	-	-
その他公共用施設	青山斎場		H7	5,115.80		-	-	-	-	-	-	-

※1 平成28年度財産白書（平成27年度決算ベース）から引用

※2 アルファベットが同じものは複合施設

※3 分析領域の番号は下記項目のとおり

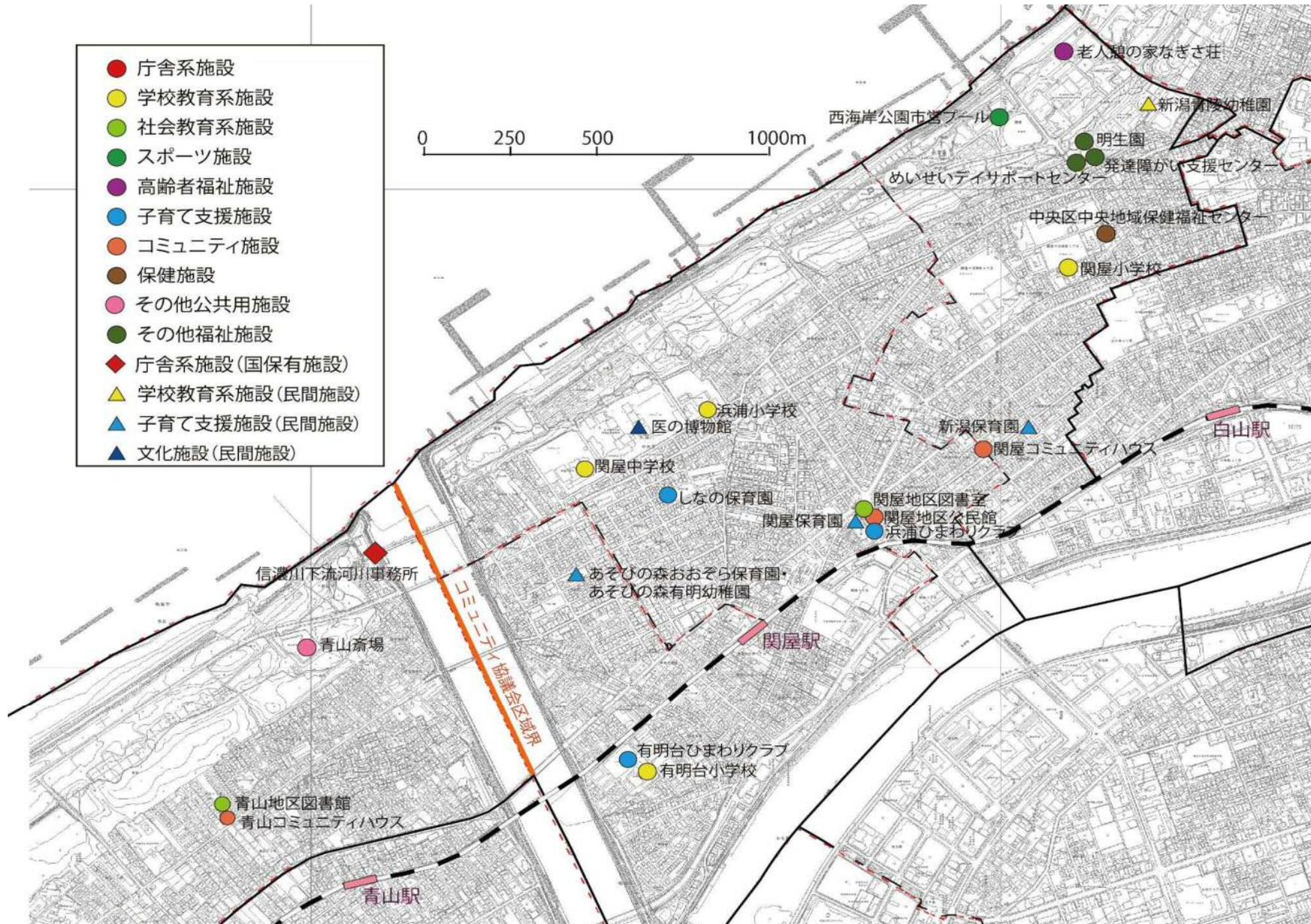
1.コスト状況、利用状況ともに相対的に良好な施設

3.相対的にコストが高いものの、利用が多い施設

2.相対的にコストは安いものの、利用が少ない施設

4.相対的に高コストかつ、利用が少ない施設

2.施設位置図



※校区の線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

※公営住宅は位置図には未掲載。

関屋中学校区